

木更津市の教育

令和6年度

木更津市教育委員会

は じ め に

市政の発展にともない、木更津市の教育が遅滞なく着実な歩みを続けておりますことは喜びに耐えないところであります。これもひとえに、教育関係各位ならびに市民の皆様のご理解とご協力の賜物であり、深く感謝申し上げます。

このたび、市議会のご同意をいただき、教育長に再度任命をいただきました。令和5年度に策定された「第3期木更津市教育振興基本計画」や学校教育「新木更津プラン」等の実現に向けて、子どもたちの健全な育成、積極的な学びの機会の提供等、教育体制の整備に努めてまいります。

また、令和6年7月よりメタバースシステムを新たに導入した「オンラインあさひ学級」が本格的にスタートしました。さまざまな困難により不登校状態が続いている児童生徒に向けた通級型の教育支援教室である「あさひ学級」への通学が困難な児童生徒でも、自宅から「オンラインあさひ学級」への通学が可能になり、相談員や仲間とコミュニケーションを通してつながることで、将来の社会的自立の一助を担っております。

現在、木更津市では、全国的な少子化社会の中、定住促進による人口増加がみられ、児童・生徒数はほぼ横ばいの状況にあります。このような中、本市の教育の基本理念である「子どもを育む環境づくり・まちを支える人づくり」は、この地域が活力ある豊かな社会として発展していく上で、欠くことのできない取組条件であり、教育の果たす役割は、ますます重要なものになってきています。

教育をめぐる社会環境が大きく変化している中、今後も「まちづくりの礎は人づくり」という強い思いをもって、様々な教育環境の整備、施策の推進にあたってまいりたいと考えています。

ここに、令和6年度の「木更津市の教育」を刊行し、本市の教育の現況をお知らせするとともに、木更津市教育の更なる進展に向けて、今後のご指導、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和7年3月

教育長 廣 部 昌 弘

木更津市の教育目標

子どもを育む環境づくり

1. 子育て支援の充実
2. 学校教育の充実
3. 青少年の健全育成

まちを支える人づくり

1. 社会教育の推進
2. スポーツ・レクリエーションの振興
3. 市民文化の充実
4. 人権擁護の推進

目 次

は じ め に 木更津市の教育目標

1. 木更津市の概要

位置・地勢・市制施行・人口	3
沿革	4

2. 木更津市 教育振興基本計画

教育振興基本計画	8
----------	---

3. 木更津市 教育大綱

教育大綱	15
------	----

4. 教 育 行 財 政

教育委員	18
教育委員会会議	19
教育委員会表彰	20
教育委員会機構図	21
教育委員会職員数	24
教育財政	25

5. 学 校 教 育

重点目標	28
小・中学校一覧	33
教育相談・教職員研修・学校支援事業	35
特別支援教育	36
就学援助	38
学校保健	39
学校給食	41

6. 生 涯 学 習

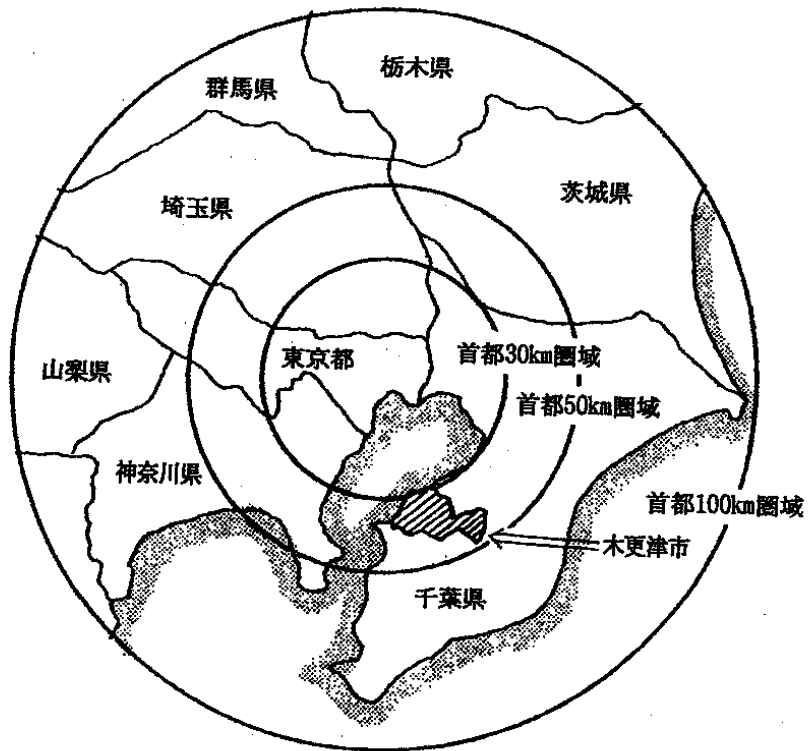
重点目標	45
社会教育事業	50
公民館	53
少年自然の家キャンプ場	70
図書館	71
郷土博物館金のすず	75
青少年指導関係	84

7. 資 料

歴代教育委員及び教育長	88
教育功勞被表彰者一覧	91
市内指定等文化財一覧	95
学 校 施 設 等	97
社会教育施設	99

1. 木更津市の概要

位 置



地 勢

令和 7 年 1 月 1 日現在

市役所の位置		広 ば う		標 高		面 積
東 経	北 緯	東 西	南 北	最 高	最 低	
139° 92′ 48″	35° 38′ 12″	21.98km	14.54 km	200.0m 真里谷	0.1m 畔戸	138.90 km ²

市制施行

昭和 1 7 年 1 1 月 3 日

人 口

1 3 6, 8 4 3 人 (令和 7 年 1 月 1 日現在の住民基本台帳による)

沿 革

「きさらづ」の名が文献に現れてきたのは、鎌倉時代に入ってからであるが、日本武尊の東夷征討伝説として『相模の走水から上総へ渡ろうとしたとき、海上にわかには強風が起こり、船はいまにも転覆せんとした。尊の妃弟橘媛命は、身をもって尊の命を救わんと海中に身を投じ、海神を慰めたので、怒濤はたちまちにしておさまり、無事上総へ渡ることができた。尊は、媛の末路を哀れみ、その運命を悲しんで、しばしこの地を去らず、後年この地を「君不去」（きみさらず）と名づけ、更になまりが変って「きさらづ」になった』という話が語り継がれている。

菅生の弥生時代農耕遺跡や長須賀の金鈴塚古墳から発掘された金鈴や飾り大刀などから考えてみても、木更津の地が古代から豪族や庶民の一大集落地として栄えていたことが立証される。

古代から平安時代の末までは、馬来田国造の支配や上総氏一族の支配を経て、鎌倉時代に入った。

室町・戦国時代には、真里谷武田氏・北条氏・里見氏の勢力がこの地の覇権を争った。天正18年(1590)、里見氏削封の後、江戸時代の末に一部請西藩の領地になったが、概ね旗本の知行所となり、明治維新に及んだ。

明治元年(1868)4月、木更津・貝渕・吾妻の3村は上総・安房監察兼知事柴山典の所轄となり、明治4年(1871)廃藩置県の改革によって桜井県の所轄に、更に同年11月には従来の諸県が廃されて木更津県となったものの、明治6年(1873)6月、木更津県は廃され千葉県を置くこととなった。

明治11年(1878)、県の官制改革によって郡制が設けられ、郡区町村編成法を定めて望陀・周淮・天羽の3郡を一区画とし、郡役所を木更津村に置き、望陀周淮天羽郡役所と称した。

その後は郡長の下に戸長制を敷いていたが、明治22年(1889)4月、市町村制が実施されて木更津・貝渕・吾妻の3村が合併し木更津町ができた。

明治30年(1897)4月に郡制が施行されて望陀・周淮・天羽の3郡は君津郡と改称され、大正15年(1926)6月、郡役所廃止に至るまで、君津郡役所の所在地となった。

昭和7年(1932)、県営築港に着手、時を同じくして海面埋立工事が行われ、翌昭和8年(1933)4月には隣接の真舟村を合併して町勢は著しく進展した。

昭和11年(1936)、築港・埋立の両工事が完成し、海路による京浜方面への利便は一段と増す一方、同年4月、木更津海軍航空隊が設置され、更に昭和16年(1941)11月、隣接の岩根村に工員1万7千人を擁する海軍航空廠が設置されたことにより、一躍軍都としてのめざましい発展を見るに至り、隣接町村間との市制施行の盛り上がりによって、昭和17年(1942)11月3日、木更津町、清川村・岩根村・波岡村による1町3村が合併し、市域54.23km²、人口33,817人、全国第197番、千葉県下6番目の市として木更津市が誕生した。

木更津市はそのまま軍都として繁栄するかと思われたが、市制施行後3年目にして太平洋戦争も終わり、一転して商業都市としての新しい第一歩を踏み出すことになった。

昭和28年(1953)、町村合併法の公布によって、木更津・鎌足・金田・中郷の1市3村の合併問題が討議され、翌昭和29年(1954)11月3日に鎌足村を、同30年(1955)2月11日に金田村を、同年3月1日に中郷村をそれぞれ合併し、一躍、人口も5万人を超える木更津市となった。

やがて一連の臨海部埋立による京葉臨海工業地帯の発展に伴い、昭和36年(1961)、隣接の君津町（現君津市）と本市の臨海部にまたがって八幡製鐵（現日本製鉄㈱）の進出が決まり、同40年(1965)の操業を契機として関連企業の進出による工業化も一段と進展するなか、内陸部での土地区画整理事

業をはじめ民間宅地造成等の開発も急速に進み、首都圏内の近郊都市として発展、同43年(1968)4月、木更津港の重要港湾指定により著しい変貌を遂げてきた。

昭和46年(1971)9月に富来田町と合併し概ね現在の市域となり、昭和40年代～50年代にかけては、市民体育館、中央公民館、保健相談センター、市民総合福祉会館などの教育施設や福祉施設などの充実が進んだ。

時代が平成に変わってからは、平成4年(1992)、首都機能の一躍を担う業務核都市に位置づけられるとともに、県の千葉新産業三角構想(昭和58年)の一角に位置づけられたかずさアカデミアパークの整備が進展した。

平成9年(1997)には東京湾アクアラインが開通し、東関東自動車道館山線や首都圏中央連絡自動車道等の整備とあわせ、交通の結節点としての機能が強化された。

平成20年(2008年)には木更津市郷土博物館金のすずが開館し郷土の歴史・文化を物語る史資料を公開するとともに平成21年4月には木更津市学校給食センターが稼働開始となり小中学校の完全給食が実現となる。

その後、東京・神奈川とを結ぶ東京湾アクアライン高速バス網の充実や平成21年(2009)から実施された東京湾アクアライン料金引下げ社会実験による地域経済への様々な波及効果等から、平成23年(2011)には人口が13万人を超えた。

平成24年(2012)には、かずさアクアシティの金田東地区まちびらきに伴い、大型集客施設が相次いで開業するとともに、第1回目のちばアクアラインマラソンが開催されるなど、交流人口の増加が顕著となる。

平成26年(2014)10月には、築地地区に大型集客施設が開業するとともに、平成29年(2017)10月には、道の駅「木更津 うまくたの里」が開業し、地域全体への活力や求心力が高まりをみせている。

平成31年(2019)には中郷中学校と清川中学校が統合された。また、富岡小学校と馬来田小学校が統合し富来田小学校が誕生し、隣接した富来田中学校と小中一貫教育学校としての取り組みがスタートした。

令和3年(2021)には小規模特認校の通称を「きさらづ特認校」と定め、それまでの東清小学校、中郷小学校に加え、新たに鎌足小中学校、富来田小中学校が小規模特認校として指定された。また、清見台小学校ではバリアフリーや共生社会について考える取組が評価され、I'm POSSIBLE アワード開催国最優秀賞を受賞した。

令和4年(2022)、木更津市は市制施行80周年を迎え、その記念事業として「KISARAZU COLLECTHION 2022」が開催され、公募で選ばれた木更津市内の小中学生30名がモデルとなりステージを飾った。また、木更津市初となるコミュニティ・スクールを富来田小中学校に導入し、地域との連携による地域ぐるみの学校づくりの推進を図っている。

2. 木更津市 教育振興基本計画

木更津市教育振興基本計画

【教育の基本理念・指針と基本目標】

教育の基本理念

子どもを育む環境づくり・まちを支える人づくり

教育の基本指針

まなびあい、きらりかがやく「教育都市きさらづ」

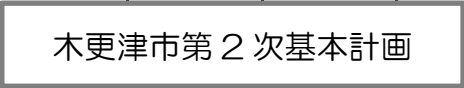
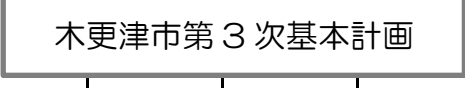
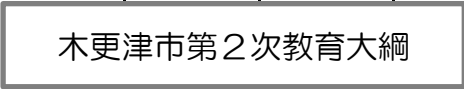
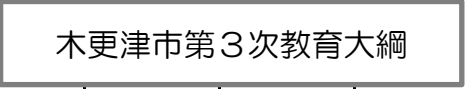
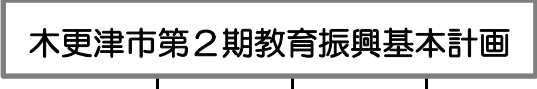
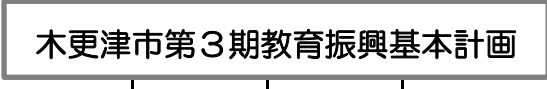
基本目標

- ① 魅力ある学校づくりの推進
- ② 生涯学習社会の実現
- ③ 青少年の健やかな成長
- ④ 芸術文化活動の活性化

育成したい子どもの姿<木更津っこ>

- ふるさと木更津を愛し、地元に貢献しようとする意欲を持つ子
- 学習習慣を身に付け、自らの課題を学習により解決しようとする子
- 思いやりの心を持ち、自他の心身の健康のため行動できる子
- グローバルな視点を持ち、SDGsの達成に向けて行動できる子
- 防災意識を持ち、日頃の準備を怠らず、災害時に自他の命を守る行動がとれる子

【計画の対象期間：2023年度～2026年度】

年度	H31 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
木更津市								
								
								
								
								
								
								
								

【基本目標を実現するための政策・施策】

基本方針1	重点目標	重点施策	施策
「自立する力」と「共生する姿勢」を身に付けた児童生徒を育成し、児童生徒本人、家庭や地域社会から信頼される魅力ある学校づくりを推進します	1 児童生徒に学習する習慣を身に付けさせます	(1) 児童生徒の読書数の向上	① 学校図書館システムを導入し、学校間の連携を図り、学校図書館を活性化します ② 読書相談員の配置を継続します ③ 図書館と連携し、団体貸し出し事業を推進します ④ 児童生徒に電子図書サービスの利用を推奨します
		(2) 学習意欲の向上	① 算数数学検定を年間2回実施し、学び直しの機会を作ります ② 取組状況を調査し、過去問題等の活用方法の広報や未受検の児童生徒への受験率向上に努めます
		(3) プログラミング学習の充実	① プログラミング連携協定を活用し、出前授業を実施します ② 指導計画モデルプランを策定し、各学校の参考とします
		(4) きざらつ特認校の活性化	① スクールバスを運行し、学区外からの通学の利便性を高めます
	2 児童生徒の人権意識の高揚を図ります	(1) いじめのない集団づくり	① いじめ防止対策基本方針を策定し、各学校に周知徹底します ② 定期的にいじめ実態調査を行い、実態把握に努めます ③ 教職員のいじめに対する意識向上と指導力の向上を図り、いじめのない集団づくりに努めます
			④
			⑤
		(2) 虐待への適切な対応	① スクールソーシャルワーカーを配置し、関係部署との連携調整支援等に努めます ② 被虐待児童生徒の発見に努め、発見した場合は、関係部署との緊密な連携の下、通告等適切な対応をします
	3 外国語教育・国際理解教育の充実を図ります	(1) 外国語指導助手(ALT)による授業の支援	① 小学校において、外国語授業(小5.6)、外国語活動(小3.4)の全時間に外国語指導助手(ALT)を配置します ② 国際理解教育に関する出前授業の実施を推奨します
		(2) 外国語学習意欲の向上	① 市内小中学校の希望者を対象に、ALTと英語のみの世界を体験するEnglish campを開催し、国際理解教育を推進します
		(3) 教職員に対する英会話研修の実施	① 夏季休業中に、教職員対象の英会話教室を開催します
	4 特別支援教育の充実を図ります	(1) 特別支援教育に関する実態調査	① 特別支援に関するアンケート調査を行い、定期的の実態を把握し、施策に反映させていきます
		(2) 個別支援の充実	① 各学校の必要に応じ、個別的教育支援計画・指導計画を作成し、指導支援に活かしていきます
		(3) スクールサポートティーチャー(SST)の配置	① 学級担任の補助に当たるため、スクールサポートティーチャー(SST)を配置します
		(4) 特別支援教育支援員の配置	① 児童生徒の必要に応じ、特別支援教育支援員を配置します
		(5) スクールアクティブサポーター(SAS)の配置	① 教職員の補助に当たるため、スクールアクティブサポーター(SAS)を配置します
	5 保護者・地域と連携した学校づくりを推進します	(1) 学校支援ボランティア活動の推進	① 学校支援ボランティア活動推進事業を推進します
		(2) 学校評価木更津システムの実施	① 学校評価木更津システムを確実に実施し、結果を公表します ② 学校の現状を把握し、改善に活かします
		(3) コミュニティスクールの推進	① きざらつ特認校に学校運営協議会を組織します
		(4) 広報活動の充実	① 学校HPの定期的な更新に努めます
		(5) 放課後等の子どもの居場所づくり	① 放課後児童クラブと放課後子ども教室の連携を検討します
	6 現代的課題について考え、行動に移す意欲とスキルを育成します	(1) 防災・安全教育の充実	① 大災害に備えて、避難訓練を含めた命を守る教育の充実を図ります ② 交通安全教育を充実し、交通安全に対する意識を高めます
		(2) SDGs教育の推進	① SDGs、包括的教育等、現代的課題を意識した教育課程づくりを推進します ② 市が推進するSDGs関連事業についての理解を深めます
		(3) 環境教育の推進	① 市が推進するゼロカーボンシティの取組について理解を深め、行動意欲を高めます
		(4) プレゼンテーション能力の育成	① 学習活動研究発表会を開催し、日頃の学習成果を発表する場を作ります
		(5) キャリア教育の充実	① 体験に基づくキャリア教育を推進し、自分に合った進路決定を進める意識を高めます
		(6) 学校間交流の活性化	① 中学校合同生徒会を組織し、学校間で切磋琢磨し、互いに高め合う場を作ります
	7 教育相談活動の充実を図り、児童生徒の正しく前向きな自己決定を支援します	(1) スクールカウンセラー(SC)、心の相談員の配置	① 各学校にスクールカウンセラー(SC)、心の相談員を配置し、児童生徒が悩みを相談できる場を作ります
		(2) 教育相談教室の実施	① 専門家による教育相談教室を実施し、児童生徒及び保護者の悩みについて、専門的な立場から相談できる場を作ります
		(3) 教育支援教室(あさひ学級)の運営	① 教育支援教室(あさひ学級)を運営することにより、不登校の児童生徒の自立を支援します

徒「自立する家庭や」地域「社会から信頼される」を身に力付けた児童・生徒を育成し、児童・生徒	8	教職員の働き方改革を推進するとともに、指導支援能力を高めます	(1) 夏季教職員研修の実施	① 教科指導、生徒指導、現代的課題等について夏季教職員研修を実施し、市内教職員の資質力量を高めます	
			(2) 情報化推進チームの組織化	① 学校内に情報化推進チームを組織し、教職員のICTのスキルを高めます	
			(3) ICT支援員の派遣	① 各学校にICT支援員を派遣し、授業補助に当たり、教職員のICTを活用した指導技術を高めます	
			(4) 教職員の時間外勤務時間の縮減	① 教職員の時間外勤務の実態を定期的に把握し、縮減に向けた取組を推進します	
			(5) 部活動の地域への移行の推進	① 関係課と連携し、土日の中学校部活動の地域移行の体制づくりを進めます	
	9	「食」に関する指導を推進し、安全・安心な学校給食の提供に努めます	(1) 「地産地消」給食の推進	① 木更津市内及び近隣市、千葉県内で生産された食材を優先的に使用し、顔の見える「地産地消」給食を推進します	
			(2) 地元産有機栽培米の提供	① 学校給食への地元産有機栽培米の提供割合100%を目指します	
			(3) 食育のための環境の充実	① 小学校において、野菜等の食材を「栽培→調理→食す」活動を取り入れます ② 「食」に関する指導のための教材・教員の作成 ③ 学校と連携した食育指導支援を推進します	
			(4) 学校給食施設の利用整備	① 各調理校の施設設備及び器具等の補修を行うとともに、将来にわたり、安全安心な給食を提供するため、地産地消の拠点となる新しい給食施設の整備を検討します	
	10	学校の教育環境の整備に努めます	(1) 学校施設長寿命化計画の実行	① 学校施設長寿命化計画を確実に実行し、学校施設の整備に努めます ② トイレの洋式化及びバリアフリー法に基づくエレベーター整備の推進等、学校施設のバリアフリー化を推進します	
			(2) 小中学校の整備	① 区画整理事業の進展等により児童生徒数の増加が見込まれる金田小中学校の整備を検討します	
	基本方針2	重点目標	重点施策	施策	
	生心育る学習と社会との実を現実を目、指しめが自ら学び、健康で生きがいのある生活を送ることができる	1	生涯学習・社会教育推進体制の充実に努めます	(1) 市民参画による社会教育行政の推進	① 社会教育委員会を定期的に開催し、市民の意見や要望を取り入れる機会の充実に努めます
				(2) 生涯学習・社会教育振興のための支援体制の充実	① 市民の学習活動を支援するため、職員の資質向上に努めるとともに、視聴覚ライブラリーの充実に努めます
				(3) 社会教育施設の総合的な環境整備	① 関係部署と連携を図り、市民の生涯学習の拠点としての（仮称）生涯学習センター（公民館・図書館）の再整備を進めるとともに、公民館長寿命化計画等をふまえた施設の整備に努めます
2		生涯学習・社会教育活動の充実に努めます	(1) 子育て・家庭教育支援事業の充実	① 家庭教育支援事業の充実を図るため、関係機関・団体と連携し、親の育ちを応援する学びの環境を整えます	
			(2) 市民の生涯学習機会の充実	① 市民の多様な学習ニーズに対応するため、生涯学習市民公開講座や市役所職員による出前講座を実施します ② 市民の体験的学習活動を推進するための生涯学習パスを運行します	
			(3) 社会教育関係団体の育成と支援	① 団体が自主的に行う社会教育活動に対し、求めに応じて助言や支援をします	
3		人権が尊重される社会をつくるための取組を進めます	(1) 人権教育研修会の開催	① 人権の理念を普及し、その理解を深めるための研修会を開催します	
			(2) 人権啓発活動の実施	① テラジ、リーフレット配布など、人権に対する意識を高めるための啓発活動を推進します	
4		公民館活動の活性化を推進します	(1) 公民館利用者の拡大	① 地域の特性や公民館の施設にあわせ、市民が気軽に集うスペースの確保や自由に参加できる事業を実施します	
			(2) 地域自治の活動の支援	① 地域の課題解決のため、「まちづくり協議会」や「青少年育成住民会議」の活動を支援するとともに、課題解決のための事業を実施し、地域活動のための人材の育成を図ります	
			(3) デジタル社会への対応支援	① スマートフォンなどのデジタル機器の活用方法の講座を行うとともに、デジタル機器を活用した学習機会を作ります	
5		市民の読書活動を推進することにより、生涯学習体制の充実に努めます	(1) 図書館サービスの充実	① 各種図書館事業の開催と図書館に必置の資料の提供により、図書館利用者数を増やします ② ブックスタート事業により、乳幼児期からの読書活動を推進します ③ おはなし会等の事業を開催し、図書館に来館するきっかけとなる機会を増やします ④ パスファインダーの作成を推進し、レファレンスサービスの普及に努めます ⑤ 点字図書・録音図書・大活字本等を計画的に収集し、読書にハンディキャップのある利用者に対するサービスの充実に努めます	
				① 相談会を開催するなど、電子図書の普及に努めます	
				② 電子図書を計画的に購入します	
			(2) 電子図書サービスの拡大		

基本方針3	重点目標		重点施策	施 策	
な青 人少 間年 性の と健 やか 体的 な成 判長 断を 力を 社会 を持 全つ 体青 で支 える 育仕 組み すを 整備 し、 豊か	1	地域の中で青少年を支える環境づくりを推進します	(1) 青少年育成関係機関の活動の支援	① 青少年育成関係機関相互の連絡調整を行い、それぞれの機関の活動の充実に支援します	
			(2) 地域の教育力向上のための活動支援	① 放課後子ども教室の拡充支援、青少年育成地区住民会議の活動支援を行い、地域の教育力の向上を図ります	
			(3) 地域の青少年健全育成活動の支援	① 青少年相談員の活動の充実に努めるとともに、青少年育成活動の担い手の育成に努めます	
	2	青少年が地域社会の中で主体的に活躍できる環境づくりと、社会的孤立を防ぐ取組を推進します	(1) 青少年育成事業の実施	① オンラインで繋がる新しい交流の場や「二十歳を祝う会」など、各種体験事業を実施します	
			(2) 少年自然の家キャンプ場の利用促進	① 少年自然の家キャンプ場を自然体験活動の拠点として、青少年教育事業を展開するとともに、利用の促進を図ります	
			(3) 青少年の活躍の場の創出	① 青少年が社会貢献するための知識や技術を習得する支援に努めるとともに、地域社会における活躍の場を創出します	
	3	青少年の健全育成と非行防止を図るため、地域と連携した取組を進めます	(1) 相談活動の実施	① 社会教育指導員等、専門家による相談活動(面接・電話・メール)を行います	
			(2) 青少年補導員等によるパトロールの実施	① 青少年補導員による街頭指導、乗車マナー指導、喫煙・飲酒防止キャンペーン等(青少年への愛の一声運動)を関係機関、団体と連携し行うとともに、有害広告等の撤去依頼を行います	
			(3) 青少年非行防止啓発活動の実施	① 青少年健全育成だより(News Letter)の発行や青少年指導関係活動報告「青少年に愛の一声を」を発行します	
			(4) 青少年指導関係運営協議会の開催	① 青少年指導関係事業を効果的に運営するため、関係機関・団体・有識者との連携を図り、青少年指導関係運営協議会を開催します	
			(5) 体験活動をテーマとした青少年事業の実施	① 野外活動やものづくりなど、地域の世代間交流を図る機会を創出し、地域における青少年育成を推進します	
	基本方針4	重点目標		重点施策	施 策
	り次市 に世 民の 代に 醸に よ成 引る をさ 芸図 継術 りく 文活 化す 動活 を動 推の 進活 性化 をを と図 もり に、 地一 域城 木の 更文 津化 市遺 産民 産と やし 芸て 術の 文誇 化を	1	ふるさと文化の新たな発見・保存・継承を推進し、公開することにより、シビックプライドの醸成に努めます	(1) 重要文化財「千葉県金鈴塚古墳出土品」の国宝化推進事業の実施	① 千葉県指定史跡「金鈴塚古墳」の整備に努めます(駐車場含む) ② パンフレットの作成や小学校における学習支援など、千葉県金鈴塚古墳出土品の普及啓発事業に取り組みます
				(2) 文化財保護対策の推進	① 市内に所在する有形・無形文化財、史跡、天然記念物を保護し文化財の指定・活用・周知に努めるとともに、市内の文化財を保存し、伝承する団体を支援するため補助金を交付します
				(3) 埋蔵文化財保護対策の推進	① 埋蔵文化財保護のため、開発事業に対応した調整を図り、必要な発掘調査や整理作業を実施するとともに、記録保存に努めます
(4) 将棋文化の継承・普及				① 小中学生将棋大会を開催し、将棋を通して地域の伝統文化を促進します	
(5) 木更津市史の編さん・刊行				① 本市の歴史や文化、豊かな自然への関心を高めるため、新たな「木更津市史」を編さん・刊行するとともに、公開講座の実施、デジタルアーカイブでの公開、調査研究成果を活用した学習活動の支援に努めます	
(6) 博物館(郷土博物館金のすず)事業の充実				① 常設展示の改良、充実に努め、ふるさと文化を目に見える形で示すことで、次世代への継承を図ります ② 常設展示以外にテーマ設定をした期間限定の展示会を開催することにより、市民の文化芸術に触れる機会の提供に努めます ③ 金鈴塚古墳出土品をはじめとした郷土に関する調査研究を継続し、その成果を講座・展示に反映させ、郷土の宝としての価値を広めます	
2		優れた文化芸術に触れる機会を提供するとともに、地域の文化遺産や伝統芸能を次世代に引き継ぐ活動の充実を図ります	(1) 芸術文化振興事業の実施	① 小中学校の音楽鑑賞教室を開催し、児童生徒が優れた文化芸術に触れる機会を作ります	
			(2) 芸術文化に親しむまちづくり振興事業の実施	① プロによるコンサートやアート制作ワークショップ開催など、市民が優れた文化芸術に触れる機会を提供します	
			(3) 文化芸術団体への支援	① 各種文化芸術団体の活動を支援するため、実施事業に補助金を交付します	
			(4) 新しい中規模ホールの活用方法の検討	① 関係部署と連携を図り、中規模ホールの活用方法の検討を進めます	

3. 木 更 津 市 教 育 大 綱

木更津市第3次教育大綱

令和5年2月3日

1 趣旨

平成27年4月から施行された地方教育行政の組織及び運営に関する法律では、市長と教育委員会から構成する総合教育会議を設置することが義務付けされました。

また、同会議において、地域の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めるものとされ、本市では平成27年11月に木更津市教育大綱を、令和元年4月に木更津市第2次教育大綱を策定し、市長と教育委員会が連携してそれぞれの施策を進めてきました。

この間、高度デジタル社会やSDGs達成への対応、また「新しい生活様式」を踏まえた学校教育の継続が求められるなど、教育を取り巻く環境は大きく変化しています。

こうした状況を考慮しつつ、市長と教育委員会が協議、調整のうえ、新たな教育大綱を定めるものです。

2 大綱の位置づけ

市長は、「木更津市総合計画第3次基本計画」を、教育委員会は、教育振興の基本計画である「第3期木更津市教育振興基本計画」を所管し、施策を推進しています。

この教育大綱は、市長が、特に重点的に教育委員会と連携して進めるべき事項について、総合教育会議における協議を経て定めたものです。

3 計画期間 令和5年4月から令和9年3月まで

4 基本目標

「将来につなぐ、地域をつなぐひとづくり」

本市は、子育て支援や教育環境の充実により、将来を担う子どもたちを育むとともに、自分の住むまちをより良いものにしていくとする地域の人たちを支えています。

5 基本方針

- ①安心して子どもを産み育てられるまちを目指します。
- ②子どもから高齢者まで自分の居場所を見つけられるまちを目指します。
- ③多様性を認め合い、尊重できるまちを目指します。

6 基本施策

- ①安心して子どもを産み育てられるまちを目指します。
 - (1) 子どもの居場所・教育施設の環境整備
 - (2) 給食米100%オーガニック化・地産地消を取り入れた学校給食の提供
- ②子どもから高齢者まで自分の居場所を見つけられるまちを目指します。
 - (1) 特色ある教育カリキュラムの推進
 - (2) スポーツを通じた児童・生徒の健康増進
 - (3) 継続的な学びを支える公民館の充実
 - (4) 文化芸術拠点施設の整備推進と文化財の価値や魅力の創造
- ③多様性を認め合い、尊重できるまちを目指します。
 - (1) いじめ、暴力、虐待、差別のない共生社会の実現

4. 教 育 行 財 政

教育委員



教 育 長
廣 部 昌 弘



教育長職務代理者
渡 部 佳 子



委 員
豊 田 雅 之



委 員
小 寺 孝 治 郎



委 員
中 島 緑

役 職	氏 名	就任年月日	職 業
教 育 長	廣 部 昌 弘	R3. 4. 1	
教育長職務代理者	渡 部 佳 子	H28. 10. 1	
委 員	豊 田 雅 之	H30. 10. 1	
委 員	小 寺 孝 治 郎	R3. 10. 1	医 師
委 員	中 島 緑	R4. 4. 1	専任講師

教育委員会会議

○ 令和５年及び令和６年の会議開催数

区 分	回 数	
	R5	R6
定 例 会	12	12
臨 時 会	0	0
計	12	12

○ 令和５年及び令和６年に議決された案件

内 容	件 数	
	R5	R6
○教育行政の運営に関する基本方針の決定に関する事。	2	1
○教育委員会事務の点検評価に係る報告書の作成・議会への報告・公表	1	1
○教育機関の設置及び廃止に関する事。		
○教育財産の取得及び処分申し出に関する事。	1	
○職務の級が６級以上の職員等の任免に関する事。	1	1
○校長及び教頭の進退の内申に関する事。		
○職員及び教職員の分限及び懲戒の処分に関する事。		
○教育委員会規則の制定又は改廃に関する事。	13	4
○教育功労者の表彰に関する事。	1	1
○議会の議決を要する事件の議案の申し出に関する事。	5	5
○教育機関の敷地並びに建物の設定又は変更に関する事。	1	
○附属機関の委員の任命又は委嘱に関する事。	7	6
○教育関係職員の研修の一般方針の決定に関する事。		
○教科書採択及び教科書等の取扱いの一般方針の決定に関する事。	2	2
○学校の通学区域の設定又は変更に関する事。		
○文化財の指定及び解除に関する事。		1
○職員団体との重要な交渉に関する事。		
○請願及び陳情に関する事。		1
○その他	3	2
計	37	25

教育委員会表彰

昭和28年「教育功績者表彰内規」が制定され、木更津市教育の向上に功績のあった個人及び団体について表彰していたが、昭和44年「教育委員会表彰規程」に改正され、木更津市における教育・学術又は文化の振興に関し、特に顕著であった個人又は団体を表彰するもので、11月に表彰式を行う。

○ 表 彰 基 準

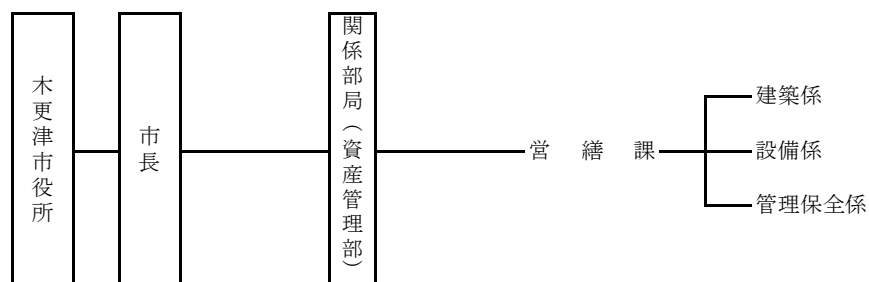
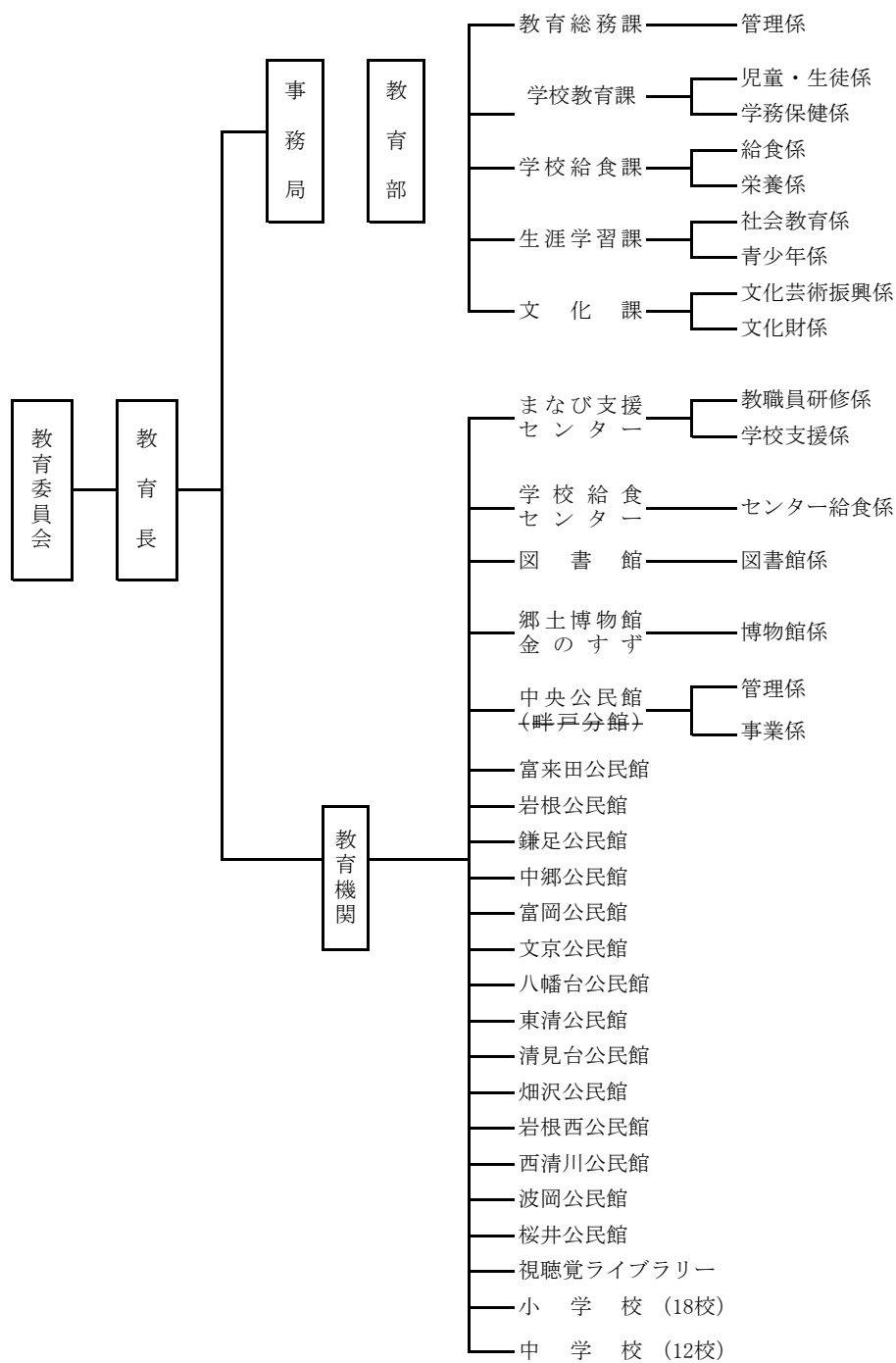
1. 職員にして教育向上のため尽力し、その功績が顕著なもの
2. 有益な研究、考案又は発明をし、教育に貢献したもの
3. 学校教育又は社会教育の振興について、その功績が顕著であったもの
4. 学術又は文化の向上発展について、その功績が顕著であったもの
5. 上記1～4以外で、表彰することが適当と認められる業績があったもの

○ 令和6年度被表彰者

所 属 等	氏 名	備 考
木更津第二小学校 校長	根 本 修 身	
祇園小学校 校長	福 中 義 宏	
真舟小学校 校長	北 岡 由 佳	
木更津第一中学校 校長	今 井 克 彦	
木更津第一小学校 教諭	眞戸原 美津子	
請西小学校 教諭	田 中 美 幸	
真舟小学校 教諭	竹 内 真 理	
木更津第二中学校 教諭	市 原 靖 子	
太田中学校 教諭	江 田 由香利	
木更津第一小学校 事務長	伊 東 朱 美	
木更津第二中学校 事務長	西 原 和 子	
心の相談員	渡 邊 由美子	
—	西 村 堯	
教育相談教室カウンセラー	上 田 和 子	

教育委員会等機構図

令和7年1月1日現在



○ 事務局（教育部）の業務内容

課 名	主 な 業 務 内 容
教育総務課	教育委員会会議、職員の任免・分限・服務及び身分、教育財産の取得又は処分・契約・登記及びその他管理、奨学基金、学校施設台帳の保存
学校教育課	教育課程・学習指導その他学校教育の指導、教職員の研修、教職員の配置等・人事、通学区域、学校保健
学校給食課	学校給食の運営、学校給食費の賦課・徴収
生涯学習課	生涯学習事業の企画及び振興、社会教育関係団体の育成、生涯学習バスの管理運営、青少年健全育成、少年自然の家キャンプ場
文 化 課	芸術・文化の振興、芸術文化団体の育成、文化財の調査・保護及び活用、埋蔵文化財の保護対策、文化財の指定及び管理、木更津市史の編さん

○ 教育機関の業務内容

機関名	主 な 業 務 内 容
まなび支援 セ ン タ ー	教育相談教室・教育支援教室の運営、教職員研修の企画・運営、外国語指導助手の配置・指導等、ICT機器の管理、青少年の非行防止・指導、青少年・子育て相談
学 校 給 食 セ ン タ ー	学校給食センターの管理運営、学校給食の献立作成・食材契約、配食校の食指導関係、食物アレルギー対応
図 書 館	図書館の管理運営、図書の管理・貸出、図書館協議会
郷土博物館 金 の す ず	郷土博物館金のすずの管理運営、郷土博物館金のすず協議会、旧安西家住宅、教育普及事業、展示事業、郷土資料の調査
公 民 館	公民館の管理運営、公民館の利用、定期講座、講習会等
視 聴 覚 ライブラリー (生涯学習課内)	視聴覚教材及び視聴覚機材の整備及び貸出しに関すること

○関係部局の業務内容

課 名	主 な 業 務 内 容
営繕課	学校施設整備計画の作成、学校施設の整備に係る補助金、 教育施設の維持管理の要望処理、学校施設台帳の整備

教育委員会職員数

令和7年1月1日現在

○ 事務局

課	職	部 長	次 長 部 参 事	課 長 主 幹	補 佐 副 主 幹	係 主 長 査	主任主事 主任技師	主 事 栄養士	事務員 嘱託員	計
教 育 部		1								1
教 育 総 務 課			1		1	1	1		2 会 (1)	6 会 (1)
学 校 教 育 課			1	3	2	6	4	1	会 (2)	17 会 (2)
学 校 給 食 課				1		2	1	1	1 会 (2)	6 会 (2)
生 涯 学 習 課				1		3	2		会 (2)	6 会 (2)
文 化 課			1	1	3	1	1		会 (20)	7 会 (20)
計		1	3	6	6	13	9	2	3 会 (2)	43 会 (2)

○ 教育機関

機関	職	館 所 長 長	主 幹 副 館 長	副 館 長 副 主 幹	主 査	主任主事 主任技師	主 事	事務員 栄養士	指導員 相談員 指導助手 支援員 管理人 図書館司書	計
ま な び 支 援 セ ン タ ー		1		2	3	1		会 (2)	会 (35)	7 会 (37)
学校給食センター		1	1			1		会 (1)		3 会 (1)
図 書 館		1		3	1	6		1	会 (6)	12 会 (6)
郷 土 博 物 館 金 の す ず		1		1		1			会 (2)	3 会 (3)
公 民 館		6 会 (8)		9	1	11	3	2	会 (22)	32 会 (30)
計		10 会 (9)	1	15	5	20	3	3 会 (2)	会 (67)	57 会 (78)

○ 小中学校

学校	職	副主幹	栄養士	総括：学校事務員 用務員・調理員	主任：学校事務員 用務員・調理員	学校事務員 用務員・調理員	計
小 学 校			7	4	1	会 (14)	12 会 (14)
中 学 校				4	2	会 (7)	6 会 (10)
計		0	7	8	3	会 (21)	18 会 (21)

教 育 財 政

○ 項目別教育費

単位：千円

款 項 目	令和6年度当初(A)		令和5年度当初(B)		比 較 ((A)-(B))	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
50 教育費	4,934,184	100.0%	4,679,024	100.0%	255,160	5.5%
5 教育総務費	577,031	11.7%	555,497	11.9%	21,534	3.9%
5 教育委員会費	17,475	0.4%	17,360	0.4%	115	0.7%
10 事務局費	397,141	8.0%	386,702	8.3%	10,439	2.7%
17 まなび支援センター費	162,415	3.3%	151,435	3.2%	10,980	7.3%
10 小学校費	761,682	15.4%	826,448	17.7%	△ 64,766	△7.8%
5 学校管理費	586,428	11.9%	601,584	12.9%	△ 15,156	△2.5%
10 教育振興費	174,650	3.5%	197,101	4.2%	△ 22,451	△11.4%
15 学校建設費	604	0.0%	27,763	0.6%	△ 27,159	△97.8%
15 中学校費	1,015,295	20.6%	798,581	17.1%	216,714	27.1%
5 学校管理費	815,638	16.5%	479,681	10.3%	335,957	70.0%
10 教育振興費	161,362	3.3%	135,092	2.9%	26,270	19.4%
15 学校建設費	38,295	0.8%	183,808	3.9%	△ 145,513	－
25 社会教育費	922,731	18.7%	900,109	19.2%	22,622	2.5%
5 社会教育総務費	147,064	3.0%	157,821	3.4%	△ 10,757	△6.8%
10 青少年育成費	13,068	0.3%	11,980	0.3%	1,088	9.1%
15 公民館費	480,553	9.7%	479,568	10.2%	985	0.2%
20 図書館費	133,759	2.7%	133,582	2.9%	177	0.1%
25 少年自然の家費	14,178	0.3%	14,703	0.3%	△ 525	△3.6%
27 博物館費	126,901	2.6%	93,676	2.0%	33,225	35.5%
30 生涯学習まちづくり推進事業費	7,208	0.1%	8,779	0.2%	△ 1,571	△17.9%
30 保健体育費	1,657,445	33.6%	1,598,389	34.2%	59,056	3.7%
5 保健体育総務費	0	0.0%	0	0.0%	0	－
10 体育施設費	0	0.0%	0	0.0%	0	－
20 学校給食費	1,657,445	33.6%	1,598,389	34.2%	59,056	3.7%

* 市民1人あたり教育費予算

36,057 円

(令和7年1月1日現在住民基本台帳人口136,843人)

5. 学 校 教 育

「自立する力」と「共生する姿勢」を身につけた児童生徒の育成

家庭・地域社会から信頼される魅力ある学校づくり

学校教育の重点目標

1. 学習習慣の形成

- ①基礎的・基本的学力の定着
- ②学習意欲を高める授業改善の推進
- ③学習に前向きな学級・集団づくり
- ④特別支援教育の充実
- ⑤読書活動の推進
- ⑥ICTを活用した学習活動の定着
- ⑦外国語・国際理解教育の充実
- ⑧キャリア教育の推進
- ⑨家庭学習の習慣化
- ⑩プログラミング教育の推進

2. 自他を大切にする心の育成

- ①正しく前向きな自己決定を促す生徒指導の推進
- ②「なかなかヤルー」運動の推進
※3つの心「やさしい心」「ルールを守る心」「一生懸命取り組む心」を育成する（自己肯定感を高める）
- ③道徳教育（人権教育）の充実
- ④いじめのない学級・集団づくり
- ⑤SDGs教育の推進
- ⑥長期欠席児童生徒対応の取り組みの強化
- ⑦コミュニケーション能力の育成
- ⑧共に学ぶ体験活動の工夫・充実

3. 健康・安全意識の確立

- ①健康意識・食品選択能力を育てる食育の推進
- ②健康的な生活習慣の定着
- ③運動意欲の高揚と体力の増進
- ④保健・体育授業の工夫・改善
- ⑤災害に備えた学校安全指導体制の充実
- ⑥地域の安全ネットワークの整備・充実
- ⑦児童生徒のメンタルヘルスの強化
- ⑧基本的な感染症対策の徹底

学校における具体的取組

①★年間1回は、算数数学検定を受検するように働きかける。 ※算数・数学検定ドリル（過去問題）の活用 ②★相互授業参観を定期的に設定する。 ③★県標準学テにおいて、各学年各教科で半数以上の児童生徒が県平均点を上回る。 ★小学校において、教科担任制、交換授業の導入を積極的に行う。 ④★校内委員会を定例化し、個別的教育支援計画、個別の指導計画の作成、活用を図る。（通常の学級含む） ※特別支援教育木更津システムの活用 ⑤★月1冊以上読書する児童生徒を90%以上にする。（読書0の児童生徒をなくす） ★市立図書館を効率的に活用する（電子図書を含む） ★情報化推進チームを組織し、教職員のICT活用指導力の向上を図る。 ⑥★全教職員がICTを活用した授業を行う。 ★ICTを活用した実践例をまなび支援センターHPで共有し、活用する。 ⑦★ALTとのチームティーチングを通して、外国語教育を充実させる。 ★ALTの活用を工夫し、国際理解教育を推進する。 ⑧★（小）6年生の就業密着観察学習を推進する。 （中）2年生の職場体験学習を充実させる。 ⑨★家庭学習啓発資料の作成・配付やA1ドリの活用等、家庭学習の工夫や定着を目指した取り組みを行う。 ⑩★プログラミング学習に関する連携協定を活用し、プログラミング教育の充実を図る。	①★「学校評価木更津システム」を効果的に活用する。 ②★生徒指導の機能を活かした学級経営、授業づくりを推進する。 ★生徒指導部会を定例化し、関係機関との連携ネットワークを明確にする。 ③★「考え、議論する道徳」を意識した特別の教科道徳の学習を、年35時間実施する。 ★地域行事に積極的に参加させる。（地域との交流・ボランティア活動） ④★「木更津市いじめ防止対策基本方針」に則した各学校の基本計画を改訂し、いじめ防止、いじめ対応の体制強化を図る。 ★いじめ実態調査を年間3回行う。 ★学級経営、いじめ防止対策（生徒指導・教育相談・望ましい集団づくり・発達段階による特性）に関する校内研修を行う。 ★児童生徒の自治的活動による「いじめ防止」を推進する。 ⑤★SDGsについて学習する機会を設定する。 ★長欠対策部会を組織し、会議を定例化するとともに、長欠児童生徒の実態に応じた有効な支援を講じる。 ⑥★市教育支援教室「あさひ学級」を効果的に活用する。 ★SC、心の相談員、SSW等の役割を明確にし、効果的に活用する。 ★市教育相談教室を効果的に活用する。 ⑦★自らテーマを決めて研究できる体制をつくり、研究発表を行う場を設定する。 ⑧	★（小）3年生以上で年間1回「栽培」→「調理」→「食す」体験学習を実施する。 ①（中）望ましい食生活に関する指導を、全学級で年間1回行う。 ②★各教科・領域の横断的学習に配慮した食育計画を立案し、実施する。 ★一人一人の生活リズムを把握し、教育相談に活用する。 ★運動能力証合格者を40%以上にする。 ③★千葉県体力・運動能力調査の結果を分析し、体育授業の工夫・改善を通して、運動意欲の高揚を図る。 ④★保健の授業等で、生活習慣病の予防及びがん教育、薬物乱用防止教育、性に関する教育、性犯罪・性暴力の根絶に向けた取組の実施に努める。 ★保健指導の充実を目指し、学校保健委員会を年間1回行う。 ★学校安全の手引に基づき、学校安全指導マニュアルの改訂を行い、機能的な学校安全体制を確立する。 ★実践的避難訓練（予告なし）を年間1回実施する。 ★AEDの使用を含め、心肺蘇生法及びアレルギー等、緊急時の対応に関する研修を定期的に行う。 ★遊具を含めた学校施設の安全点検を日常化する。 ★児童生徒の安全意識の高揚を図る。特に自転車の乗り方については、交通安全教室を実施するとともに、横断歩道の渡り方や通行の仕方について、指導の強化を図る。 ⑤ ⑥★登下校の安全確保のための安全パトロール組織の充実を図る。 ⑦★定期教育相談を年間2回以上実施する。 ⑧★年間を通じて適切な換気を継続し、手洗い・咳エチケットの指導を徹底する。
--	--	---

教育委員会の重点施策

A 算数数学検定を年間2回実施 B スクールサポートティーチャー26名を配置 C ALT23名を全小中学校に配置 D 読書相談員を全小中学校に配置 E スクールアクティブサポーター（SAS）の配置 F 特別支援教育支援員の配置 G 英語検定料補助金制度の実施 H ICT支援員の派遣 I プログラミング学習に関する連携協定を生かした活動の推進 J 学習支援員の配置 K 医療的ケア支援事業の推進	A 生徒指導担当者研修会の開催（年2回） B 心の相談員の配置 C 市教育相談教室の実施 D 教育支援教室「あさひ学級」の活用 E 市スクール・ソーシャル・ワーカーの配置・活用 F 中学校合同生徒会による連携 G 心の教育推進協議会の活用 H アート体験活動の推進 I 「出前授業一覧表」の作成および活用の推進 J 長欠目標値、具体的取組の設定 K 学習活動研究発表会の開催	A 市食育推進計画・アクションプランの活用 B 学校安全の手引の活用 C 熱中症ガイドラインの活用 D 部活動ガイドラインの活用 E 防犯ブザー（小1）の配付 F 安心・安全メール（LINE）の配信 G 陸上教室の開催（木更津高専との連携） H 「救急こども安心カード」の活用 I 防災ジュニアハイスクールの実施 J 子どもの見守りサービスの市内全域への拡大
--	--	---

☆研修による指導力の確立☆

- ①夏季教職員研修に積極的に参加する
- ②魅力ある校内研修を推進する

☆家庭・地域社会との協働☆

- ①地域の特色にあわせた、学校支援ボランティア活動を推進する。
- ②コミュニティスクールを推進する

☆教職員のチーム力の向上☆

- ①校内組織を見直し、組織の活性化を図る
- ②働き方改革に向けた業務改善を推進する

①学校による自己評価（統一20項目）

学校評価木更津システム

②学校関係者評価 ③結果の公表

家庭・地域社会、学校・行政によるトライアングル子育て運動

令和6年度 学校教育の重点目標及び推進方策

I 学校教育の重点目標

「自立する力」と「共生する姿勢」を 身につけた児童生徒の育成

—— 家庭・地域社会から信頼され、魅力ある学校づくり ——

II 推進方策

1. 基盤となる方策

- (1) 「家庭、地域社会、学校・行政によるトライアングル子育て運動」を更に推進し、「地域に開かれた学校」、「地域に信頼される、魅力ある学校」をつくる。
 - ① 学校支援ボランティア活動推進事業の推進を図る。
 - ・ 校内交流会の定例化と実践発表会の開催方法を工夫する。
 - ・ 担当教職員とボランティアコーディネーターの連携の複線化を図る。
 - ・ 実践発表動画の活用を図る。
 - ② 学校評議員制度推進事業の充実とコミュニティスクールの推進を図る。
 - ・ 学校の教育活動を公開する。
 - ・ 外部評価委員としての活動の充実を図る。
 - ・ 学校評価「木更津システム」の結果に基づき、よりよい学校運営を推進する。
 - ③ 家庭との連携の重要性を認識し、教師と保護者の信頼関係を構築する。
 - ・ H P の充実 ・ 各種たよりの工夫 ・ 家庭訪問、三者面談、オープンスクール等の工夫
 - ④ 学校種間、研究機関、社会教育機関、清和大学、木更津工業高等専門学校、木更津高校、木更津東高校等と連携した取り組みの充実を図る。
- (2) P（計画）・R（調査）・D（実施）・C（評価）・A（改善）のマネジメント・サイクルを柱に、教育施策を推進し、学校教育の活性化に努める。
 - ① 学校評価「木更津システム」に基づいた学校評価及び教育施策評価を行う。
 - ② 人事評価制度を効果的に活用し、教職員の資質力量を高める。
- (3) 教職員の年齢層やニーズに応じた教職員研修を企画運営するとともに、授業改善プログラムを生かし、教職員の資質力量の向上を図る。
 - ① 初任者、ミドルリーダー研修を有効に活用する。
 - ② 夏季教職員研修に積極的に参加し、資質力量の向上のための研さんに努める。
 - ・ 若年教員が主体的に研修できる体制を整備する。
 - ③ オンライン研修を推進する。
- (4) 学校における働き方改革に向けた、業務改善の推進を図る。
 - ① 勤怠管理システムを活用し、教職員の出退勤時刻の管理と、学校行事や業務内容の見直しを行う。
 - ② 「部活動ガイドライン」に沿った、適正な部活動運営を推進する。
 - ③ 学校事務共同実施の推進や、校務支援システムの有効活用を図る。

2. 学習習慣の形成

- (1) 学習指導要領に基づいた教育課程を編成するとともに、カリキュラムマネジメントに努め、効果的な教育諸活動を推進する。
- (2) 「授業改善」、「学習に前向きな学級集団づくり」、「学習評価の充実」のための、校内研究・教職員研修を計画的、継続的に推進する。
 - ① 層別教員の相互授業参観を推進し、校内における授業研究を充実する。
 - ② 小学校において教科担任制・交換授業を積極的に行う。
 - ③ 全国学力・学習状況調査の分析ツールを活用するとともに、県標準学力検査の結果を分析し、課題解決のための具体的取組を実践する。
- (3) 算数数学検定を積極的に活用し、基礎²⁹基本の定着と学習意欲の喚起を図る。

- (4) 「第5次木更津市子ども読書活動推進計画」に基づき、読書活動の一層の充実を図る。
- ①学校図書館蔵書管理システムを活用しながら、読書相談員や学校支援ボランティアと連携し、読み聞かせの充実や学校図書館の整備に努める。
 - ②「読書の日」の有効活用や電子図書サービスの利用等、市立図書館、家庭との連携に努め、読書に対する意欲の喚起を図る。
- (5) 共生社会構築のための特別支援教育の意義を理解し、特別な支援が必要な児童生徒の指導の充実に努める。
- ①保護者との連絡を密にしながら、関係機関との連携に努め、適切な就学支援を行う。
 - ②「特別支援教育木更津システム（第4版）」に基づき、校内の特別支援教育体制の確立を図る。
 - ③児童生徒の実態に応じて個別の教育支援計画、個別の指導計画を作成し、校内委員会を定例化する。
 - ④スクールサポートティーチャー（SST）および特別支援教育支援員配置校は、特別支援教育に関する実践研究を行い、成果を広める。
- (6) 家庭学習の定着を目指し、AIドリル等を活用した、児童生徒一人一人の学習意欲や学習スタイル等に応じた個別支援の充実を図る。
- (7) 勤労意欲や正しい職業観を育成するためのキャリア教育の充実を図る。
- ①児童生徒の発達段階に応じた学習活動の中で、効果的なキャリア形成を図るために、「キャリアパスポート」を有効に活用する。
 - ②小学校では、第6学年で半日間程度の就業密着観察学習を実施する。
 - ③中学校では、第2学年で3日間程度の職場体験学習を実施する。
- (8) 外国語教育の充実と国際理解教育の推進に努める。
- ①学習指導要領の外国語活動および外国語科に対応した授業づくりの研修を進め、教職員の指導力の向上を図るとともに、外国語指導助手（ALT）を効果的に活用することによって、言語活動を通じた指導を充実させる。
 - ②児童生徒のコミュニケーション能力の向上や異文化理解などの国際理解教育を推進し、グローバル社会に生きる児童生徒の育成に努める。
 - ③中学校3年生を対象にした英語検定3級の検定料補助制度を活用し、英語の学習意欲向上を図る。
- (9) 新しい社会Society 5.0に対応するための、情報教育の推進に努める。
- ①1人1台タブレット等の教育機器の効果的活用を通し、児童生徒の情報活用能力の育成に努めるとともに、個人情報保護及び情報モラルの高揚（SNSに関する指導含む）に努める。
 - ②教職員の情報活用能力向上にむけた研修の充実に努める。
 - ③校内情報化推進体制の確立を図り、全教職員のICTの活用指導力の向上を図る。
 - ④木更津市におけるプログラミング学習に関する連携協定を生かし、プログラミング教育の充実を図る。

3. 自他を大切にする心の育成

- (1) 教育活動全体を通じ、人権教育、道徳教育を推進し、児童生徒の人権意識の高揚に努める。
- ①木更津市心の教育推進協議会が提唱する3つの心「やさしい心」、「ルールを守る心」、「一生懸命取り組む心」を養い、豊かな人間性や社会性の育成に努める。
 - ②「考え、議論する道徳」を意識した「特別の教科道徳」の学習を、年間35時間実施する。
 - ③地域の行事や学校支援ボランティア活動の様子を紹介し、地域の行事に児童生徒が積極的に参加できるようにする。
- (2) 教職員の意識啓発と「いじめの予防」、「いじめが起きた場合の連絡指導体制づくり」を柱とし、いじめのない学校づくりを推進する。
- ①「木更津市いじめ防止対策基本方針」に則し、各学校の実情に応じた「学校いじめ防止対策基本方針」を改訂し、いじめ防止、いじめ対応の体制強化を図る。
 - ②学級経営、いじめ対策に関する校内研修をとおり、教職員・児童生徒・保護者が、「いじめはどこにでも存在する。誰でも加害者、被害者になり得る。」という意識を持つ。
 - ③児童会活動や生徒会活動等、児童生徒の自治的活動による「いじめ防止」を推進する。
 - ④定期的にいじめの実態を把握し、いじめが起きた場合には、迅速かつ組織的な対応ができるような体制を確立する。
- (3) 機能的な生徒指導体制づくりに努め、自己肯定感を高める生徒指導の一層の充実を図る。

- ①生徒指導に関する教職員研修を充実し、生徒指導の機能を生かした学級経営、授業づくりを推進する。
- ②生徒指導部会を定例化し、生徒指導体制を的確に機能させる推進組織とする。
- ③生徒指導上の諸課題に対しては、生徒指導体制の下、全教職員で連携し、組織的に対応する。
- ④児童生徒の自己肯定感を高めるとともに、教職員が児童生徒の人間関係能力を育成するスキルを習得するための研修を推進する。
- (4) **教育相談体制を整備し、長欠、不登校児童生徒の予防的指導を強化するとともに、長欠児童生徒に対して、一人一人の実態に応じた支援を行うことで、長欠、不登校状態の改善・解消に努める。**
 - ①的確な児童生徒理解を推進するため、定期的に教育相談期間を設置するとともに、日常的に教育相談が行われるような教職員の意識啓発に努める。
 - ②長欠児童生徒対策部会を定例化し、長欠、不登校児童生徒に組織的に対応する。
 - ③児童生徒、保護者からの相談窓口を明確にするとともに、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、心の相談員、市教育相談教室などの学校外の相談機関との連携を図り、教育相談ネットワークを構築する。
 - ④教育支援教室（あさひ学級・オンラインあさひ学級）を設置し、不登校児童生徒の社会的自立に向けた支援に努める。
- (5) **日常の児童生徒の様子に注意し、虐待が疑われる場合は、児童相談所をはじめとした関係機関と連携し、児童生徒の安全を最優先とした迅速な対応に努める。**

4. 健康・安全意識の確立

- (1) **「食」に関する指導の充実を図り、児童生徒の健康管理能力を高め、健康的な生活習慣の定着を推進する。**
 - ①望ましい食生活に関する指導を、児童生徒の発達段階に応じ、意図的・計画的に行う。
 - ②毎日の給食指導の中で、「食」に関する指導の日常化を図る。
 - ③「早寝・早起き・朝ごはん」運動を推進する。
- (2) **保健体育に関する授業の工夫改善を行い、児童生徒の健康維持、体力向上に努める。**
 - ①運動課題を明確にし、達成感を味わえる授業づくりに心がける。
 - ②保健の授業を計画的に実施するとともに、生活習慣病の予防及びがん教育、薬物乱用防止教育、包括的性教育の実施に努める。
 - ③児童生徒の健康づくりを推進するため、保健室経営の充実と年間計画に基づいた、計画的な保健指導の推進に努める。
 - ④学校保健委員会を定例化し、家庭、地域社会、学校の三者の協力により、組織的に児童生徒の健康づくりを推進する。
- (3) **学校安全指導マニュアルを改訂し、「学校危機管理対策ガイドライン」「学校大災害対応ガイドライン」に基づいた機能的な学校安全指導体制を確立し、児童生徒の安全指導の充実を図る。**
 - ①地震・火災・風水害・不審者対応に関する避難訓練（予告なし・引き渡し等）を実施し、児童生徒の安全意識及び危険回避能力を高める。
 - ②遊具を含めた学校施設の安全点検の日常化を図り、学校事故を未然に防止するシステムを確立する。
 - ③エピペンやAEDの使用法を含め、緊急時の対応に関する研修を定期的に行う。
 - ④「救急こども安心カード」を救急隊員等に提供することで、けがやアレルギー症状等の緊急時に、速やかで適切な対応と引き渡しを行う。
 - ⑤状況に応じた的確な対応により、感染症予防に努める。
 - ⑥中学校では、防災ジュニアハイスクールを活用し、防災意識を高めるとともに、防災対応のスキルを身につける。
 - ⑦「熱中症ガイドライン」に基づいて熱中症の危険について正しく理解し、熱中症指数モニター等の活用により事故防止に努める。
- (4) **地域の安全ネットワークの整備に努め、児童生徒の安全対策の強化を図る。**
 - ①学校支援ボランティア、PTA等と連携し、児童生徒の登下校の安全確保のための安全パトロール組織を構築する。
 - ②学校安全、交通安全等、安全に関する授業や行事等を取り入れ、児童生徒の安全意識の高揚を図る。特に自転車の乗り方については交通安全教室を実施するとともに、横断歩道の渡り方や通行の仕方について、指導の強化を図る。
- (5) **「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」に沿って、各学校で適切な活動時間や休業日の設定等の基準に沿った部活動運営に努める。**

市 内 小 ・ 中 学 校 指 定 校 等 実 績 一 覧

[illegible][illegible]

※平成13、14年度、全中学校で社会体験学習モデル事業(県指定)を実施。CSW:キャリア・スタート・ウィーク

小・中学校一覧

木更津市立小学校一覧

令和6年5月1日現在

区分	学 校 名	電話番号	所 在 地	校 長 名	児童数 (人)	学級数	特別支援学級数						通級指導教室
							知的障害	自閉症・情緒障害	肢体不自由	弱視	虚弱	難聴	
1	木更津第一	23-1051	中央一丁目11番1号	齋藤 淳	393	12	2	2		1	1		2 (言語)
2	木更津第二	23-2216	文京五丁目6番24号	根本 修身	412	12	2	1					1 (日本語・聴)
3	東 清	98-0424	菅生114番地	藤平 善史	64	5	1	1					
4	西 清	22-2818	長須賀2445番地	伊東 昭雄	269	10	2	1					
5	南 清	98-3193	ほたる野三丁目5番地	熊切 和也	296	12	2	1	1	1			
6	清見台	98-2351	清見台南一丁目15番1号	泉 隆史	563	18	3	3					
7	祇 園	98-3158	清川一丁目1番1号	福中 義宏	580	17	4	2				1	1 (言語) 1 (日本語・兼)
8	岩 根	41-1303	西岩根8番1号	和田 貴士	362	12	2	2					1 (日本語・兼)
9	高 柳	41-2085	高柳5932番地	木村 高士	392	13	3	2					1 (言語)
10	波 岡	36-2820	畑沢1270番地	高橋 等	209	7	2	1			1		2 (言語)
11	鎌 足	52-2004	矢那609番地	池田 健介	95	6	1	1					
12	金 田	41-0009	中島2931番地1	石渡 勇斗	435	15	2	1					
13	中 郷	98-0824	井尻978番地	内海 雅彦	93	6	1	1					
14	富来田	53-2004	真里谷518番地	遠藤 秀夫	175	6	1	2					
15	畑 沢	36-3003	畑沢南二丁目16番1号	岡崎 由子	542	17	2	2					2 (言語)
16	請 西	36-9331	請西二丁目8番1号	長島 則彦	513	18	2	1					1 (日本語・兼)
17	八幡台	36-6696	八幡台四丁目5番1号	土生 こずえ	684	21	4	2				1	
18	真 舟	36-0058	真舟二丁目6番1号	北岡 由佳	924	28	2	3					
合 計					7,001	235	38	29	1	2	2	2	12

木更津市立中学校一覧

令和6年5月1日現在

区分	学 校 名	電話番号	所 在 地	校 長 名	生徒数 (人)	学 級 数	特別支援学級数			通級指導教室
							知的障害	自閉症・情緒障害	肢体不自由等	
1	木更津第一	22-5321	中央一丁目10番1号	今井 克彦	298	9	2	1	0	—
2	木更津第二	36-2280	請西941番地	山元 竜二	520	15	1	1	0	1 (日本語・拠)
3	木更津第三	23-2645	永井作一丁目1番1号	白木 克也	270	8	3	1	0	1 (日本語・兼)
4	岩 根	41-2096	高柳三丁目7番49号	中尾 崇	185	6	1	1	0	—
5	鎌 足	52-2092	矢那2797番地	前田 健太郎	56	3	1	1	0	—
6	金 田	41-0032	中島2820番地	佐久間 正哲	114	3	1	1	0	—
7	富来田	53-2020	真里谷275番地	伊豆 浩江	100	3	1	1	0	—
8	太 田	98-7001	東太田一丁目2番1号	藤本 佳子	695	18	3	2	0	—
9	畑 沢	36-5021	畑沢1053番地1	吉岡 秀樹	336	10	2	1	0	—
10	岩根西	41-3681	久津間373番地	須田 雄策	150	6	1	1	0	—
11	波 岡	36-0911	大久保三丁目9番1号	石井 隆久	465	12	2	1	0	—
12	清 川	98-0188	中尾1096番地	長島田鶴子	298	9	1	1	0	—
合 計					3,487	102	19	13	0	2

児 童 ・ 生 徒 数 の 推 移

各年5月1日現在

(単位：人)

区 分		令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
小 学 校	児童数	6,930(247)	6,960(277)	6,867(311)	6,817(327)	6,740(341)	6,615(386)
	学級数	248(51)	245(58)	243(60)	244(63)	241(65)	235(74)
中 学 校	生徒数	3,367(118)	3,348(119)	3,358(135)	3,319(144)	3,350(146)	3,346(141)
	学級数	107(27)	106(29)	105(28)	105(33)	103(32)	102(32)
小 中 計	児童・生徒数	10,297(365)	10,308(396)	10,225(446)	10,136(471)	10,090(487)	9,961(527)
	学級数	351(87)	351(87)	348(88)	349(96)	344(97)	337(106)

() は特別支援学級

教育相談・教職員研修・学校支援事業

1. 目的

教育相談事業活動の充実を図るとともに、教職員研修・学校支援活動を推進し、子どもたちの健やかな成長と教職員の指導力向上を支援する。

2. 業務内容

(1) 教育相談

- ① 教育相談教室：精神科医、臨床心理士等による、発達障害や不登校等、学校生活上の様々な問題を抱えた子どもたちの教育相談活動を実施する。

令和6年度実施回数及び人数（1月1日現在）：40回（のべ105件） 81人（人数は実人数、対象児童生徒数）

- ②教育支援教室「あさひ学級」の運営：不登校児童生徒の社会的自立を目指し、学校以外の場やオンラインを利用して、自主性、主体性の育成、学習支援、人間関係の改善を図るための支援を行う。

・開設場所：まなび支援センター内

・開設日時：月曜日～金曜日（学期は小中学校と同じ） 10：00～15：00

・通級者数（＊令和6年度は、1月1日現在 オンライン通級、仮通級含む）

年度	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
人数	16	16	17	15	16	14	15	25	20	25	34	29	27	38	40	41	45

(2) 学校教育関係職員の研修

- ① 研究指定校：木更津市研究指定校の研修会の取組を支援する。
- ② 夏季教職員研修講座：教育相談・特別支援教育、授業改善等現場のニーズや今日的課題に即した研修を実施する。
- ③ 初任者研修、ミドルリーダー研修等教職員層別研修を実施する。
- ④ 外国語教育充実に向けた研修：学級担当が主導する外国語科、小中連携の在り方についての研修を実施する。（小学校外国語実践研修：4校で実施／小中連携外国語授業研修会：各校1名参加）
- ⑤ 情報教育の充実：コンピュータを含めた教育機器を活用した授業のあり方についての研修を実施する。

(3) 学校支援

- ① 小・中学校に外国語指導助手（ALT）の配置：児童生徒の英語でのコミュニケーション能力向上と国際理解教育推進のために配置し、効果的な活用方法について研究する。
- ② 算数数学検定：児童生徒の学習意欲の喚起を支援するため年2回実施する。
- ③ ICTを活用した授業実践の収集と提供：情報化推進リーダーと連携を図り各校のICTを活用した授業実践を収集し、誰でも閲覧できるシステムを構築する。
- ④ 学校ネットワークの活用促進および小・中学校のホームページの充実支援、センターホームページの充実を図る。

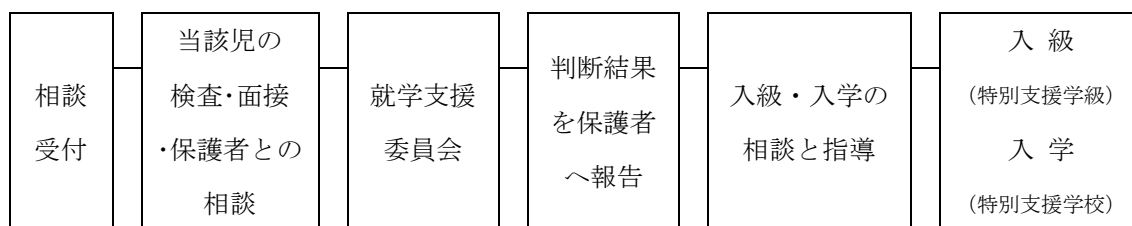
特別支援教育

『特別支援教育』とは、特別な支援を必要とする児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するために適切な教育や指導を通じて必要な支援を行うものである。また、特別支援教育は、これまでの特殊教育の対象の障がいだけでなく、知的な遅れのない発達障害も含めて、特別な支援を必要とする児童生徒が在籍する全ての学校において実施されるものである。さらに、特別支援教育は、障がいのある児童生徒への教育にとどまらず、障がいの有無やその他の個々の違いを認識しつつ様々な人々が生き生きと活躍できる共生社会の形成の基礎となるものである。

○ 就学支援委員会

就学支援委員会では、特別な支援が必要な児童生徒に対し、ニーズに合った教育的支援を医学的・心理的・教育的見地から総合的に審議検討し、適切な就学措置を判断して指導している。

・入級（入学）の手順



近年、就学支援委員会の対象となる児童・生徒が増えており、その重要性からも一層の充実を図っていかなければならない。

○ 知的障害特別支援学級

知的発達の遅滞や意思疎通に軽度の困難さのある児童・生徒に対して、発達段階に応じた教科指導や基本的生活習慣の確立、日常生活に必要な基礎的な技能の習得を目指しスモールステップで指導を行っている。

○ 自閉症・情緒障害特別支援学級

自閉症やそれに類するもの¹で、意思疎通や対人関係の形成に困難さのある児童・生徒、情緒障害²があるために学校生活や社会生活への適応が困難な児童生徒に対して、情緒の安定を図り、円滑に集団に適応し、より充実した生活が送れるように指導を行っている。

¹ アスペルガー症候群を含む広汎性発達障害

² 内在化のタイプ（選択性かん黙、不登校、過度の不安やうつ状態、身体愁訴を訴える場合など）と外在化のタイプ（かんしゃくや集団からの逸脱行動など）がある

○ 肢体不自由特別支援学級

日常生活動作に困難さのある児童・生徒に対して、障がいに基づく困難を主体的に改善・克服するための指導を行なっている。特に、自立活動の指導において、身体の動きの改善を図ることやコミュニケーションの力を育てることに重点を置いている。

○ 弱視特別支援学級

視機能が低下している児童・生徒に対して作業や行事等を通して生活体験の拡大を図ったり、補助具の活用の仕方を学ぶ場を設定したりして、障がいに基づく困難を改善・克服するための指導を行っている。

○ 病弱・身体虚弱特別支援学級

慢性の呼吸器疾患その他疾患の状態が持続的、または間欠的にあり、医療や生活の管理を必要とする児童・生徒に対して、健康状態の維持、改善に必要な習慣の育成や知識、技能の習得を目指し、指導を行っている。

○ 難聴特別支援学級

聴覚機能が低下している児童に対して、保有する聴力を最大限に活用し、多様なコミュニケーション能力を高めるための指導を行っている。

○ 言語障害通級指導教室（ことばの教室）

ことばの教室では、ことばに課題のある児童に対し、その要因をできるだけ的確に把握し、コミュニケーション上の困難を改善または軽減する教育を行っている。児童の自己表現の援助をし、社会生活への適応力を高めることなどを目標としている。

就 学 援 助

○ 奨学金制度

本市奨学金制度は、経済的理由により修学困難な者に対し、奨学基金により入学資金の支給及び奨学資金の貸し付けを行う。

・ 入学資金

学 校 種 別	支 給 額
高 等 学 校 高 等 専 門 学 校	25,000 円
大 学	50,000 円

・ 奨学資金（限度額）

学 校 種 別	貸 付 額
高 等 学 校 高 等 専 門 学 校	月 10,000 円
大 学 短 期 大 学 高等専門学校(4・5 年)	国・公立 月 40,000 円 私立 月 50,000 円

・ 年度別奨学資金新規貸付者数

年度	高校生	大学生	計
H25		2	2
H26		2	2
H27		2	2
H28	1	1	2
H29	1	1	2
H30		2	2

年度	高校生	大学生	計
H31(R1)		2	2
R2		2	2
R3		2	2
R4		2	2
R5		1	1
R6		2	2

○ 就学援助制度

経済的に困難な児童、生徒の保護者に対し、就学に要する経費の補助を行うもので、令和7年1月1日現在、28,288,675 円の援助を行っている。

○ 特別支援教育就学奨励制度

特別支援学級へ就学する児童、生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、就学に要する経費の補助を行うもので、令和7年1月1日現在、7,374,347 円の補助を行っている。

令和6年度 児童生徒定期健康診断集計表

区分	小学校	男 6歳	男 7歳	男 8歳	男 9歳	男 10歳	男 11歳	男 計	男 %	女 6歳	女 7歳	女 8歳	女 9歳	女 10歳	女 11歳	女 計	女 %	男女 合計	男女 %
	在籍者数	559	596	584	607	604	582	3,532		565	532	565	564	604	638	3,468		7,000	
裸眼視力検査	受検者数	538	576	555	545	540	501	3,255	92.2%	544	505	522	504	503	485	3,063	88.3%	6,318	90.3%
	1.0未満0.7以上の者	94	69	43	48	56	56	366	11.2%	70	67	71	53	46	59	366	11.9%	732	11.6%
	0.7未満0.3以上の者	36	52	51	60	61	71	331	10.2%	46	29	39	54	85	88	341	11.1%	672	10.6%
	0.3未満の者	4	12	15	18	21	33	103	3.2%	8	14	19	14	30	26	111	3.6%	214	3.4%
	※裸眼視力省略の者	18	16	27	59	59	74	253	7.2%	20	27	40	56	97	151	391	11.3%	644	9.2%
眼の検査	受検者数	540	0	0	578	3	0	1,121	31.7%	553	0	0	539	0	0	1,092	31.5%	2,213	31.6%
	感染性眼疾患の者	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
	その他の眼疾患・異常の者	10	0	0	17	0	0	27	2.4%	11	0	0	8	0	0	19	1.7%	46	2.1%
聴力検査	受検者数	557	593	581		602		2,333	99.6%	565	531	562		598		2,256	99.6%	4,589	99.6%
	難聴の者	1	2	3		1		7	0.3%	2	4	4		1		11	0.5%	18	0.4%
耳鼻咽喉頭の検査	受検者数	538	1	1	0	560	0	1,100	31.1%	543	1	0	0	565	0	1,109	32.0%	2,209	31.6%
	耳疾患の者	74	0	1	0	48	0	123	11.2%	70	1	0	0	41	0	112	10.1%	235	10.6%
	鼻・副鼻腔疾患の者	95	0	0	0	80	0	175	15.9%	58	0	0	0	41	0	99	8.9%	274	12.4%
	口腔咽喉頭疾患の者	11	0	0	0	3	0	14	1.3%	16	0	0	0	3	0	19	1.7%	33	1.5%
歯の検査	受検者数	548	575	569	590	589	560	3,431	97.1%	555	518	547	542	590	627	3,379	97.4%	6,810	97.3%
	処置完了の者	51	62	95	121	105	86	520	15.2%	35	59	82	89	102	107	474	14.0%	994	14.6%
	未処置歯のある者	91	100	83	91	77	69	511	14.9%	77	85	99	78	73	62	474	14.0%	985	14.5%
	COのある者	38	30	22	38	55	55	238	6.9%	43	29	31	29	68	53	253	7.5%	491	7.2%
	歯列・咬合 1の者	37	60	64	48	59	73	341	9.9%	55	42	66	57	63	75	358	10.6%	699	10.3%
	歯列・咬合 2の者	5	15	12	9	9	11	61	1.8%	7	11	11	5	18	10	62	1.8%	123	1.8%
	顎関節 1の者	0	0	0	1	0	0	1	0.0%	0	1	1	0	0	0	2	0.1%	3	0.0%
	顎関節 2の者	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
	歯垢の状態 1の者	18	35	47	32	40	64	236	6.9%	15	25	36	25	40	42	183	5.4%	419	6.2%
	歯垢の状態 2の者	1	2	6	9	11	9	38	1.1%	3	5	5	3	8	8	32	0.9%	70	1.0%
	歯肉の状態 1の者	6	17	10	18	19	36	106	3.1%	7	9	15	12	28	25	96	2.8%	202	3.0%
	歯肉の状態 2の者	7	16	3	6	6	10	48	1.4%	3	11	3	1	5	6	29	0.9%	77	1.1%
	その他の疾病の者	19	28	22	32	59	61	221	6.4%	38	20	22	34	50	59	223	6.6%	444	6.5%
DMF歯数	D(永久歯の未処置歯数)						81	81							71	71		152	
	M(永久歯の喪失歯数)						2	2							3	3		5	
	F(永久歯の処置歯数)						109	109							149	149		258	
尿検査	受検者数	558	593	580	605	600	571	3,507	99.3%	565	529	561	558	596	631	3,440	99.2%	6,947	99.2%
	蛋白陽性の者	0	0	2	3	1	0	6	0.2%	2	2	3	2	4	6	19	0.6%	25	0.4%
	潜血陽性の者	5	4	4	2	3	8	26	0.7%	9	5	5	5	9	17	50	1.5%	76	1.1%
	糖陽性の者	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	1	0	1	2	0.1%	2	0.0%
その他の疾病等の検査	受検者数	546	582	572	595	592	570	3,457	97.9%	553	525	549	551	563	630	3,371	97.2%	6,828	97.5%
	栄養不良の者	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
	肥満傾向の者	2	4	2	6	6	7	27	0.8%	3	0	4	3	5	2	17	0.5%	44	0.6%
	脊柱側弯の者	3	1	0	1	1	2	8	0.2%	3	0	0	4	3	18	28	0.8%	36	0.5%
	その他脊柱の疾病・異常の者	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	1	0	0	1	2	0.1%	2	0.0%
	胸郭の疾病・異常の者	2	0	0	0	0	1	3	0.1%	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	3	0.0%
	四肢の疾病・異常の者	2	1	1	1	2	2	9	0.3%	0	1	1	2	0	1	5	0.1%	14	0.2%
	感染性皮膚疾患の者	1	0	0	0	0	0	1	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	1	0.0%
	アトピー性皮膚炎の者	34	50	34	35	38	31	222	6.4%	16	36	24	29	28	43	176	5.2%	398	5.8%
	心臓疾患・異常の者	6	4	7	3	7	6	33	1.0%	6	7	3	10	6	7	39	1.2%	72	1.1%
	ぜん息の者	30	24	24	23	22	30	153	4.4%	20	15	14	12	9	7	77	2.3%	230	3.4%
	腎臓疾患の者	1	3	1	2	0	3	10	0.3%	2	2	1	2	2	2	11	0.3%	21	0.3%
結核検査	問診実施者数	559	594	583	607	604	579	3,526	99.8%	565	532	564	562	603	638	3,464	99.9%	6,990	99.9%
	・問診票から 要検討者数	4	1	1	0	0	2	8	0.2%	3	0	1	0	1	0	5	0.1%	13	0.2%
	学校医による診察実施者数	8	0	2	0	0	2	12	0.3%	3	2	1	0	1	0	7	0.2%	19	0.3%
	要精密検査の者	4	0	1	0	0	0	5	0.1%	3	0	0	0	0	0	3	0.1%	8	0.1%
	精密検査実施者数	4	0	1	0	0	0	5	0.1%	2	0	0	0	0	0	2	0.1%	7	0.1%
	(精密検査)胸部X線検査実施者数	4	0	1	0	0	0	5	0.1%	2	0	0	0	0	0	2	0.1%	7	0.1%
	(精密検査)喀痰検査実施者数	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
	(精密検査)その他の検査実施者数	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
	潜在性結核感染症の者	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
	結核の者	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
肥満 の状況 (村田式による)	受検者数	558	593	578	605	599	574	3,507	99.3%	565	532	562	561	598	637	3,455	99.6%	6,962	99.5%
	高度肥満(肥満度 $\geq$ 50%)	5	5	10	10	11	16	57	1.6%	2	2	6	5	6	9	30	0.9%	87	1.2%
	中等度肥満(50% $>$ 肥満度 $\geq$ 30%)	10	20	31	26	40	33	160	4.6%	16	8	13	18	33	31	119	3.4%	279	4.0%
	軽度肥満(30% $>$ 肥満度 $\geq$ 20%)	10	23	23	34	40	37	167	4.8%	15	19	23	28	30	39	154	4.5%	321	4.6%
	やせ(-20% $\geq$ 肥満度 $>$ -30%)	2	5	2	8	19	13	49	1.4%	1	8	6	12	12	15	54	1.6%	103	1.5%
	高度のやせ(-30% $\geq$ 肥満度)	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0	1	1	0.0%	2	0.0%

令和6年度 児童生徒定期健康診断集計表

区分	中学校	男 12歳	男 13歳	男 14歳	男 計	男 %	女 12歳	女 13歳	女 14歳	女 計	女 %	男女 合計	男女 %
	在籍者数	617	601	611	1,829		557	560	534	1,651		3,480	
裸眼視力検査	受検者数	473	413	403	1,289	70.5%	373	324	288	985	59.7%	2,274	65.3%
	1.0未満0.7以上の者	56	59	54	169	13.1%	70	47	49	166	16.9%	335	14.7%
	0.7未満0.3以上の者	79	55	65	199	15.4%	62	50	45	157	15.9%	356	15.7%
	0.3未満の者	44	29	25	98	7.6%	29	29	19	77	7.8%	175	7.7%
	※裸眼視力省略の者	144	179	186	509	27.8%	177	223	235	635	38.5%	1,144	32.9%
眼の検査	受検者数	581	0	0	581	31.8%	533	0	0	533	32.3%	1,114	32.0%
	感染性眼疾患の者	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
	その他の眼疾患・異常の者	10	0	0	10	1.7%	5	0	0	5	0.9%	15	1.3%
聴力検査	受検者数	614		591	1,205	98.1%	552		520	1,072	98.3%	2,277	98.2%
	難聴の者	2		0	2	0.2%	1		0	1	0.1%	3	0.1%
耳鼻咽喉頭の検査	受検者数	0	557	2	559	30.6%	1	516	0	517	31.3%	1,076	30.9%
	耳疾患の者	0	68	0	68	12.2%	1	45	0	46	8.9%	114	10.6%
	鼻・副鼻腔疾患の者	0	47	0	47	8.4%	0	30	0	30	5.8%	77	7.2%
	口腔咽喉頭疾患の者	0	6	0	6	1.1%	0	2	0	2	0.4%	8	0.7%
歯の検査	受検者数	597	570	569	1,736	94.9%	532	516	510	1,558	94.4%	3,294	94.7%
	処置完了の者	64	65	68	197	11.3%	39	88	82	209	13.4%	406	12.3%
	未処置歯のある者	44	51	62	157	9.0%	43	46	49	138	8.9%	295	9.0%
	COのある者	25	53	32	110	6.3%	35	60	37	132	8.5%	242	7.3%
	歯列・咬合 1の者	85	132	120	337	19.4%	92	126	118	336	21.6%	673	20.4%
	歯列・咬合 2の者	10	31	40	81	4.7%	7	28	36	71	4.6%	152	4.6%
	顎関節 1の者	16	13	17	46	2.6%	24	19	24	67	4.3%	113	3.4%
	顎関節 2の者	5	1	5	11	0.6%	1	1	7	9	0.6%	20	0.6%
	歯垢の状態 1の者	78	91	109	278	16.0%	50	82	67	199	12.8%	477	14.5%
	歯垢の状態 2の者	4	6	43	53	3.1%	1	3	22	26	1.7%	79	2.4%
	歯肉の状態 1の者	42	72	100	214	12.3%	28	71	66	165	10.6%	379	11.5%
	歯肉の状態 2の者	5	6	40	51	2.9%	2	6	18	26	1.7%	77	2.3%
	その他の疾病の者	51	13	12	76	4.4%	26	11	8	45	2.9%	121	3.7%
DMF歯数	D(永久歯の未処置歯数)	89			89		95			95		184	
	M(永久歯の喪失歯数)	8			8		4			4		12	
	F(永久歯の処置歯数)	122			122		79			79		201	
尿検査	受検者数	608	583	598	1,789	97.8%	547	536	517	1,600	96.9%	3,389	97.4%
	蛋白陽性の者	2	7	5	14	0.8%	11	5	7	23	1.4%	37	1.1%
	潜血陽性の者	5	4	1	10	0.6%	17	10	22	49	3.1%	59	1.7%
	糖陽性の者	0	0	0	0	0.0%	2	1	0	3	0.2%	3	0.1%
その他の疾病等の検査	受検者数	597	561	584	1,742	95.2%	537	539	512	1,588	96.2%	3,330	95.7%
	栄養不良の者	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
	肥満傾向の者	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
	脊柱側弯の者	5	8	6	19	1.1%	23	25	46	94	5.9%	113	3.4%
	その他脊柱の疾病・異常の者	0	5	2	7	0.4%	1	2	3	6	0.4%	13	0.4%
	胸郭の疾病・異常の者	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
	四肢の疾病・異常の者	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
	感染性皮膚疾患の者	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
	アトピー性皮膚炎の者	22	17	23	62	3.6%	13	18	12	43	2.7%	105	3.2%
	心臓疾患・異常の者	3	9	9	21	1.2%	4	3	9	16	1.0%	37	1.1%
	ぜん息の者	12	20	20	52	3.0%	10	10	14	34	2.1%	86	2.6%
	腎臓疾患の者	2	4	1	7	0.4%	1	0	1	2	0.1%	9	0.3%
結核検査	問診実施者数	615	600	611	1,826	99.8%	558	559	537	1,654	100.2%	3,480	100.0%
	・問診票から 要検討者数	1	1	0	2	0.1%	0	0	1	1	0.1%	3	0.1%
	学校医による診察実施者数	2	1	0	3	0.2%	1	0	1	2	0.1%	5	0.1%
	要精密検査の者	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
	精密検査実施者数	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
	(精密検査)胸部X線検査実施者数	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
	(精密検査)喀痰検査実施者数	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
	(精密検査)その他の検査実施者数	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
	潜在性結核感染症の者	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
	結核の者	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
肥満の状況 (村田式による)	受検者数	614	594	593	1,801	98.5%	553	549	524	1,626	98.5%	3,427	98.5%
	高度肥満(肥満度 $\geq 50\%$)	12	9	12	33	1.8%	9	12	7	28	1.7%	61	1.8%
	中等度肥満($50\% > \text{肥満度} \geq 30\%$)	32	36	28	96	5.3%	16	19	19	54	3.3%	150	4.4%
	軽度肥満($30\% > \text{肥満度} \geq 20\%$)	45	34	27	106	5.9%	32	30	25	87	5.4%	193	5.6%
	やせ($-20\% \leq \text{肥満度} < -30\%$)	35	17	19	71	3.9%	24	15	23	62	3.8%	133	3.9%
	高度のやせ($-30\% \leq \text{肥満度}$)	0	3	0	3	0.2%	1	3	2	6	0.4%	9	0.3%

学校給食について

1. 給食の実施方式

(1) 給食センター方式(10校)

木更津第一小学校、木更津第二小学校、清見台小学校、畑沢小学校、請西小学校、真舟小学校
木更津第一中学校、木更津第二中学校、太田中学校、畑沢中学校

(2) 自校親子方式(19校)

(東清小学校・南清小学校)、(祇園小学校・清川中学校)、(岩根小学校・岩根西中学校)
(高柳小学校・岩根中学校・金田中学校)、(波岡小学校・波岡中学校)、(鎌足小学校・鎌足中学校)
(中郷小学校・西清小学校)、(富来田小学校・富来田中学校)(八幡台小学校・木更津第三中学校)
※左に記載されている小学校で2校分、または3校分を調理し、右に記載されている学校へ配送。

(3) 自校単独方式(1校)

金田小学校

2. 給食費の額

給食費の1食単価 小学校265円、中学校320円

3. 給食の実施日数

各校学年ごとに191日を上限

4. 学校給食センター

木更津市学校給食センターの維持管理に関して、維持管理運営包括業務委託によりHACCPを概念とするドライシステムでの衛生管理を実施し、安心安全な給食の提供を行っている。

○ 施設概要

所在地	木更津市潮見二丁目13番地1
敷地面積	5,474.93㎡
建築面積	1,912.55㎡
延床面積	2,524.08㎡
構造	鉄骨造2階建
開設年月日	平成21年4月1日

○ 事業概要

施設稼働日	年間199日以内
給食数	6,000食/日(最大提供可能食数)
配食校	給食センター方式による10校

5. 学校給食を活用した食育の推進

- 給食のお米は市内産コシヒカリを提供する中、米飯提供日100%有機米をめざして取り組んでいる。また地域食材を積極的に使用し、生産者の顔が見える地産地消給食を推進するなど、学校給食を活用した食育に努めている。
- 「木更津産焼きのり」の成型、カットする際に出る「のりの切れ端」を給食に取り入れたり、皮付きで利用できる野菜は皮付きのまま調理することで、食品ロスの削減につなげている。



～顔が見える学校給食をめざして～

市内公立小・中学校の給食で提供

木更津市の特産品である「のり」を新木更津市漁業協同組合と連携し、学校給食用に製品化。

新木更津市漁業協同組合

中郷地区（中郷小）

木更津で唯一の地元平野養豚場が育てた「木更津の恵みポーク」を学校給食で使用。献立は料理人で（株）ごはんクリエイティブの野口さんと学校栄養士が考案。

平野養豚場 平野さん (株)ごはんクリエイティブ 野口さん

中郷地区中川さんの作った「レタス」「とうもろこし」を学校給食に提供。

中川さん

岩根・金田地区（岩根小・高柳小・金田小）

地曳さんの「長ねぎ」を岩根・金田地区の学校給食に提供。

地曳さん

鎌足地区（鎌足小）

高倉直売所岡本さんの協力のもと、鎌足地区の野菜を中心に給食。給食で出た野菜くずを液肥に変える機械を管理している（株）レコテックと循環型食育の授業を学校栄養士とともに実施。

高倉直売所岡本さん (株)レコテック 野崎さん

富来田地区（富来田小・富来田中）

特定非営利活動法人「一粒倉」の皆さんが、富来田小・中学校の児童生徒のために「じゃがいも」を生産。土づくりや水路づくりなど耕作放棄地を開拓し育てて学校給食で提供。

特定非営利活動法人「一粒倉」の皆さん

発行：木更津市教育委員会学校給食課
2022年10月

6. 生涯學習

1 青少年の健全育成

青少年の成長と自立を実現するために、家庭、地域、学校・行政をはじめとした、多様な人間関係のなかで青少年を育み、支える環境づくりを推進し、地域の教育力の向上を図ります。あわせて青少年育成に係る団体・関係機関等の一層の連携と担い手育成に取り組みます。

（１）青少年育成推進体制の充実と地域の教育力の向上

- ・青少年の指導育成、保護、矯正に関する総合的施策や自立支援方策等について必要な事項を調査・審議するとともに、関係機関との連絡調整を図るため、青少年問題協議会を開催します。
- ・家庭、地域、学校・行政が連携して地域の教育力の向上を図るため、子どもたちの居場所づくりを進める「生き生き子ども地域活動促進事業」等の取り組みを進めるほか、これらの活動を支援する地域の担い手の育成に努めます。
- ・青少年の健全育成を推進するため、県と連携し青少年相談員を委嘱し、制度の活性化と活動の充実を図ります。
- ・制度の持続化や地域の青少年の指導者育成の観点から、将来の青少年相談員となる人材を確保するため、制度の知名度向上のための施策を実施します。
- ・地域での青少年健全育成活動を推進するため、子ども会育成連絡協議会、青少年育成木更津市民会議等の関係団体を支援します。

（２）青少年育成事業の推進

- ・青少年の豊かな人間性を育み、自立と社会参加を促すため、生き生き体験キャンプ事業や野外体験促進事業、二十歳を祝う会事業など、青少年育成に関する各種事業を地域の参画により実施します。
- ・少年自然の家キャンプ場が、自然体験活動の拠点として一層活用されるよう、積極的な広報や老朽化した施設の計画的な整備に努め、利用促進を図ります。
- ・青少年のさまざまな活動を支援するため、アフタースクールボランティアやユースボランティアなど各種ボランティアを活用するとともに、各ボランティアの活性化を図ります。

（３）青少年を取り巻く環境浄化と非行防止

- ・さまざまな問題に悩む青少年や保護者への支援を行うため社会教育指導員による相談活動（電話相談・来所相談・メール相談）を実施します。
- ・青少年の非行防止と健全育成を図るため、青少年補導員による地区街頭補導、乗車マナー指導、喫煙・飲酒防止キャンペーンなどの「青少年への愛の一声運動」を関係機関・団体との連携のもと行います。
- ・青少年の非行防止と健全育成に関する啓発のため、青少年健全育成だより「News Letter」の発行や青少年指導関係活動報告「青少年に愛の一声を」を発行するとともに、関係機関や学校、また地区住民会議や地域の各種団体と連携し、地域ぐるみの非行防止啓発活動に取り組みます。
- ・青少年の非行防止と健全育成を図るため、関係機関や青少年補導員・相談員・PTAな

ど地域の関係団体とともに、青少年を取り巻く有害環境浄化活動を行います。

・青少年育成、非行防止に関わる関係機関・団体・有識者との連携を図り、まなび支援センターの青少年指導関係事業を効果的に運営するために、青少年指導関係運営協議会を開催します。

2 社会教育の推進

さまざまな暮らしの課題に対し、市民一人ひとりがあらゆる機会、あらゆる場所を利用して学習できる環境を整えるとともに、社会の変化に対応したまちづくりを推進するために、必要な学習機会を提供し、その活動を奨励します。

また、社会教育を推進する各機関・団体との連携・協力や社会教育施設の整備を図ります。

(1) 生涯学習・社会教育推進体制の充実

- ・広く民意を反映し、市民参画による社会教育行政の推進を図るため、社会教育委員会議に意見を求めます。
- ・市民に多様な学習機会を提供し、学習活動を側面から支援するため、職員の力量形成の向上に努めるほか、専門職員による学習支援体制の充実を図ります。
- ・社会教育機関が持続可能な地域づくりを推進する拠点として、SDGs 達成に貢献する多様な学びの場となるよう、関係職員の研修活動の充実に努めます。
- ・近隣市や県内の関係団体とも連携し、社会教育関係委員や社会教育関係職員の研修活動の充実に努めます。
- ・視聴覚教材を活用し、各種団体・機関等の学習活動を支援します。
- ・社会環境の変化に対応した「第2次生涯学習基本構想」と「基本計画」のあり方について検討、協議します。
- ・今後の公民館のあり方に鑑み、関係部等と調整しながら、公民館の総合的な整備の方向性を検討します。

(2) 生涯学習・社会教育活動の充実

- ・家庭教育の不安や悩みを解消するため、家庭、地域、学校・行政が一体となって家庭教育力向上を図ります。
- ・家庭教育支援の拡充を図るため、官民含めた機関、団体との連携を図り、社会全体で子育てを支援する機運を高めるとともに、親の育ちを応援する学びの環境を充実します。
- ・女性の社会参加の促進や地域社会・まちづくりへの積極的な関わりを推進するための、学習機会の提供に努めます。
- ・市民の多様で高度な学習ニーズに対応するため、市内高等教育機関と連携した市民カレッジの開催や市政に理解を深めてもらうことを目的とした出前講座を実施します。また、「動く教室」として生涯学習バスを運行します。
- ・市民による生涯学習活動の一層の拡充と生涯学習を通じたまちづくりの振興を図るため、若者語らい場など生涯学習に関する啓発事業を実施します。特に、若手が中心に関わる事業展開を目指します。
- ・より参加しやすい環境を整えるため、オンラインを活用した事業に取り組みます。
- ・社会教育関係団体との協働の事業を推進し、団体が自主的に行う社会教育活動の円滑な運営や一層の充実を図るため、求めに応じて助言・指導します。また、木更津市教育振興

事業補助金交付要綱に基づき、対象となる事業に対して補助金を交付し活動を支援します。

- ・生涯学習活動により培ってきた知識や経験など、市民の生涯学習の成果をそれぞれの社会生活や地域社会に活かすための情報提供に努めます。

（３）図書館サービスの充実

- ・利用者の要望及び社会の要請に対応するため、基本的運営方針、資料の収集方針、各年度ごとの事業計画の策定及び公表について検討し、運営の状況、目標の達成状況等に関して自らの点検及び評価を行うよう努めます。また、市民の生活や仕事に関する課題及び地域に関する課題の解決に向けた活動を支援するため、本市の実情に即した情報や各分野にわたる資料を収集・整備・提供するとともに、県内外の公共図書館、大学図書館や他機関との連携を図り、豊富な情報資産を活用して、司書によるレファレンス機能を充実させ、的確な情報提供を行います。さらに、ハンディキャップにより図書館への来館や読書が困難な市民に対して点字図書・録音図書・大活字本や電子図書を計画的に収集し、読書格差が生じないようにします。

- ・図書館遠隔地の市民の読書環境を整備するため、公民館図書室資料の整備・充実を図ります。

- ・子どもの読書活動の推進を支援するため、児童図書の整備、学校及び教諭、読書相談員との連携を強化します。

- ・地域住民の学びを支える図書館づくりを図るため、図書館ホームページ・図書館報等により情報を発信するとともに、利用者・地域・他機関との協働・連携を推進し、魅力ある講演会・講座・展示会等の事業展開に努め、利用者の一層の拡大を図ります。

（４）公民館活動の充実

- ・市民の学習要求に応えるため、各種学級・講座を実施します。また、安心して暮らせる地域社会の構築を図るため、生活課題や地域課題の解決に向けた学級講座を実施します。

- ・家庭教育の充実を図るため、小中学校や地域の教育機関との連携を進めます。また、親同士のネットワークを広げるため、乳幼児期、児童期、思春期の各成長段階に応じた家庭教育学級や子育て講座を地域の状況にあわせて実施します。さらに、地域において乳幼児と親が孤立しないため、気軽に集える場を提供し、子育てを支援します。

- ・未来を担う青少年の健全な育成を図るため、サタデースクール事業等の青少年教育事業を実施します。また、地域ぐるみの青少年健全育成を促進するため、生き生き子ども地域活動促進事業を支援します。さらに、効果的な事業の推進を図るため、地区住民会議など、地域や学校、各種関係機関との連携・協働を進めます。

- ・高齢者の生きがいや健康づくりを促進するため、高齢者教室を実施します。また、豊かで活力のある長寿社会の実現のため、高齢者の持つ豊富な知識や経験を活かした他世代交流の機会を創出するとともに、社会参加を促進します。

- ・民意を反映した公民館運営の推進を図るため、各種事業の企画実施について調査・審議する公民館運営審議会を開催します。また、地域住民の自主的な社会教育活動を推進するため、市民参画による事業を進めます。さらに、地域の絆づくりと新たなコミュニティ形成を図るため、地域住民や各種関係機関との協力支援体制を構築します。合わせて、地域自治の拠点として行政と地域をつなぐ役割を担い、まちづくり協議会の支援に取り組みます。

(5) 生涯学習・社会教育施設の整備（郷土博物館金のすずを除く）

- ・快適に学習できる環境を維持するため、建物や設備の不具合を補修するほか、備品の管理に努めるなど、適正な維持・保全及び整備に努めます。

3 市民文化の充実

市民がふるさとの歴史や文化に誇りと愛着を持つために、地域の芸術文化を育む環境づくりを図りながら多様な芸術文化活動の推進をめざします。また、歴史的な文化遺産と豊かな自然を後世に伝えていくため、埋蔵文化財、古文書、民具、伝統行事などを保存し、継承するとともに、それらの保管管理ができる施設の整備に努めます。

(1) 芸術文化活動の推進

- ・児童生徒の芸術文化にふれる機会を充実させるため、音楽鑑賞教室等の事業を企画します。また、市民を対象にプロの芸術家などによるコンサートやアート制作ワークショップを開催し、多くの老若男女がアートと直接ふれあうことができる環境づくりを行い、本市全体に少しずつアートの概念を根付かせながら、芸術文化の向上を図ります。また、収蔵作品の適正な保存、管理及び活用に努めます。
- ・各種芸術文化団体の自主的な活動を支援するため、情報提供や助言するとともに、市内の芸術文化団体が実施する事業へ補助金を交付します。さらに、市民会館大ホールが利用できないため、市外の対象施設を利用する場合に使用料の一部を補助します。

(2) ふるさと文化の継承

- ・市内に所在する有形・無形の文化財、史跡、天然記念物の保護を図るため、文化財の指定・活用・周知に努めます。また、市内の文化財を保存・伝承する団体を支援するため、求めに応じた助言・指導とともに補助金を交付します。
- ・埋蔵文化財保護のため、開発事業に対応した調整を図り、必要な発掘調査や整理作業を実施し、調査報告書を刊行して記録保存に努めます。また、発掘調査で出土した資料を博物館の展示に活用し、適正に管理するよう努めます。
- ・本市の歴史や文化、また豊かな自然への関心を高めるため、新たな「木更津市史」を編さん・刊行し、調査・研究成果を活用した学習活動の支援や公開講座の実施に努めます。
- ・博物館事業の充実を図るため、学校の受入れ等を積極的に行う博学連携事業及び市民が博物館事業の運営に参画する市民との連携事業をさらに推進し、利用者の増大に努めます。
- ・金鈴塚古墳出土品の国宝化をめざして推進事業に取り組むとともに、国の機関等との共同研究及び資料整理を行い、研究報告書を刊行します。
- ・博物館事業の充実を図るため郷土に関する調査研究を、市民、研究者及び研究協力機関と協力して推進し、その成果を企画展事業や講座、体験教室等に反映させます。

(3) 文化施設・郷土博物館金のすずの整備

- ・市民文化の発展に資するため、新たな中規模ホールの活用方法の検討を進めます。また、埋蔵文化財を適正に管理するため、公共施設再配置計画の中で施設の整備に努めます。

4 人権擁護の推進

社会状況の変化とともに発生しているさまざまな差別意識を解消し、相互に基本的人権を尊重し、すべての人が自分らしい生き方のできる社会を実現するために、学校教育・社

会教育における新たな人権教育の充実を図ります。

(1) 人権意識の高揚

- ・差別のない人権が尊重される社会の実現のため、人権の理念を普及し、その理解を深めるための研修を行います。
- ・人権問題に対する市民の理解を深め、人権に対する意識を高めるため、啓発活動を推進します。

社会教育事業

○ 生涯学習課事業

事業名	概要
社会教育委員会議	広く民意を反映し、市民参画による社会教育行政の推進を図るため、年4回開催。
人権教育研修会	人権教育のより一層の推進を図るため講演会を開催。 実施日：令和7年2月25日（火） テーマ：外国人が抱える人権問題と暮らしやすい地域をつくるために 講師：新居 みどり氏（NPO 法人国際活動市民中心（CINGA））
家庭教育支援事業	困難を抱えた子どもを持つ保護者のための家庭教育支援事業として、講演会を開催。 実施日：令和7年3月12日（水） テーマ：子どもの発達や成長に合わせた『語りかけ』やコミュニケーションの工夫 講師：金子 義信氏（発達支援 くうぼの）
家庭教育学級研究集会	家庭教育学級の意義やあり方について学び合うことを目的に開催。 実施日：令和7年1月28日（火） テーマ：私たちのイチ押し！家庭教育学級内容
生涯学習推進協議会	総合的な生涯学習の推進にあたり、広く市民の意見や要望を取り入れ、生涯学習を推進することを目的とする。今年度は構成団体精査のため、会議開催はなし。
きさらづ市民カレッジ	高等教育機関等と連携して高度な学習機会を提供し、市民の多様な学習要求に応えるとともに生涯学習の振興を図ることを目的として、3コース（地元学コース、清和大学・清和大学短期大学部コース、木更津高専コース）全21回の講座を開催。 ※文化課「木更津市史編纂事業公開講座」と連携。
生涯学習バス「まなび」	生涯学習の「動く教室」としてバスを運行し、公民館事業等をはじめ、市民の生涯学習活動における体験的学習の機会拡充を図る。
きさらづ出前講座	市職員等が市民の学習会、集会、会合に出向き、市の施策や取り組み、身近な生活に役立つ情報などについて説明する講座を87メニュー提供し、市政へ関心と理解を深めることを目的として実施。
視聴覚ライブラリー事業	視聴覚機材及び教材を管理し、教育機関・学校等へ視聴覚機材及び教材を配達し、視聴覚教育の充実を図った。
少年自然の家キャンプ場利用促進事業	少年自然の家キャンプ場を会場に、青少年関係団体等協力の下、模擬店の出店や焚火・竹細工・野外炊さんといった体験ができる「キャンプ場まつり」を令和6年9月16日（祝・月）実施。230人の参加があり、家族連れでの参加であった。
野外体験活動促進事業	子どもたちの体験活動を促進するためのモデルとなるような事業や、事業を計画するための参考となるようなプログラム等の資料作成事業を実施。団体への委託事業。
青少年問題協議会	青少年の指導育成、保護、矯正に関して関係機関との連絡調整・情報共有を図るべく協議会を7月、3月に実施。

アフタースクールボランティア養成事業	子どもたちが放課後や週末に自由に集い、遊び、学べる場をつくり、活動を手助けするためのボランティアを養成、組織化し、子どもたちの地域での活動を支援するための事業として年間を通し、生涯学習課、公民館事業への協力や定例会等を実施。
生き生き体験キャンプ事業	中学生及び小学6年生を対象に、ふるさとの自然環境を生かした自然体験活動の中で子どもたちの豊かな感性を養い「生きる力」を育むとともに、地域のリーダーを養成することを目的として実施。令和6年度は、アフタースクールボランティアの会主催・木更津市教育委員会共催で実施。
生き生き子ども地域活動促進事業	学校・家庭・地域社会の連携の下で、子どもたちの体験活動機会を意図的に作り出し、児童・生徒が積極的に地域活動に参加するような事業を実施。地区住民会議への委託事業。
二十歳を祝う会 (旧成人式)	二十歳としての自覚を持ち、「自らが作る二十歳を祝う会」という意識を高めるため、当事者自らが実行委員会方式で企画・運営を行う。令和7年1月12日(日)かずさアカデミアホールにて実施予定。※令和4年度より成人式から二十歳を祝う会に名称変更。
放課後子ども教室推進事業	家庭、地域、学校・行政が連携し、子どもたちが放課後に安全・安心に過ごせる居場所づくりを目的として市内6小学校区に6教室設置。
ユースボランティア登録制度	地域での小中学生の活動支援、及び青少年の奉仕活動・体験活動の機会を提供するため、高校生・大学生等のボランティアを登録。

○ 文化課事業

事業名	概要
芸術文化振興事業	市内小中学校で音楽鑑賞教室を行い、芸術鑑賞の機会をつくることができた。また、市所蔵の美術品を市民一般へ展示・公開するとともに、適切な管理を図った。
芸術文化に親しむまちづくり振興事業	市民を対象としてプロの音楽家や芸術団体等を招いたコンサートの開催をするとともに、木更津駅周辺の公共施設等を活用したアートのワークショップを実施して芸術文化の振興を図り、本市全体にアートの概念を根付かせながら市民の文化レベルの向上を図った。
芸術文化活動補助金事業	「木更津市文化協会」等の社会教育団体が行う教育振興事業に要する経費に対し、補助金を交付し芸術文化活動の支援を図った。
市民会館市外利用等補助金事業	市民会館大ホールの利用を停止していることから、代替施設の利用料を補助することによって、市民の文化・芸術活動の維持・振興を図った。
金鈴塚古墳出土品国宝化推進事業	金鈴塚古墳の魅力を紹介するイラスト・パンフレット等を市内小学校の対象児童へ配付して、ふるさと木更津への愛着心の醸成を図った。
文化財保護審議会	木更津市文化財保護条例の規定に基づき設置され、市内に所在する文化財の保存・活用に関して意見を具申し、必要な調査を実施して、本市文化財行政の円滑な推進と文化財の保存・活用に寄与した。
文化財保護事業	文化財全般の保護と活用を図るため、「金鈴塚古墳」「貝渕木更津県史蹟」等の市内に所在する、指定文化財及びその他の文化財の管理、出土した金属製品を対象とした文化財保存処理を行った。
文化財保護事業補助金事業	「県指定無形文化財木更津ばやし保存会」等の社会教育団体が行う、教育振興事業に要する経費に対し、補助金を交付し有形無形文化財の継承・保存の支援を図った。
市内遺跡発掘調査事業	市内の中小規模開発や個人住宅建設等に対応して、試掘、確認調査を実施して開発事業と埋蔵文化財保護との調整を図るとともに、土地区画整理事業に伴い発掘調査を行った千束台遺跡群について整理作業及び調査報告書の刊行を行い、文化財の保護活用を図った。
木更津市史編集委員会	附属機関設置条例の規定に基づき設置され、新たな「木更津市史」の編さん・刊行に関し、市史編集計画の審議と調査を行い、事業遂行に必要な事項を市長に答申又は建議することにより、木更津市史編さん事業の推進に寄与した。
木更津市史編さん事業	「木更津市史」の編さんに向けて各部会が分担して史・資料の調査、研究に取り組み、「自然編 資料」について刊行を行った。また、調査・研究成果を市民に提供するため木更津市史デジタルアーカイブの公開を継続するとともに「きさらづ市民カレッジ」と共催で公開講座を開催した。
将棋文化継承・普及関連事業	「木更津市長杯小中学生将棋大会」開催し、将棋を通じて地域の芸術文化の振興を図った。

公 民 館

○ 中央公民館

事 業 名	実施回数	事 業 概 要
ポランの広場	5	ハンディキャップを抱える人に対し、可能な範囲で実施出来る体験活動や学習機会を提供することにより、仲間との交流や余暇充実の一助となった。
おしゃべりたぬき学級 (家庭教育)	11	小中学生期の子育てや家庭教育のあり方について考えるとともに、子育てを通じて地域の母親の交流と仲間づくりをすすめた。
中央郷土史講座	10	木一中学校区を中心とした郷土の歴史、文化・伝統などについて学習し、地域に発信すると共に郷土愛を育む機会を提供した。本年度は”古墳や郷土史にまるわることを学ぶ”をテーマに学習した。
初心者対象スマートフォン講座	2	高齢者層を対象として、発達していく情報機器について学ぶ機会を提供することにより、受講された方に、生活のツールとしてより役立たせて頂くことを目的とした。
手打ちうどん体験教室 (サタデースクール事業)	1	調理実習を通して食育を学ぶ機会を提供し参加者の自主性、社会性の醸成を図った。
親子で体験！お正月飾りづくり (サタデースクール事業)	1	楽しみながら郷土文化を学ぶ機会を提供し参加者の自主性、社会性の醸成を図った。
親子ハゼ釣り体験 (サタデースクール事業)	1	市内の様々なボランティア団体の協力を得ながら、近年減少傾向にある自然体験、野外体験活動の機会を提供し参加者の自主性、社会性の醸成を図った。
里山ディキャンプin上総湊 (サタデースクール事業)	1	市内の様々なボランティア団体の協力を得ながら、近年減少傾向にある自然体験、野外体験活動の機会を提供し参加者の自主性、社会性の醸成を図った。
中央ふれあい学級 (高齢者学級)	11	高齢者を取り巻く諸問題について見識を広めるとともに、高齢者の生きがいづくりや健康増進を図ることを目的に開催した。
いきいき健康教室	5	「体幹を整える」をテーマに、実習や講義を通して多角的な面から健康について考える場を提供した。
基礎から学ぶ「チラシ・パンフレット講座」	1	「人が集まる集客チラシの作り方」をテーマとした講座を開催し、受講者の情報発信力を向上させることを目的とした。
ステップたぬき学級（思春期学級）	11	高校生以上の保護者を対象に、思春期の子どもの心身の成長や家庭教育のあり方について情報交換や学習をしながら、地域の保護者の交流と仲間づくりを目的として実施。
フリースペース手作りおもちゃ屋 (家庭教育支援事業)	9	簡単なおもちゃ作りを通して、乳幼児や保護者の情操を培うとともに、同世代の子どもを持つ親同士の交流、仲間作りに寄与する。また、若い世代の利用促進を図るために開催した。
利用者懇談会	2	公民館の目的や役割、利用方法等について理解を深めるとともに、利用団体相互の交流・情報交換の場となった。
中央公民館だより発行事業 (公民館HP含む)	12	公民館事業の報告を中心に、生涯学習情報や身近な地域の問題を取り上げ、地域に対して広く情報を発信した。
太極拳体験教室	4	健康寿命をのばすために太極拳は大きな意義のある健康法の一つであり、その良さを継続的に体験することで共有化を図り、サークル活動に結び付けるために実施した。
初心者向け「資産形成」講座	1	「基礎から学ぶマネープラン」をテーマに、「NISA」制度の説明を中心に金融資産の説明会を開催した。 ※包括連携協定：明治安田生命
木更津第一中学区住民会議 (事務局)	4	地域の青少年育成関係団体や教育機関相互の情報交換を通じて、青少年健全育成のための交流を図った。
中央地区まちづくり協議会 (事務局)	5	地域で活動する多様な団体が会する場として、地域課題を主体的に解決していくための会議や事業を実施した。今年度は、コミュニティカフェの開催や避難訓練など防災関連のイベントを実施した。
中央コミュニティカフェ (中央地区まちづくり協議会)	12	まちづくり協議会との共催事業として、地域住民が気軽に立ち寄り交流する機会を提供すると共に、地域課題を探るコミュニティカフェを開催した。
第48回中央公民館まつり (事務局)	1	開館60周年記念事業の一環として盛況に開催された。

中央公民館開館 60 周年記念事業	1	開館60周年にあたり、①記念式典・アトラクション②公民館まつり③記念誌の発行を行った。
図書貸出事業	通年	図書の貸出、整理など、資料の提供を行った。

○ 木更津市立公民館（全体事業）

事業名	実施回数	事業概要
さとやまアドベンチャー	1	木更津の里山の自然を生かした体験を提供し、自然とのふれあいやそこに住む大人たちとの交流を通し、子どもたちの豊かな心と身体を育み、自然豊かな木更津の魅力を再発見する目的として、小学生を対象にツリーイング・竹細工製作・草木染め・きのご観察・ネイチャーゲーム・どんぐり工房・鑑賞炭などを実施した。市内公民館が連携して実施し、より多くの参加者を受け入れることで公民館活動を広く周知することとなり、大きな意義があるものとなった。
たこづくり・たこあげ大会	1	子どもたちが自ら凧を作り、それを揚げることで手作りの楽しさと見えない風や空気の抵抗とそれを利用する力学を意識し、不思議なことに目を向けるきっかけとする。また、空に舞い上がることで達成感を得る。市内公民館が連携して行い、公民館活動を広く周知することとなり大きな意義のあるものとして実施した。
スマートフォン活用講座	3	全市民を対象とした、講座を行うことで日頃関わることの無い他の地域にお住いの受講者が関わることができ、操作の方法だけでは無く、広い範囲で交流の場とすることが出来た。また今年度は初心者だけでなく応用編としてスマホを更に便利に活用するための講座も実施した。
きさポン プログラミング	4	小学校で実際に行われたプログラミングに関する授業の一部を体験する機会を広く市民に提供することで、デジタル化に関心を持つきっかけとし、学校教育への理解を深める機会とする。
知って得するやさしい著作権講座	1	著作権に関する基礎的な知識や実際にあったトラブル事例などを学ぶことで正しいルールやマナーを学習し、情報社会における様々なトラブルを未然に防ぐと同時に、個人それぞれがルールを守って快適にインターネットを活用できる契機になることを目的とする。

○ 木更津市立公民館（ブロック連携事業）

事業名	実施回数	事業概要
Aブロック (中央、文京、清見台、桜井)	15	・性教育に関する講座（4月）1回 ・青少年健全育成事業「きつずわくわく探検隊」（4月～2月） 毎月1回 計11回 開催
Bブロック (岩根、岩根西、西清川、金田)	8	・いにしへの岩根～石造物とお堂を訪ねて～ 1回 ・夏休み子ども体験隊の大冒険 1回 ・歴史学級連携事業（房総の彫物大工「波の伊八」（講義、移動教室）） 2回 ・高齢者学級連携事業（音楽と落語のつどい） 1回 ・家庭教育学級連携事業（移動教室、教育講演会、ウィナーの飾り切り体験） 3回
Cブロック (畑沢、波岡、八幡台、鎌足)	4	家庭教育の分野での活動を4公民館で連携することで、より多くの参加者に実践することができ、各公民館事業の発展につながった。 「保護者のまなび応援団」家庭教育に関する講演会 4回 ・わが子を守る「正しいメディアとの付き合い方」～お母さんのためのメディアリテラシー～ ・子育て中の生活設計とマネープラン～新NISA活用術～ ・『相談室』という居場所で子どもたちが話していること ・子どもの心が聴こえますか～児童養護施設の現場から～

Dブロック (富来田、東清、富岡、中郷)	15	「食・環境と健康を考える講座」 ・入門!! 大人の陶芸教室 8回 ・枝豆栽培収穫体験 2回 ・講演：地産地消の野菜等の効能について 1回 ・調理実習；中郷地区の梨を使用した料理教室 1回 ・そばうち体験 1回 ・麴から作る味噌作り体験 2回
-------------------------	----	--

○ 富来田公民館

事業名	実施回数	事業概要
子ども体験教室※一部共催 (サタデースクール事業)	4	地域の方の協力を得て、梅狩り実施し 梅ジュースづくりや梅干しづくり、お飾り作り、カラフル貯金箱づくりを実施。大人と子どもが楽しく時間を過ごし、異年齢交流を深めた。
ワクワク子ども陶芸教室※ (サタデースクール事業)	4	富岡公民館にて実施。陶芸を通してものづくりの楽しさを学び、子どもの自由な発想を活かしながら作品を仕上げ、子ども同士の交流を深めた。
海から学ぶ「すごいぜ地球」 (サタデースクール事業)	1	海ごみの現状や利用価値について学び、多様化する環境問題に対し自ら考え、今からでもできる行動について考える機会とした。
生き生きロビー活用事業	通年	ふるさと観光、来館記念の思い出写真等のため、伝統のかすりの着物、手作り甲冑の貸出を行った。
花いっぱい運動※ (生き生き子ども地域活動促進事業)	2	感染症予防が緩和され、今年は小中学生ボランティア及び青少年健全育成会議の役員、青少年相談員、サークルのボランティアが参加し、6月と12月に、公民館の花壇の植替え及び除草作業を実施した。
少年少女スポレク大会(ポッチャ) (生き生き子ども地域活動促進事業)	-	富来田地区青少年健全育成会議で8月と12月にポッチャ体験を計画し参加者を募集したが、参加者はいなかったため中止となった。
きらきらひろば (富来田家庭教育学級)	通年	乳幼児・小学生・中学生の保護者を対象に、館内のフリースペースを利用できる場を準備し利用を促した。
ふくた健康教室	7	大人のための栄養講座・食の防災教室・膝痛の原因と予防法等健康と予防に関する理解を深め、学級生の健康増進に努めた。
富来田みどり学級※ (高齢者学級)	11	事前に学級生と相談し、年間計画を策定。ものづくり体験、涵養を高める学習、芸術鑑賞等を実施した。
富来田ふるさと講座	10	開講時に班編成し、年間の計画を作成。郷土の学びを深め、受講生自身が学びを語れるようになる機会を模索した。
Someデイハイク	3	主に中高年層を対象とし、「歩き」を通して体力・健康寿命の向上を促進させることを目的に3回実施した。
ディスカバリーウォーキング	1	主に中高年層を対象とし、歩きを通して「新たな発見」を目指すと共に体力・健康寿命の向上を促進させることを目的に実施した。
焙煎からはじめる！コーヒー講座	1	主に高齢者(独居)を対象に、共通の趣味をつくる機会を提供し、引きこもりきりにならないよう仲間づくりの機会を提供した。
親子で体験！ジビエ料理教室	1	富来田地区とその近隣の獣害に対する現状について学び、またその肉等の調理、活用方法を知ること、獣害と消費者のかかわりや消費者としてできることについて考える機会とした。
スマートフォン講座(地域課題講座)	1	異世代間交流を軸に、富来田中学校とその生徒の協力の下、高齢者がスマホに慣れ親しむ機会とすべく実施した。
ふくたぶらり再発見ウォーキング※	1	富来田(令和6年度は馬来田地区)の自然や歴史、名所などを訪ね歩き、地域の魅力を再発見してもらう機会とした。
自習スペース	2	長期休暇期間や受験シーズンのみ、自習スペースとして空いている部屋の開放や環境の整備を行った。
利用者懇談会	1	公民館の目的や使用方法の再確認、公民館使用料金の改定、各団体の交流を兼ねた懇談会を実施。

富来田地区まちづくり協議会	通年	役員会、総会、各事業の実行委員会を経て、節目となる第20回富来田地区納涼大会した。また、10月に期間開催となったコスモスまつりの活動を支援した。
展示ホール活用事業	通年	地域住民、博物館等の協力を得て、展示ホールを開放し、市民作品や博物館情報の公開を行った。
公民館だより発行事業	12	富来田公民館だよりの各地区全戸配布による公民館情報等の提供(富来田公民館だより)その他に、小中学校等へも配布した。
地域活動支援事業	通年	区長会、富来田ふれあいの会、フレンドスポーツ倶楽部、武田川コスモスロードの会、元旦マラソン大会実行委員会など、地域で活動する団体・組織の求めや必要に応じた助言・援助を行った。特に地域で発足した里山農業体験塾では、子どもの事業担当として地域とともに事業を運営することができた。
富来田地区市民文化祭	1	富来田商工祭と同時開催。各団体・サークルの作品展示や舞台での発表の場となった。
富来田地区青少年健全育成会議※(事務局)	6	事務局として総会、役員会を開催し、地域の子ども達の健全育成に関する情報交換、花いっぱい運動の事業運営を協力して行った。
図書貸出事業	通年	図書の貸出・整理、リクエストの受付、各種資料の提供。

※富岡公民館と共催事業

○ 岩根公民館

事業名	実施回数	事業概要
子どもなんでも体験教室(サタデースクール事業)	4	3Dプリンター体験講座・バルーンアート・正月飾りづくりを通して、物ごとへの関心を高めた。
岩根つくし家庭教育学級	10	小中学生を子どもに持つ親を対象に、家庭教育の役割等、子どもの心と身体について学習し、子育てを支えあう仲間づくりの機会とした。
岩根すぎな家庭教育学級	10	高校生以上の思春期の子どもを持つ親を対象に、家族や地域との関わり方を学びながら、家族や地域を支えあう仲間づくりを目指した。
岩根健康学習会	10	健康と病気予防の大切さを学び元気に過ごす知恵を体得した。話し合い学習を通して、健康を支え合う仲間づくりを進めた。
岩根郷土史講座	11	郷土に関連する歴史を学び、ふるさとの再発見を通して、郷土を愛する心を育てた。
利用者懇談会	2	使用料改定・公民館活動への理解を深めるとともに、利用者相互の交流を図り、もって公民館活動の推進を図った。
公民館報発行事業	12	地域の生涯学習、公民館活動、地域情報を発信し、地域内の社会教育及び公民館活動の振興を図った。毎月1回の定期発行、全戸配布を行った。
青少年育成岩根東地区住民会議(事務局)	7	青少年健全育成に関わる団体相互の連絡調整を図るため定期的に会議を開催し、地区内の青少年健全育成の機運を高めた。また、文化祭の模擬店展出店を行なった。今回から親子で地域の偉人、石造物の課題に答え、思い出になる写真撮影に挑戦した『親子フォトラリー』を実施。岩根中学校1年生を対象に岩根地区に関わりのある13人の働く先輩から職業観・人生観等を学んだ。中学2年生には、地区内の企業で、職場体験を実施した。
岩根公民館運営協力委員会(事務局)	4	効果的な事業運営と住民主体の公民館活動を図るため、地域住民からの助言、協力を得た。
岩根東地区まちづくり協議会(事務局)	4	地域における諸課題に対し、地域各団体が連携を取り解決していく組織。また、コミュニティカフェ事業では、公民館との共催で「にじいろサロン」を今年度も実施した。
図書貸出事業	通年	市立図書館の協力支援のもとに、地区住民の読書活動の普及促進を図った。
子どもサイエンス教室(サタデースクール事業)	1	夏休みに入り、小学生とその保護者を対象に観察や実験などを通して、科学の楽しさに触れた。

にじいろサロン	10	まちづくり協議会との共催事業として、地域住民が音楽やパフォーマンスを楽しむ機会を作るとともに、地域課題を探るコミュニティーカフェの場としても位置付け実施した。
岩根ほがらか高齢者教室	10	学びを通じて高齢者の生きがいづくりや健康増進を図るとともに、高齢者を取り巻く課題の理解を促進した。
第67回岩根東地区文化祭(共催：同実行委員会)	1	敬老会も加わって、展示・発表・イベントの3部門を盛大に開催した。
いきいき子ども地域促進事業(事務局)	1	文化祭において、防災クイズを加えたウォークラリー大会を実施した。

○ 鎌足公民館

事業名	実施回数	事業概要
子ども体験事業 (サタデースクール事業)	4	土曜日や夏・冬休みを利用して、親子の交流と地域文化の継承などを目的に実施した。
You*You(遊友) 鎌足	6	地域の子どものが地域の大人と夏休み期間に関わり合うことを目的としたフリースペースを企画した。
どんぐり山の親子くらぶ	17	保護者同士の交流、情報交換を図りながら、地域で子育てを行う環境の醸成に努めた。
すみれ家庭教育学級	5	小中学生の保護者を対象に、子育てに関する学習や情報交換等を行った。
伝統ほうき作り研究	2	原材料を栽培し、途絶えつつある伝統技術を学び、地域の活性化につなげる方法を模索する。
鎌足健康講座	2	健康を維持するための様々な視点を学習する。
野山歩き隊	1	千葉県内の自然公園を歩き、歴史・自然に親しみ、健康増進を図る。
鎌足ふるさとたずね歩き (共催：鎌足ふるさとかるた会)	1	鎌足内外の方に、鎌足地区の歴史を紹介し、郷土愛を深めた。
優れた文化に触れる教室	1	優れた建造物や美術品などに触れることにより、鎌足地域の文化醸成・発信の一助とした。
公共施設予約システム操作研修会	1	サークル・団体の公共施設予約システムの利用促進を図るために実施した。
鎌足公民館利用者懇談会	1	鎌足公民館を利用する地域団体関係者・利用サークル代表者の情報交換、交流を図る。
たこづくり・たこあげ大会	1	鎌足地域で凧づくり・凧あげ大会を通じて、世代を超えた地域住民の交流の場とする。
鎌足公民館運営協力委員会	1	公民館活動への理解を深めると共に、助言・協力を得た。
館報発行事業	12	公民館と地域住民を結び公民館活動への理解を深め、生涯学習機会の情報を提供した。
図書貸与事業	通年	地域住民の読書活動の推進を図った。
鎌足地区青少年育成住民会議 (事務局)	4	地域ぐるみで青少年の健全育成、地域の子育て環境の醸成に寄与した。

鎌足地区まちづくり協議会 (事務局)	通年	地域における諸課題に対し、地域住民及び各団体が連携を取り解決していく方法を模索した。
P T Aナイトツアー (協力)	1	鎌足小学校を会場に関係団体等が協力して、小学生の体験事業を行った。
鎌足桜学級	11	健康増進や趣味の充実の為に学び生きがいがづくりに資するとともに、地域の高齢者の交流の機会とした。
第45回鎌足地区文化祭 (事務局)	1	敬老のつどいと合同開催し、芸能発表も行うことができ、地域文化の醸成に寄与することができた。

○ 中郷公民館

事業名	実施 回数	事業概要
中GO!探検オリエンテーリング大会 (東清川・中郷地区青少年育成住民会議中郷 分会主催)	1	中郷中学校跡地を含め20か所のポイントを設置、親子で地域にまつわる問題を解きながら制限時間内に巡ることにより、地域への愛着と青少年健全育成活動の促進となった。
中郷幼児家庭教育学級 (中郷どれみふぁあキッズ)	15	孤立しがちな母親同士の仲間づくりや基本的な学習を実施した。
中郷こども体験教室	2	勾玉づくり、草木染を通して子どもたちの体験や伝統文化への理解を深める。
中郷ふれあい夏まつり (東清川・中郷地区青少年育成住民会議中郷 分会主催)	1	中郷地区の様々な団体が事前準備、出店、運営等を実施し、夏まつりを実施。予想を超える地域の方々が来場した。
親子精進料理教室	2	安心安全で地産地消と親子の触れ合いを目指して、誰もが簡単に作れる教室を開催
中郷カレッジ	7	中郷地区だけでなく、周辺地域を含めた様々な歴史や民俗、文化に目を向け学ぶことにより、地域の文化をより深めていく一助とする。
生け花体験教室	1	クリスマスを迎えるにあたって、伝統文化である生け花を学ぶ。
夕方から始める東洋医学健康講座	5	年齢が上がるにつれて不具合の出てくる体のケア方法を学ぶ。
シニア健康教室	4	高齢者の健康を維持する方法を学ぶ
文化とアートを学ぶ教室	2	地区外の優れた文化遺産とその背景を学び、地域文化の醸成に資する。
中郷キッズシアター	1	人形劇を通して、子どもたちのワクワクや想像する力を引き出す。
フリースペース	33	乳幼児の親子や地域住民が様々なことを話したり、相談できる場として設置。子育て支援センターの協力もいただく。
公民館だより発行	12	公民館事業及び地域の情報を広く地域全体に提供・発信する広報活動を展開した。
中郷公民館運営協力委員会 (事務局)	通年	効果的な事業運営と住民主体の公民館活動を図るため、地域住民からの助言、協力を得た。
東清川・中郷地区青少年育成住民会議中郷分 会(事務局)	通年	地域の青少年育成関係団体や教育機関相互の情報交換や中GO!探検オリエンテーリング大会等の開催を通じて、青少年の健全育成を推進した。
中郷地区まちづくり協議会(事務局)	通年	地域の身近な話題に、自主的かつ主体的に対処し、安全で安心な暮らせる魅力ある地域づくりの推進に取り組んだ。

図書の貸し出し	通年	地域住民にとっての身近な“図書館”として、利用の促進及び読書活動の普及を図った。
第41回中郷地区文化祭 (事務局)	1	地区内の様々な活動をしている団体や個人の学習成果を披露する場を設け、更なる中郷文化を発展させていく。

○ 富岡公民館

事業名	実施回数	事業概要
わくわく子ども陶芸教室 (サタデースクール事業)	4	陶芸を通してものづくりの楽しさを学び、子どもどうしの交流を深めた。
枝豆栽培収穫体験教室	4	親子を対象に枝豆栽培を体験する機会を提供し、農作物と自然との関係を学びながら、地域の魅力を発信する機会とした。
中学生のための茶道体験教室	5	中学生を対象に茶道の歴史や礼儀、所作、お点前を体験しながら学ぶ機会を提供し、その成果を文化祭で発表した。
中学生による太巻き寿司体験	1	富来田中学校のオープンスクールに併せ、中学生を対象に郷土料理である太巻き寿司づくりの機会を提供し、食育の一助とした。
入門！大人の陶芸教室	8	初心者や未経験者を対象に陶芸の知識・技術を基礎から学ぶ機会を提供し、制作した作品を文化祭で展示した。
地元で穫れた大豆を使った味噌づくり体験	2	地元で収穫した大豆を材料に、麴づくりから行う味噌づくり体験の機会を提供し、地域の魅力を発信する機会とした。
とみおかにこにこカフェ	12	健康や福祉に関する情報共有や学び、各種のイベントなどを通して、地域住民が気軽に参加し、交流しあう場を提供した。
ふくたぶらり再発見ウォーキング	1	富来田（令和6年度は馬来田地区）の自然や歴史、名所などを訪ね歩き、地域の魅力を再発見してもらう機会とした。
富来田みどり学級(高齢者学級)	10	日常生活に必要な学習やものづくりなどを通して、高齢者が健康で豊かな毎日を過ごすための一助とした。
富来田公民館だより	12	富来田公民館が毎月発行する館報に富岡公民館の事業や情報を掲載し、住民へのPRや利用者の拡充を図った。
利用団体代表者会議	1	利用者に対し公民館に関する必要な情報を提供し、富岡公民館の運営について理解と協力を求めた。
第45回富岡地区文化祭	1	サークル、個人、子どもの作品展示や地域活動の紹介、中学生による呈茶会を通して、富岡地区の文化を発表する機会とした。
富岡公民館運営協力委員会	4	事務局として役員会、総会に参加し、とみおかにこにこカフェ、文化祭実行委員会、公運協・利用者合同移動研修会に協力した。
公運協・利用者合同移動研修会	1	市原歴史博物館、及び千葉県立美術館を生涯学習バスで訪ね、貴重な郷土の文化財や芸術作品を見学し、見識と交流を深めた。
富来田地区青少年健全育成会議	4	事務局として役員・理事会、総会に参加し、花いっぱい運動（富岡地区）の支援を行った。
花いっぱい運動（富来田地区青少年健全育成 会議主催 ※	2	とみおか・ロマン街道の会の協力を得て、7月と11月に公民館の花壇やロマン街道沿いの花の植替えを行った。
富来田地区まちづくり協議会	11	事務局として役員会、理事会、総会、要望書手交式に参加し、富来田地区納涼大会や防災訓練の運営を支援した。

○ 文京公民館

事業名	実施回数	事業概要
サタデーきつぷチャレンジ（サタデースクール事業）	5	創作活動や体験学習を通して、技術の向上やものづくりの楽しさを伝える機会とした。
書初め教室（サタデースクール事業）	1	新しい年に希望を込めて、書き初めの課題を楽しく練習した。
なるほど☆サイエンス！ （サタデースクール事業）	2	実験を通して科学の楽しさや面白さを学ぶ機会となり、夏休み中の地域交流・異学年交流の場となった。
ザ・昭和 （サタデースクール事業）	4	昭和遊び（昔遊び）を児童に伝承すると共に、地域の人との交流を図る場となった。
子育て広場カモミール （家庭教育学級）	11	木更津第二小学校・請西小学校通学の児童を持つ保護者を対象に、家庭教育の役割について学び、親同士の交流を図りながら、子育てに関する諸問題をともに考える機会とした。
にこにこルーム （乳幼児家庭教育学級）	11	概ね、生後１０ヶ月～就学前の乳幼児及びその保護者を対象に、様々な遊びを通じて参加者同士の交流を図る機会とした。
乳幼児親子のためのフリースペース	10	子育て世帯を支援するために、親子で遊べる場や子育ての情報提供、育児相談などを行える場を提供した。
放課後広場「プラタナス」	7	放課後等において、児童が安心・安全に過ごせる居場所づくりの支援をした。
防災学習講座	1	大地震発災後の支援が少ない７２時間を生き抜く知恵を学び、地域住民の防災についての意識向上を図るための機会とした。
スマートフォン講座	2	スマートフォンの基本・LINEなどの応用的な操作方法や「アクアコイン」・「らぶfit」等の便利なアプリ機能について学んだ。
文京ふれあい学級（高齢者教室）	11	65歳以上の高齢者を対象に、心と身体の健康維持・増進・生きがいつくりと仲間づくりを講義や実技を通して行った。
健康講座	3	健康について考え、身体を動かすきっかけ作りとするため「エンジョイボール」及び「ワンダーハイキング」を実施した。
地域住民の方のためのフリースペース	1	地域住民相互の情報交換、仲間作り及び孤立化を防ぐことを目的に、気軽に集える場の提供としてフリースペースを実施した。
夏休み限定！学習スペース・Good Luck	5	夏休みにおいて、小学生や中学生が安心・安全に過ごせる居場所づくりの支援をした。
利用者懇談会	5	サークル活動の意義や公民館・社会教育に対する認識を深め、サークル間の交流を図る機会とした。
公民館だより発行事業	6	公民館事業の案内や地域情報を発信した。
木更津市立木更津第二中学校区 青少年健全育成住民会議（事務局）	11	二中学区の青少年健全育成のため関係団体や教育機関等と各種会議、情報交換を行った。（桜井公民館と共催）
地域交流防災学習体験会 （生き生き子ども）	1	災害に際し、自らが生活する二中学区の防災活動の担い手となることの気づきの場とすると共に、児童の健全育成と地域防災意識の向上のため各団体との連携・協力の場とすることを目的として実施した。（桜井公民館と共催）
ごみ拾い活動（生き生き子ども）	1	新田・貝渕地区を中心にごみ拾い活動を実施した。（桜井公民館と共催）
第２３回文京公民館まつり（事務局）	1	展示・イベント・芸能発表を行った。延べ来場者数は３，５００人となり、サークル・地域住民の交流の場とすることが出来た。
木二中学区学社連携会議	1	木二小・請西小・真舟小・木二中の小中学校の担当職員と公民館職員で会合を持つことにより、相互の活動の円滑化・活性化を図った。

○ 八幡台公民館

事業名	実施回数	事業概要
ほたる鑑賞のタベ (サタデースクール事業)	1	地元上烏田に発生するほたるの鑑賞を通して地域の自然環境を理解する機会とする。また併せて世代間の交流を図った。
親子ハゼ釣り教室 (サタデースクール事業)	1	4年ぶりに開催。八幡台で活動している「八幡台釣り同好会」の皆さんを講師に、親子で「ハゼ釣り」体験を行なった。家族や地域の方々との交流を図ることが出来た。
八幡台サタデースクール夏休み 体験事業(サタデースクール事業)	3	「生け花体験」及び「絵手紙体験」「ヒップホップダンス体験」を実施。子どもたちが、普段では学ぶことができない分野を学ぶ機会を創出することができた。
八幡台サタデースクール冬休み体験事業 (サタデースクール事業)	3	「窓ガラスに絵を描こう」「マジック教室」「お飾りづくり」を実施、世代間の交流を図る場とした。
八幡台春休み体験事業	2	「マジック教室」「生け花体験」を実施、世代間の交流を図る場とした。
めばえ家庭教育学級	10	親子遊び、母親同士の交流を通して仲間づくりを行うとともに、育児に関する知識を学ぶことにより、よりよい子育ての手助けを行った。
ひばり家庭教育学級	10	主に小学生期の児童を持つ親を対象に、家庭教育や子育て学習を通して、親同士のつながりをつくることができた。また、子どもの理解や親のあり方について考えた。
思春期家庭教育学級 (波岡公民館共催事業)	10	思春期の子どもを持つ親を対象に、家庭教育や子育て学習を通して、親同士のつながりをつくることができた。また、子どもの理解や親のあり方について考えた。
八幡台郷土史講座	10	郷土の歴史・民俗・文化を学習し、郷土への理解と愛着を深め、郷土愛を育てた。併せて地域住民の交流が図られた。
八幡台健康講座	5	現代的課題の一つである「健康」について学習し地域住民の健康増進を図ることができた。
スマートフォン体験教室	3	スマホに不慣れな方を対象に、スマホの基本的な使い方や、LINEの操作方法を学んだ。
美化(びか)ボランティア活動	12	「私達の公民館を日常的にキレイにしておきたい」と月に1回、草取りや、草刈、花壇の植え替えや、水撒き等を行うボランティア活動を行った。
利用者懇談会	2	サークル活動の意義や公民館・社会教育に対する認識を深め、サークル間の交流を図る機会とした。
八幡台公民館だより発行	9	公民館活動を広く周知するとともに、地域の情報紙として機能するよう活用を図った。
波岡地区学校公民館連絡会	1	波岡中学校区の児童、生徒にかかわる情報交換及び学校及び公民館の次年度年間事業計画の共有を行った。
八幡台かえで学級	10	社会の変化や健康等についての学習を通して、高齢者の生きがいの増進と健康の維持、仲間づくり、地域づくりを図った。
図書貸出事業	通年	図書のリクエストや貸し出し業務を行い、読書活動の普及と推進を行った。
サークル支援事業	通年	主に館を利用する団体・サークルが円滑な運営をするために、活動の調整等で支援した。
ひばりっ子俳句作ろうコンテスト(共催事業)	1	八幡台小学校児童を対象に、俳句コンテストを実施した。
ひばりカフェ(共催事業)	12	地域間の交流促進を図るとともに、情報提供の場や活動の仲間が集められる場所を設けた。
星空シアター(共催事業)	1	公民館前の四季の杜の広場に大きなスクリーンを設置し、星空の下映画鑑賞を実施した。

ちょこっと講座（共催事業）	5	八幡台地区の住民を対象に、介護や子育てなどその時々身近な話題の情報を提供し、いっしょに考える場を設けた。
第21回四季の杜音楽祭(共催事業)	1	芸能関係のサークルの発表を実施。来場者数は、300人で、地域住民の交流の場となった。
第41回上烏田・八幡台・羽鳥野地区文化祭(共催事業)	1	展示・芸能発表・イベント（模擬店・体験教室）などを3日間で実施。来場者数は、3,000人となり、サークル、地域住民の交流を図った。
生き生き子ども地域活動促進事業(共催事業)	1	風づくりを通して親子、地域の大人と子どもの交流の機会とする。郷土の民俗文化への理解を深めた。（青少年育成連絡会議と共催）
波岡中学区青少年育成連絡会議（事務局）	通年	地域の青少年育成に関わる団体の連絡調整と啓発活動を行うことにより、地域ぐるみの青少年育成活動を推進した。
ひばり（八幡台小学校区）まちづくり協議会（事務局）	通年	防災や地域福祉など、地域の身近な課題を住民が自主的かつ主体的に取り組む活動を支援し、安全で安心な住みよい、地域づくりの推進に寄与した。
波岡東地区 地域を考える会	通年	会議に参加し、地域住民の抱える悩みやその他の現状を情報共有した。
八幡台小ひばりチャレンジ広場（協力事業）	通年	八幡台小児童の放課後の居場所づくり事業として保護者や地域が主体となる運営委員会により実施し、その活動を支援した。今年度は開催に向けて打ち合わせ等を実施し、開催した。

○ 東清公民館

事業名	実施回数	事業概要
公民館の夏休み (サタデースクール事業)	3	夏休み等に創作活動や体験的な学習を実施し、異年齢児童の交流を図り、豊かな情操を育む一助となった。（ポスターづくり、こども料理教室、理科自由研究お助け隊）
冬の子ども教室 (サタデースクール事業)	3	冬休みに日本の伝統的な体験学習を実施し、異年齢児童や地域の大人との交流を図り、豊かな情操を育む一助となった。（お飾りづくり教室、書き初め教室）
春の子ども教室 (サタデースクール事業)	2	春休みに創作活動や体験的な学習を実施し、異年齢児童や地域の大人との交流を図り、豊かな情操を育む一助となった。（和菓子づくり、洋菓子づくり）
東清ママ講座	10	小中高学生の子どもを持つ親の子育てに関する学習や情報交換、地域での母親のネットワークづくりを図ることができた。新しい分野に挑戦したり、今までの経験を更に深めたりすることができた。
子育て学級（フリースペース）	7	主任児童委員と連携して町内会の集会所を会場に実施し、地域に住む親子同士の交流と主任児童委員から子育てのヒントやアドバイスを貰える場を提供することができた。
ふるさと歴史講座	8	木更津市や千葉の歴史を学ぶことにより、郷土愛を深め、新旧住民相互の交流の機会となった。
石造物調査隊	12	地区内の石造物の調査及び記録活動を通じて身近な郷土の文化遺産を後世に伝承することができた。
平安時代についての講座	2	枕草子を題材とした色彩についての講義と着装体験を通して、平安文化について学ぶことができた。
ふるさと歴史ハイキング	1	地域住民の健康増進とともに、自然に触れることで環境への理解を深めることができた。
スマートフォン活用講座	1	スマートフォンを利用して使いづらさを感じている方等を対象に、スマホを利用した情報収集・活用方法についての基礎的な学習機会を提供することを目的として開催した。
点描画体験教室	2	絵画作品の一つである点描画について学ぶことで、点描画に関する基礎的技術の習得を図ると同時に、点描画の魅力に触れる機会を提供できた。
彩むすび書体験教室	2	筆ペンを使ってアートな文字や絵を描いてみる。色やにじみを工夫することにより、感性豊かな作品になる。
東清さわやか学級 (高齢者学級)	10	健康体操や落語、脳トレ等、楽しく生き生きとした笑顔の中実施できた。今年度も県外に2回の移動研修も実施できた。

東清シニアカフェ・アビタ	14	民生委員や北部包括支援センターと連携し、スマホの使い方だけではなく、健康相談や健康体操、ゲーム、美容、健康講座等外部講にも依頼して楽しく高齢者の居場所づくりを進めることができた。アビタのコードを貸していただき、ほたる野方面の方にも交流が持てるようになった。
発酵ライフ体験教室	8	健康で豊かな生活を送るために、発酵に関する講義や移動研修、実習を通して、食育や免疫力アップに繋がる意識を高めることができた。
東清市民講座	2	実際に災害に直面した状況を想定して、身近にある道具を活用しながら様々なグループ作業を取り入れながら学習することで、災害時における事前準備・対策について実践的に学ぶことができた。
利用者懇談会	2	サークル活動の意義や公民館・社会教育に対する認識を深め、サークル間の交流を図る機会とすることができた。
公民館だより「かけはし」発行	12	地域の情報や公民館活動・生活情報などを幅広く住民に発信し、住民と公民館との「かけはし」となった。
図書貸出事業	通年	市立図書館と連携し、地域における読書活動の普及を図った。
東清川地区まちづくり協議会（事務局）	13	防災部会では避難所開設訓練、地区防災講座等を実施した。また、高齢者部会を新設し、いくつになっても元気に住み続けられる地域づくりを目指し、地区社会福祉協議会等と連携して取り組むことができた。
東清川・中郷地区青少年育成住民会議 /同東清川分会(事務局)	10	地域の青少年健全育成に向け、関係団体・機関の情報交換や連絡調整を行うとともに「生き生き子ども地域活動促進事業」として「こども防災体験フェスタ」や「花いっぱい運動」を実施した。
東清公民館運営協力委員会 (事務局)	6	住民の代表である委員（市政協力員やサークル代表者）に公民館活動の理解と協力をお願いするとともに、公民館大掃除や移動研修に関する協議などを行った。
第41回東清川地区文化祭(共催)	1	展示発表、芸能発表、模擬店等を実施。日頃の文化活動の発表や交流、地域住民のつながり、心と心のふれあいを図ることができた。

○ 清見台公民館

事業名	実施回数	事業概要
キッズわくわくチャレンジ教室	20	子どもたちや親子によるお飾り作りやペットボトルロケット等の体験、月1回程度のフリースペースを行った。
子育て広場「このゆびとまれ」	20	乳幼児を持つ保護者や親子の遊びと交流。
たんぽぽ家庭教育学級	10	子育て・家庭教育に関する学習、情報交換や体験活動。母親同士の仲間作りの場となった。
クールシェア	12	子どもと子育てに関わる人を対象に、毎回図書館司書、ボランティア、公民館職員による読み聞かせとフリースペースを行った。
リンパマッサージ講座	2	免疫細胞とリンパ機能について学び、クリームを使ったリンパマッサージ実技講習を行った。
いきいき脳若講座	3	脳を若く保つための栄養管理等の講義とタブレットを使って楽しみながら、実技講習を行った。
ふるさと講座	8	郷土の歴史を学ぶことにより、交流の機会となった。
セカンドライフを楽しむ講座	7	高齢者が健康・生活に関する講座や体験をした。
清見台スマホ寺子屋	1	太田中学校の生徒が教える立場となって、地域のスマホを使い慣れていない方へ操作を教えることで、より便利な生活の一助と世代間交流の場となった。
第20回通学合宿	1	公民館で共同生活を行いながら、3泊4日の宿泊体験で、木更津甚句を鑑賞して文化を学び、地域を巻き込んだキャンプファイヤーで異学年、多世代の交流を行った。

第7回清川地区なわとび大会	1	清川地区（祇園小、清見台小、西清小、東清小、南清小、中郷小、鎌足小）の7小学校区の青少年相談員が連携して行い、小学生を対象になわとびを通して交流を図る。
第31回清見台音楽祭(事務局)	1	公民館で活動する音楽関係サークルを中心に発表会を行い、音楽や文化を伝える機会となった。
第40回清見台地区文化祭(事務局)	1	地域文化活動の発表の機会として、展示物の掲示、芸能発表、模擬店をを実施した。
太田中学校区学社連携担当者会議(事務局)	3	太田中学校区内の小中学校・公民館による情報・意見交換、連絡・調整をした。
清見台・太田地区まちづくり協議会(事務局)	11	青少年の健全育成・防災意識の向上・地域のコミュニティづくりを図るため、星に願いを運動、スマイルフラワー運動、Smile Garden Project、防災フェスタ、パッキング体験、避難所宿泊体験、コミュニティカフェなどを開催した。
青少年育成太田中学区住民会議(事務局)	9	地域の青少年に関する諸団体相互の連絡・調整と危険箇所確認パトロール、3泊4日の通学合宿を行い、青少年の健全育成をした。
清見台公民館関係団体連絡協議会兼利用者懇談会(事務局)	10	清見台公民館・附属体育館利用団体及び地域関係団体相互の連絡・連携し、公民館周辺の環境美化活動(2回)をした。
清見台・太田地区防災連絡協議会(事務局)	4	地域連携についての協議・意見交換、自主防災訓練についての意見交換、避難所ごとに防災訓練などを行った。
公民館だより発行事業	12	広報誌「ハイ公民館です」を年12回発行(予定)。町内会を通じて配布・回覧した。
図書貸与事業	通年	本の貸し出しや閲覧による読書活動の推進した。

○ 畑沢公民館

事業名	実施回数	事業概要
そよかぜ家庭教育学級	10	学級生と一緒にプログラム作成し、小中学生及び高校生等の子どもを持つ母親同士のネットワークづくりと、子育て・家庭教育に関する学習をした。
おやじ専科	9	学級生と一緒にプログラム作成し、地域の男性同士のネットワークづくりと生活課題、地域課題等の学習をした。
はたざわ歴史講座	9	学級生と一緒にプログラム作成し、郷土の歴史を学ぶとともに、地域住民の交流の機会となった。
健康カレッジ	9	学級生と一緒にプログラム作成し、健康学習や実技・実習を通じて、受講生自身の健康増進に留まらず、将来的に地域ぐるみで健康長寿を促進するための方策を考える講座となった。
スマートフォン講座	13	初心者対象の講座とし、生活が便利で豊かになるよう4パターンの内容構成で開催した。また、講座とは別の時間に相談会を2回開催した。
利用者懇談会	1	公民館の利用方法等、サークル連協の行事について説明した。
公民館先行予約調整会議	1	自治会・地区社協・民児協を対象とした、公民館使用の先行予約の調整会議を開催した。
公民館だより発行事業	12	公民館事業や地域の情報を提供した。
生き生き子ども地域活動促進事業(事務局)	1	地区の小中学生を対象に、「ポッチャ大会&ふれあいサロン」を開催。地域交流を図った。
畑沢中学校区青少年健全育成連絡会議(事務局)	通年	定例会開催の他に、地域の青少年健全育成のための情報交換を行うため、「子どもたちのための地域フォーラム」を開催した。
畑沢公民館運営協力委員会(事務局)	2	公民館と地区住民をつなぐため、公民館運営の助言や協力を得た。

図書貸出事業	通年	地域の子どもからお年寄りまでを対象に読書活動の普及を図った。
はたざわ子ども公民館 (サタデースクール事業)	1	夏の子ども公民館として小学校4年生以上を対象に全4日間、午前中はフリースペース(自習・読書)、午後はさまざまな体験学習(卓球、集団ゲーム、ダンス、ふまねっ)を実施した。
ぴよぴよ子育てスペース	10	保護者と乳幼児の交流と子育て学習を実施して、近くに住む親子の仲間づくり進めた。
ぴよぴよ子育てフリースペース	9	乳幼児期の子とその親が気軽に集えるようフリースペースを開催し、親子遊び・子育て相談をしたり、自由に過ごすことができる空間づくりを行った。
畑沢むつみ学級	9	地域在住の65歳以上の方を対象に、さまざまな学習を通して学級生どうしの交流が図れるよう開催した。
第40回畑沢公民館地区文化祭	1	2日間展示中心の開催とし、芸能発表は、事前撮影した映像を開催期間中リピート放映した。また、ふる里学舎から購入したパンを販売した。地区社協と共催で開催していた敬老のつどいは、地区社協の単独開催として文化祭と分離開催とした。
開館40周年記念事業	1	文化祭の初日に記念式典を開催し、公民館功労者へ感謝状を贈呈した。また、40周年記念誌を発刊し、関係各所へ配布した。

○ 岩根西公民館

事業名	実施回数	事業概要
なのはな家庭教育学級(家庭教育)	13	小中学生期の子育てや家庭生活に活かせるような様々な体験学習や活動を行い、併せて母親同士の交流と仲間作りを進めた。
めばえ学級(家庭教育)	14	親子遊びを中心に、乳幼児と母親のふれあいの場を提供することで、子育て支援の一助とするとともに、地域の母親同士の交流を図った。
岩西ふれあい学級(高齢者)	9	65歳以上の高齢者を対象に地域住民同士の交流の場や生きがいづくり又、健康増進を目的とした。
伝統文化いけばなこども教室(サタデー)	11	子供たちが「いけばな」を学びながら、伝統文化について関心や理解を深めるとともに、豊かな人間性を育む機会とした。
岩西野山ハイク	3	地域住民の健康増進を目的に歩く会を実施した。
スマートフォン入門講座	6	テンキーなどのボタンがある多機能携帯電話(ガラケー)からスマートフォンへ移行が進む社会情勢の中、IT弱者を少しでも減らすとともに、木更津市が推進している「らづナビ」、「アクアコイン」の利用促進を図った。
岩根西地区青少年育成住民会議(事務局)	通年	地域の子ども達は地域で育てることを目的に各種青少年育成団体との連絡調整を行い、必要に応じて地域の教育課題をとりあげ会議・事業を実施した。(夏・冬の関係団体会議、ぬり絵コンテスト実施、星空観察会、お飾作り教室、三世代交流グラウンドゴルフ大会)
岩根西地区まちづくり協議会(事務局)	通年	地域住民が主体となって地域の課題を掘り起こし、検討・取り組み・評価することによって、地域力を高め、地域自治力を促進させた。
公民館報発行事業	12	公民館事業を中心に生涯学習情報を提供するとともに、読者に身近な地域の話題等を取り上げ、広く情報を発信した。
第38回岩根西地区文化祭	1	地域文化活動の発表の機会として開催した。
岩西おしゃべりカフェ	12	地域交流の場を提供する目的で開催した。
図書貸し出し業務	通年	身近にある図書室として、地域における読書活動の普及と推進を図った。
公民館運営協力委員会	通年	地域区長、団体が中心となり、公民館事業全般の運営について協力を仰いだ。また、公民館植栽等の伐採などの環境美化にも力を入れた。
利用者懇談会	2	館を利用する団体・サークルが一堂に会し、公民館利用についての意見交換をし、館の今後の円滑な運営について協議を行った。

トールペイント教室(サタデー)	2	子ども達が日常生活ではなかなか体験することができない事柄に挑戦することにより、興味関心を幅広く持ったり、心を育てたりする機会とした。
大人の珈琲講座	4	毎月実施の「岩西おしゃべりカフェ」に大勢の人たちが来場し、珈琲に対する関心が高まっているところで、改めて珈琲に関する知識や珈琲のいれ方などを学ぶ機会とした。
フリースペース	通年	公民館を利用する方々の憩いの場として提供した。

○ 西清川公民館

事業名	実施回数	事業概要
にしきよサタデースクール キッズわくわく体験隊	7	地域の自然を活用した体験学習を行うことで、地域の大人と子どもの交流を図った。
なんでも体験教室	5	有識者の方に協力をいただき、陶芸、工作、書き初め教室を行い子どもたちの体験学習の機会とした。
正月お飾り作り教室	1	子どもたちへの地域の伝統文化伝承を目的として、地域の高齢者の方から「お飾り作り」を学んだ。
はびちる (家庭教育学級)	11	未就学児とその親を対象として、身体測定や保育士へ子育てに関する相談ができる場を設けるとともに、地域の親同士の交流を図る機会とした。
子育てサロン (家庭教育学級)	13	小～高校生期の子どもを持つ親を対象として、子どもたちの心身の発達や親子関係について学ぶとともに、地域の親同士の交流を図る機会とした。
西清川歴史学級	9	主に県内の歴史を学び、郷土の歴史への理解と知識を深め、学級生相互の交流を図った。
おとなの学び舎遊歩道	10	中高年を対象に暮らしに根付いた身近な課題や興味を深め、地域での仲間づくりを図った。
ワンデイハイキング	3	身近な自然に触れる機会を提供し、健康の増進と地域住民の交流・親睦を図るとともに、環境保全の意識を高めた。
にしきよ健康講座	8	健康の増進を目的とした市保健師による健康測定会の開催、健康を維持するための実技（自律整体）を実践するとともに、地域住民相互の交流を図った。
西清川福寿学級 (高齢者教室)	10	高齢者を取り巻く課題等の学習をするとともに、参加者相互の交流を図り、生きがいづくりの一助とした。
スマホ入門講座	1	初めてスマートフォンを使う方や、持っているけれど自信がない方を対象に、基本操作や使用方法を学んだ。
西清川公民館だより発行	12	公民館活動を広く周知するとともに、地域への情報発信、情報提供を目的として毎月1回発行し地域住民に配布した。
利用者懇談会	1	公民館を利用する団体・サークルが一堂に会し公民館利用についての意見交換、今後の円滑な運営等について協議を行った。
第35回西清川地区文化祭	1	西清川公民館で活動するサークルの日頃の学習成果と文化活動の発表の場を設けた。
図書貸出事業	通年	地域における読書活動の普及と推進を図った。
たこ作り教室 (生き生き子ども)	1	凧づくりを通して親子、地域の大人と子どもの交流機会とするとともに、郷土の民俗文化への理解を深めた。(青少年育成会議と共催)
昔遊びのつどい (生き生き子ども)	1	凧あげや昔遊び(竹とんぼ・竹馬・羽根つき・ベーゴマ・コマ・お手玉・けん玉など)を通して地域の子ども同士、大人と子どもの交流、郷土の民俗文化への理解を深めた。(青少年育成会議と共催)
西清川地区学社連携会議 (事務局)	1	木更津第三中学校区の西清小・祇園小・木更津第三中・西清川公民館の4機関の職員による情報交換により、事業の円滑な運営を図った。

三中学区青少年育成会議 (事務局)	通年	地域の青少年育成に関わる団体の連絡調整と啓発活動を行うことにより、青少年健全育成活動を推進した。
西清川まちづくり協議会 (事務局)	通年	地区における身近な課題に自主的主体的に対処し、安全で安心な地域づくりの推進をはじめ、防災に関する施設見学や学習会を開催するなど、防災に関する意識を高めた。また、防犯パトロールの実施・防犯交通安全のぼり旗・看板等の設置を実施した。
K I Z U N A (絆) コンサートの開催	1	定期利用の4サークルの協力を得て、音楽を楽しみながら地域住民の交流を図る機会として実施した。
にしきよ防災学習会(西清川まちづくり協議会共催)(地域課題)	1	西清川まちづくり協議会と共催で、防災学習会の開催や避難所開設訓練など、地域住民の防災意識を高める機会として実施した。
スクールアドベンチャーワールド2024 (生き生き子ども)	1	祇園小学校を会場として、こどもたちの体験学習の充実を図るとともに地域の方々との交流を図った。
にしきよ珈琲講座	2	珈琲に関する知識や珈琲の淹れ方などを学ぶとともに参加者相互の交流を図った。
おからで味噌作り	1	家庭で実践できる味噌作りについて学ぶとともに参加者相互の交流を図った。

○ 波岡公民館

事業名	実施回数	事業概要
遊び塾「なみサタ」 (サタデースクール事業)	3	子どもたちの「遊び」の中での体験活動を充実させ、「生きる力」を育む機会とした。
思春期家庭教育学級 (八幡台公民館共催事業)	8	思春期の子どもの心身の発達や親子の関わり方を学ぶことで、家庭教育の充実を図った。また、親同士の交流を図った。八幡台公民館との共催事業。
波岡歴史講座	8	郷土の歴史・民俗・文化を学習し、郷土の理解を深めた。身近な歴史への興味関心をひく内容とした。
防災炊き出し訓練	1	炊き出し訓練を実施し、地域の防災意識を高める機会とした。(波岡公民館地区まちづくり協議会共催)
スマートフォン入門講座	2	デジタル社会に対応するため、スマートフォンの基本的な使い方や、木更津市公式LINEアカウントについて学習し利用促進を図った。
認知症についての講演会	1	認知症について正しい知識を得る機会とした。(波岡公民館地区まちづくり協議会共催)
利用者懇談会	1	サークル活動の意義や公民館・社会教育に対する認識を深め、サークル間の交流を図る機会とした。
波岡公民館運営協力委員会 (事務局)	通年	公民館と地区住民とのパイプ役として公民館運営への助言や協力を得た。
サークル支援事業	通年	主に公民館を利用する団体・サークルが円滑な運営をする為に求めに応じて支援した。
波岡公民館だより発行	9	地域の情報や公民館活動等の情報を提供した。
図書貸出事業	通年	地域における読書活動の普及と推進を図った。
波岡子育て学級	8	乳幼児親子の交流を図るとともに、育児に関する学習や情報交換の場として開催した。
親子でホテルウォーク	1	地域ボランティアの協力によりホテルの観察会を実施し、親子及び地域住民の交流を促進した。
菜の花教室 (高齢者学級)	8	健康や趣味等の学習会を通して、高齢者の生きがいづくりや地域のコミュニティーづくりを推進した。

フリースペース赤ちゃんサロン	9	共働き家庭が増える中、0歳児の保護者が知り合い、地域の子育て仲間のつながりをつくる場を提供した。(波岡公民館地区まちづくり協議会共催)
フリースペースねんちょうさん	7	入学前の不安を軽減する目的で入学前の同学年の交流を図った。(波岡公民館地区まちづくり協議会共催)
ぐるっとなみおかウォークラリー	1	チェックポイントにクイズやスタンプラリーを設置し、波岡地区をぐるっと一周して歩くコース。子どもから大人まで大いに楽しみ、地域の魅力を再発見をした。(子ども実行委員と青少年相談員共催)
波岡公民館地区まちづくり協議会(事務局)	通年	地域における諸課題に対し、地域各団体が連携を取り解決する為に、3つの部会で各々定例的に事業等を実施した。主に、子育て支援部会はフリースペースを開催、防災部会は炊き出し訓練の実施、高齢者支援部会は認知症の方との正しい接し方や、在宅介護についての学習会を開催した。
波岡地区学校公民館連絡会(事務局)	1	波岡中学校区内の小中学校・公民館による情報・意見交換、連絡・調整を行い連携を図った。
生き生き子ども地域活動促進事業	1	舂づくりを通して親子、地域の大人と子どもの交流の機会とする。郷土の民俗文化への理解を深めた。(※波岡中学校区 八幡台公民館 青少年育成会議と共催)
第32回波岡地区文化祭(事務局)	1	波岡地域や公民館で活動するサークルの発表や体験、作品の展示、模擬店・販売を実施し、地域住民の交流や、地域の文化の向上を図った。

○ 桜井公民館

事業名	実施回数	事業概要
親子お飾り作り体験教室 (サタデースクール事業)	1	小学生とその保護者を対象とした伝統文化の体験事業であり、親子での参加を原則としている。ボランティアの協力も得て世代間交流の場となった。
桜井公民館コミュニティカフェ	10	発達障がい等の子どもを持つ保護者や支援者が集い、情報交換を行い、子育てに役立てた。
人とつながりものづくり講座	2	画印づくりを行い、好評を得た。
木二中学区学社連携会議	1	木二小・請西小・真舟小・木二中の小中学校の担当職員と公民館職員で会合を持つことにより、相互の活動の円滑化・活性化を図った。
木更津市立木更津第二中学校区 青少年健全育成住民会議(事務局)	7	二中学区の青少年健全育成のため関係団体や教育機関等と相互の情報交換を主に行った。青少年懇談会と総会等を実施した。(文京公民館共催)
地域交流防災学習体験会(生き生き子ども)	1	災害に際し、自らが生活する二中学区の防災活動の担い手となることの気づきの場とすると共に、児童の健全育成と地域防災意識の向上のため各団体との連携・協力の場とすることを目的として実施した。(文京公民館共催)
ごみ拾い活動(生き生き子ども)	1	アクアラインマラソンが開催するため、貝渕・新田地区を中心に、ごみ拾い活動及び地域の危険個所の確認をし実施した。(文京公民館共催)
公民館報「さくら公民館だより」発行	6	学習情報等の提供により公民館活動への理解と推進を図り、地域づくりを促進した。
図書貸出事業	通年	地域における読書活動の推進と普及を図った。
日本伝統文化にふれよう！茶道体験教室 (サタデースクール事業)	7	文化祭での成果発表を目的に、子どもの茶道教室を開催した。文化祭当日は、保護者や地域の人の前で、お点前を披露することができた。講師の手厚い指導があり、参加者たちの満足度も高かった。
市公連Aブロック事業	10	文京・中央・清見台公民館と連携して、青少年の体験事業や成人教育を共催し、また各公民館が協力して各館の脆弱部分の強化を図った。
こどもまつり実行委員会	10	文化祭の場で、高学年の子どもが実行委員となり、企画から運営まで行うイベント「子どもまつり」は、地域ボランティアの協力もあり、大盛況だった。また、クリスマス会も同様に運営し、管内の小学校より50名を超える参加があった。グローバル賞を受賞した。

桜井親子家庭教育学級	8	七夕飾りづくり・芋ほり・クリスマス会等、親子での体験活動を行った。講師の方々にも協力してもらい充実した活動になった。
真舟小学校家庭教育学級	8	真舟小学校在籍児童の保護者を対象に、家庭教育の役割について学んだ。体験的な活動も行い親同士の交流も図れた。
桜井あしたば学級	10	高齢者を取り巻く課題等を学習するとともに、体験的活動や移動教室等を通して参加者相互の交流を図り、生きがいづくりの一助とした。
スマートフォン入門講座	1	地域のデジタル化を推進する一助として、主として高齢層のデジタルディバイドの解消へ向けた学習に取り組んだ。
第23回桜井地区文化祭（事務局）	4	展示部門、発表部門や模擬店・子どもまつりなどのイベントも行い、約1000名を超える来館者でにぎわった。
利用者懇談会	2	サークル活動の意義や公民館・社会教育に対する認識を深め、サークル間の交流を図る機会とした。
桜井公民館協力委員会	2	公民館と地区住民をつなぐために、公民館運営の助言や協力を得ると同時に、文化祭の方向性について検討していただいた。
生き生き健康づくりハイキング	4	県内のさまざまな自然豊かな場所をウォーキングし、健康づくりに役立てるための事業。毎回定員を上回る参加申し込みがあり、好評だった。
さくらい健康倶楽部	3	健康寿命を延ばすことを目的とし、自宅で実践・持続できることを目標とし、各回、専門知識を持つ講師を招き、講習会を実施した。

少年自然の家キャンプ場

生活体験・自然体験の機会が乏しくなっている青少年が、豊かな自然の中で心身を鍛錬し、生き生きとした野外活動を体験することによって、集団の中の規律・協働・友愛・奉仕の精神を身につけ、豊かな人間性を育むとともに、市民相互の交流を図る。

○ 施設の概要

1 西キャンプ場

- (1) キャビン 3 (各 8 人程度)
- (2) 炊事場 1 (かまど 10 基・流し)
- (3) 水洗トイレ 1 (男 7・女 4)

2 南キャンプ場

- (1) テント持ち込み (100 人程度)
- (2) 水道栓 1



3 その他の施設

- (1) 屋根付き広場 (広さ 138 m² テーブル・長いす 10 卓設置)
- (2) 自由広場 (広さ 1,260 m²、キャンプファイヤー場、テントサイト 5 区画等)
- (3) シャワー室 (男女別各 3 温水シャワー)
- (4) 管理棟 (事務室・倉庫)
- (5) 駐車場 (普通自動車 48 台・大型バス 2 台)

○ 利用状況

(令和 7 年 1 月 1 日現在)

		令和 5 年度		令和 6 年度	
種 別		件 数	人 数	件 数	人 数
市 内	子 ど も 会	0	0	0	0
	青少年育成団体等	0	0	6	202
	青少年相談員	1	63	0	0
	学校	0	0	0	0
	ボーイ・ガールスカウト	3	63	1	24
	各種団体等	9	298	5	117
	行政・公民館	2	43	1	230
	個 人	15	120	10	109
市 外	青少年育成団体等	0	0	0	0
	各種団体等	1	7	0	0
	行政・公民館	0	0	0	0
	個 人	6	35	4	18
合 計		37	629	27	700

※ 延べ件数・延べ人数による集計 (1 人が 2 泊した場合には 2 人とカウントする)

図 書 館

○ 施設の環境整備

図書館は現在の場所に新館が設置され51年目を迎えた。その間、施設の増築、駐車場の拡張、書庫の電動化、空調設備工事、耐震補強工事を実施し、利用者にとって適正な環境を維持できるよう努めた。

○ 図書館サービス

生涯学習の拠点施設として、図書館資料の収集・保存・整備を行い、閲覧・貸出をはじめ、レファレンスサービスや各種講座の開催により市民の図書館利用の増進を図った。また、大活字本や電子図書の収集と周知の強化、マルチメディアデジタイズなどアクセシブルなデジタル録音図書の収集など、すべての市民が読書を楽しめるように取り組んだ。その他では、インターネットを活用した図書の予約・延長サービスの実施、各種データベースの導入、電子申請の活用など、情報化社会に対応したサービスを行った。

市内各地域の13公民館の図書室及び金田地域交流センター内の図書コーナーの資料整備を行うことにより、市内全域における読書環境の整備に努めた。

○ 読書の普及と支援

学校との連携による総合学習、調べ学習の支援は、学校教諭、読書相談員との連携を密に行い団体貸出を行うほか、子どもの本、学習支援の資料収集を積極的に行った。また、小学校や高齢者施設、通所支援所のおはなし会、公民館での各種講座や高等学校での授業への職員派遣、インターシップや中学生の職場体験等を受け入れた。

乳児と保護者を対象としたブックスタート事業のほか、令和6年度は図書館開館95周年記念事業として、「児童文学講座」及び「文芸講演会」のほかに、新規事業「子ども司書養成講座」や、「絵葉書でみる昔の房総」、「ギルモアためきコレクション」等の企画展示を開催し、幅広い世代へ向け読書普及活動に取り組んだ。

市内の清和大学図書館、県内市町村図書館、県外図書館、国立国会図書館等と連携して協力体制をとり、資料提供を行った。

主催事業（令和5年度）

事業名	事業内容	実施回数	参加者数
児童文学講座	児童文学関係者による講演	1回	86人
ボランティア講座	音訳講座	1回	17人
図書館おはなし会	3歳児から小学生への素話の語りと絵本の読み聞かせ	96回	669人
赤ちゃんといっしょのおはなし会	乳幼児と保護者を対象としたわたべうたや絵本を楽しむ会	54回	643人
保育園おはなし会	保育園児への素話の語りと絵本の読み聞かせ	77回	1,989人
大人のためのおはなし会	大人を対象とするおはなし会	2回	42人

雑誌と図書の リサイクルフェア	雑誌（保存期限切れ）と廃棄図書の無償配布	8日間	183人
絵本講座	絵本の選び方、おすすめ絵本の紹介	2回	16人
ブックスタート ボランティア育成講座	ブックスタートボランティアの育成	4回	(延べ) 64人
大人のための 絵本セラピー	絵本セラピストによる絵本の読み聞かせとグループディスカッション	2回	38人
夏休み企画 工作教室・こわ〜いおはなし会 ・半日図書館員体験	小中学生を対象とした事業（工作教室、季節のおはなし会、図書館の仕事体験）	工作教室 (2回48人) こわ〜いおはなし会 (2回38人) 1日図書館員体験 (3回23人)	109人
れきおん ミニコンサート	国立国会図書館の提供する歴史的音源（れきおん）を利用したコンサート	3回	62人
ブックスタート事業	乳児と保護者を対象に、絵本をひらく楽しさと絵本をプレゼントする事業	38回開催	869組配付

○ 図書館利用状況の推移

年 度	開館日数	入館者数	館外貸出登録者数		館外貸出 利用者数	館外貸出冊数	
			12歳未満	12歳以上 ・施設等		児童書	一般書
令和 3年度	288	88,783	53,855		75,456	360,151	
			2,565	51,290		119,839	240,312
令和 4年度	201	53,802	55,086		48,044	245,465	
			2,411	52,675		81,578	163,887
令和 5年度	289	88,298	56,496		72,170	333,490	
			2,315	54,181		112,155	221,335

○ 館外貸出登録者 性別・年齢別内訳（令和6年3月31日現在）

性別・年齢別	性別			年 齢 別										
	男 性	女 性	計	0 〜 6 歳	7 〜 12 歳	13 〜 15 歳	16 〜 18 歳	19 〜 22 歳	23 〜 29 歳	30 〜 39 歳	40 〜 49 歳	50 〜 59 歳	60 歳 〜	計
登録者数 (人)	22,372	33,414	55,786	536	1,779	1,486	1,777	2,804	5,923	8,606	10,028	8,079	14,785	55,803
比率(%)	40.1	59.9	100.0	0.9	3.3	2.8	3.3	5.2	10.7	15.5	18.1	14.5	26.6	100.0

※ 団体登録等の数は、性別や年齢が未登録ものがあるため、登録者数の計と一致しない

○ 蔵書冊数の推移

年 度	総 数
令和 3年度	3 7 6, 7 9 5
令和 4年度	3 6 8, 9 2 0
令和 5年度	3 6 7, 8 2 5

○ 分類別蔵書冊数 (令和6年3月31日現在)

種 別	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 絵巻	4 自然	5 技術	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	E 絵本	P 紙芝居	その他	うち 公民館 蔵	計
冊 数	12,229	10,647	37,501	44,867	23,572	24,086	11,224	24,930	4,542	131,823	26,052	817	15,535	43,064	367,825
比 率	3.32%	2.91%	10.20%	12.21%	6.41%	6.54%	3.05%	6.77%	1.23%	35.83%	7.08%	0.22%	4.23%	11.7%	100.0%

○ 障害者サービス（資料郵送貸出有）

年 度	登 録 者	貸出利用者	貸 出 冊 数	
			点 字 図 書	録 音 図 書
令和 3年度	3 1	2 9	2 9 8	
			2 7 1	2 7
令和 4年度	3 1	3 4	3 3 1	
			3 0 3	2 8
令和 5年度	3 2	3 3	2 6 4	
			2 2 6	3 8

○ 団体貸出（保育園・学校・その他施設）

年 度	登 録 者	貸 出 冊 数
令和 3年度	6 6	6, 5 8 4
令和 4年度	6 2	8, 3 8 1
令和 5年度	7 2	6, 8 0 4

○ 公民館配本

年 度	配本施設（公民館等）	配 本 冊 数
令和 3年度	1 4	5 0, 3 6 7
令和 4年度	1 4	4 3, 0 1 2
令和 5年度	1 4	4 3, 0 6 4

○ レファレンス及び資料複写サービス

年 度	調 査 ・ 回 答			資 料 複 写	
	電 話	口 頭	文書・メール	件 数	枚 数
令和 3年度	2 4 7			1, 0 6 5	1 9, 0 6 0
	4 3	2 0 0	4		
令和 4年度	2 8 4			5 6 0	5, 2 5 6
	6 4	2 1 2	8		
令和 5年度	2 6 4			8 5 7	8, 3 2 6
	4 5	2 1 5	4		

○ 電子図書サービス

年 度	提供コンテンツ数	登録者数	貸 出 冊 数
令和 3年度	1 2, 3 0 7	1, 2 9 5	3, 9 8 9
令和 4年度	1 3, 0 8 8	1, 8 7 0	5, 4 6 2
令和 5年度	1 4, 3 4 8	4, 3 2 8	1 0, 4 2 0

郷土博物館金のすず

○経営の重点

【展示活動】「郷土愛を育む つながる博物館」を本館の令和6年度のスローガンとし、昨年度から継続した企画展とミニ企画展として「変化朝顔」を栽培し玄関先に並べて楽しんでいただく企画を実施した。また、常設展の完全無料化により、休日に家族連れの入館が見られるようになった。

【調査活動】市内外に存在する郷土資料の調査を適宜実施し、情報の蓄積を図った。

【教育普及事業】「きさらづ文化財ガイドボランティアの会」との連携により、昔のくらし体験学習や旧安西家住宅の展示解説等を実施しているが、令和6年度からは、旧安西家住宅に午後職員が常駐することで観覧者が増え、さらに展示解説や環境整備の充実を図り、年間を通して催事に取り組むための下地ができた。また、生涯学習課のきさらづ市民カレッジと連携し、市全体を包括した講座開催に工夫した。さらに、他の博物館、公民館への資料の貸出、特別利用の対応および講師派遣、博物館実習生の受入を実施した。

【施設の環境整備】本館エレベーターが令和5年12月末で保守点検期間が満了となり、改修工事のため令和6年12月から令和7年2月まで展示室を一部休室にして工事中である。なお、実施前には資料の移動を行った。

○主要事業の概要

1. 職員体制

R5年度：館長1名（月16日。会計年度任用職員）・副館長1名（学芸員）・副主幹1名（学芸員）・主任主事1名（再任用。学芸員）・主任主事2名（再任用短時間。学芸・庶務各1名）・会計年度任用一般職員2名（月14日以内、受付業務等2名） 令和5年度は館長職を木更津市で初めての民間登用とした。

R6年度：館長1名（月16日。会計年度任用職員）・副館長1名（学芸員）・主査1名（学芸員）・主任主事1名（学芸員）・会計年度任用一般職員4名（月18日以内・受付業務等3名、フルタイム・事務補助等1名）

2. 展示活動

（1）常設展

令和5年度は第4展示室の浮世絵の定期的な入れ替え、特別展と前後して第3展示室（古墳後期～古代）の展示替えを、令和6年度は第4展示室の浮世絵及び第7展示室の絵画資料の定期的な入れ替えを実施した。

（2）企画展等

年	展 示 名 称 ・ 期 間 ・ 観 覧 者 数 (敬称略)
5	・企画展「きさらづ市民の80年」3月25日～5月7日（開館38日間）2,618人

	会場：第4・5展示室 ・企画展「ドキドキわくわく動物ワールド」 7月15日～8月31日（開館41日間）1,340人 会場：第6展示室 ・特別展「奈良へのまなざし～馬来田から望陀へ～」 11月1日～12月10日（開館35日間）1,221人 会場：第4・5展示室 ギャラリートーク 11/12午前3人 午後14人 講演会：講師 明治大学名誉教授 吉村武彦 11月25日開催 参加者92人 ・企画展「郷土玩具でお正月」12月19日～1月14日（年内開館8日間）135人 令和6年へ継続展示 会場：第6展示室 ・企画展「令和5年度出土遺物公開事業 巡回展「流山市新市街地地区の遺跡展」大地より出でし先人の足跡 1月20日～2月25日 会場：第4・5展示室 ワークショップ「古墳時代の造形を学ぼう」 1月27日 講師2名、参加者4名 ギャラリートーク 2月10日 41人(3回)、2月24日 14人(2回) ・企画展「古墳時代の 謎の木の道具たち」3月5日～5月6日（開館53日）3,630人 説明会 4月21日 27人
6	・ミニ企画展「変化朝顔」7月19日～8月20日（開館30日）941人

3. 調査活動

文化財調査

R5年度：奈良文化財研究所の協力を得て、奈良県で出土した木更津関係木簡資料の複製・復元品を作成した。市外個人所蔵郷土資料1箇所の調査を実施した。また市民ボランティア等と協力して金鈴塚古墳出土品の写真撮影を10日間実施した。

R6年度：ミュージアムサポーターと協力して、写真パネルの整理及び台帳作成を実施した。また、市内個人所蔵郷土資料1箇所、市内社寺所蔵資料2箇所の調査を実施した。

4. 管理

資料管理

・**収蔵資料管理** R5年度：本館2階図書整理を実施した。

R6年度：本館2階倉庫整理を実施した。

・**寄贈資料の受入**：申請のあった資料を検討の上、適宜受入を実施。

R5年度：市内個人1：富来田地区幼稚園関係資料 市外個人1：旧請西藩関係万里小路関係資料
市内小学校1：武器（銃刀） 市内個人1：貝塚出土土器等考古資料
市内個人2：ひな人形・結納品等民俗資料

R6年度：市内個人1：版本 市内個人1：鎗 県外個人1：写真帳ほか昭和10年代軍事関係資料

市内個人1：水利関係文書 市内個人1：市内旧家所蔵資料

市内寺院1：曼荼羅 市内個人1：戦争関係資料 市外採集資料1：貝塚出土資料

・**寄託資料の受入**： R5・6年度：なし

環境管理

R5年度：館外からの資料受入等には、適宜、文化財用殺虫剤による資料の保全および仮保管時のカビ類拡散防止のため資料密封処理、アルコール室内噴霧を行った。

R6年度：館内温湿度計の校正や捕虫トラップを用いた環境調査を実施し、危険因子となる箇所の館内共有を図った。

建物管理

R5年度：旧安西家住宅放水銃用消火ポンプ改修工事を実施。R6年度末の完成予定で本館エレベーター改修工事の予算措置を営繕課が主管となり実施した。市指定文化財旧安西家住宅床格子補修（11/19～11/20）。

R6年度：博物館エレベーター改修工事中。また、新収蔵庫天井の雨漏りにより屋根を修理した。自衛消防訓練を実施し、職員全員で設備の確認をした。

5. 教育普及活動

（1）博学等連携事業

- ・ **博物館実習受け入れ**：R5年度は3大学4名（8/22～8/31）、R6年度は6大学6名（8/20～8/25）を受け入れた。
- ・ **職場体験受け入れ**：R5年度は市外高等学校2年生1名（8/2・8/3）、市外中学校2年生1名（8/4）をR6年度は市内中学校1校2年生2名（9/19）を受け入れた。
- ・ **講師派遣**：郷土に関する講義をはじめ、博物館や博物館の業務について学ぶ講義を実施した。なお、R5・6年度は、職員体制により派遣の要望に十分な対応ができず実績は減少した。（詳細は別表参照）

R5年度：市内小中学校を対象とした館長出前講座を開講した。

市内公民館1回、市内小学校4回、市外博物館1回

R6年度：市内公民館1回、市内高等学校1回、市内小学校1回

- ・ **学校等見学等受入**：小学校を中心に、昔のくらし・社会科見学を主として体験学習等を受け入れた。小学校の昔のくらし体験学習では、「きさらづ文化財ガイドボランティアの会」の協力などにより、石臼による黄粉作り、いろり等の体験を行った。

R5年度：市内小学校16校 市外高校1校 市内外大学各1校 公民館8館（市内7館、市外1館）

R6年度：13校（小学校：市内13校） 公民館4館（市内1館、市外3館） 他10団体

（2）資料貸出等

R5年度：特別利用（熟覧・撮影等）19件/計30点 貸出3件/計45点 借用8件/77点

貸出先 国立歴史民俗博物館（常設展示：重要文化財千葉県金鈴塚古墳出土品関係資料）

福岡県立九州歴史資料館（重要文化財千葉県金鈴塚古墳出土品関係資料）

公益財団法人千葉県教育振興財団（上ノ山遺跡出土資料）

借用先 企画展：木更津市立図書館（木更津港平面図ほか） 木更津第一小学校（国民

学校日誌)

特別展：市川考古博物館（下総国分総尼寺瓦他） 和洋女子大学文化資料館（三彩小壺他） 袖ヶ浦市郷土博物館（永吉台遺跡群ほか 墨書土器ほか）
市原歴史博物館（上総国分寺瓦） 個人（上総大寺廃寺瓦）

ミニ展示：三康図書館（源氏物語関係書籍）

R6年度：特別利用（熟覧・撮影等）22件/計128点 貸出7件/計45点 借用3件/26点

貸出先 国立歴史民俗博物館（常設展示：重要文化財千葉県金鈴塚古墳出土品関係資料）
千葉県立中央博物館（茂原市矢部華経氏作絵馬・稻荷神社経木絵馬・墨書板・千葉県立上総博物館展覧会図録）、袖ヶ浦市郷土博物館（松面古墳・鶴ヶ岡1号墳出土資料・県指定文化財高部30号墳・32号墳出土品）、君津市立久留里城址資料館（市指定文化財上総鋳物師大野家関係資料・市指定文化財小倉家文書・歌川豊國浮世絵・南総里見八犬伝ほか）、木更津市文化課（館内書籍）、公益財団法人千葉県教育振興財団（笹子城水晶五重塔・市指定文化財中越遺跡出土小銅鐸附石製舌）、横浜都市発展記念館（昭和丸材料見積・機関船模型）

借用先 京都府埋蔵文化財調査センター（石本遺跡修羅形木製品写真）、大阪府立近つ飛鳥博物館（三ツ塚古墳出土大修羅・小修羅・テコ棒出土状況写真）、木更津市文化課（松面古墳木製品ほか）

（3）X（旧 Twitter）の更新

博物館活動および地域の歴史等に関することを発信するため、X（旧 Twitter）を更新した。
フォロワー数は約 345。（1 月末日現在）

（4）講座等（詳細は別表参照）

R5年度：館長講座3回、郷土文化伝承体験講座2回、きさらづ歳時記4回、夏休み体験講座「勾玉作り教室」1回、歴史講座「金鈴塚古墳を学ぶ」5回、古文書講座8回、地域学講座木更津風土記3回、上映会1回、ミュージアムサポーター（9人）22回実施。

R6年度：郷土文化伝承体験講座1回、きさらづ歳時記3回、夏休み体験講座「勾玉作り教室」1回、古文書講座6回、地域学講座木更津風土記1回実施。

（5）旧安西家住宅利用状況 施設使用について R5年度は申請がなかった。

R6年度3回（市内半日2回、市外半日1回）

（6）その他協力事業等

R5 千葉県商工労働部観光誘致促進課主催「GOGO 房総デジタルポイントラリー」（9/2～R6年2/28）、令和5年度全国埋蔵文化財法人連絡協議会関東ブロック協議会連携事業「関東考古学フェアスタンプラリー2023」（7/23～11/27）に協力した。

R6 令和6年度全国埋蔵文化財法人連絡協議会関東ブロック協議会連携事業「関東考古学フェアスタンプラリー2024」(6/8～11/24)、「KISARAZU ORGANIC CITY FESTIVAL 2024」(11/3)に協力し、博物館の紹介やマミヤク遺跡出土子持勾玉(市指定文化財に指定(9/24))のパネル展示を行った。

6. 協議会など

郷土博物館金のすず協議会

R5年度：1回(6/15)実施。

第8期委員6名(任期：令和4年11月1日～令和6年10月31日)。

R6年度：1回(6/28)実施。

第9期委員6名(任期：令和6年11月1日～令和8年10月31日)。

君津地方公立博物館協議会 木更津市・君津市・袖ヶ浦市の公立博物館による協議会。

R5年度：理事会(5/19 11/29) 担当者会議(7/7 11/10 3/14)

研修会(12/13 1/18 2/14)

R6年度：理事会(5/17 11/19) 担当者会議(7/10 10/31) 研修会(9/11 12/25)

千葉県博物館協会 県内の博物館の団体。R5年度は役員(監事)に就任。

R5年度：総会(5/24) 研修(1/31) 災害時情報伝達訓練(3/12)

R6年度：総会(5/22)

日本博物館協会「博物館研究」の年間購読等により今日的な博物館の課題、情報を収集。

R5年度：全国博物館館長会議(7/5) 第71回全国博物館会議千葉大会(11/15～11/16)

R6年度：全国博物館館長会議(7/3)

その他 君津地方社会教育研究会

社会教育に関する問題解決等のため、君津地方4市の職員が集まり、実践および研修を重ねることで、専門的なスキルアップを図る。

7. 友の会の活動

R5年度：会員数46名 定期総会1回(書面開催) 役員会4回 会報27号発刊 サークル紹介展(11/1～12/10) 夏の朝顔展を友の会の協力を得て実施した。

R6年度：会員数45名 定期総会1回 役員会4回 移動研修1回 会報28号発刊 サークル紹介展(11/17)

8. きさらづ文化財ガイドボランティアの会への委託

旧安西家住宅への来館者に対する解説等を委託した。また、旧安西家住宅へ来館した小学3年生の昔のくらし体験学習を受け入れた。

R5年度：活動303日間 来館者2,360人 ガイド延べ930人

定期総会1回(書面開催) 役員会5回

R6年度：活動231日間 来館者4,202人 ガイド延べ744人

定期総会 1 回（書面開催） 役員会 3 回

※会員の高齢化に伴い、令和 5・6 年度は活動時間を午前のみ実施。

9. 入館者の推移（単位：人）

年度	利用者 総 数	観覧者 総 数	中学生 以 下	一般	65 歳 以 上	※1 その他	主催事業 等参加者	開館 日数
5	10,653	8,689	2,209	3,809	1,924	747	1,964	※2 303 日
6	9,758	8,250	1,257	3,705	1,668	798	1,508	※2 231 日

※1 その他とは高校生・大学生など。

※2 旧安西家住宅開館日数。

※3 令和 6 年度は 12 月 31 日までの統計。

令和 5 年は特別展等準備・撤収などの臨時休館のため本館開館日数 270 日。

令和 6 年は企画展準備・撤収などの臨時休館のため本館開館日数 227 日。

別表 5. 教育普及活動 (4) 講座など(敬称略)

○ 令和5年度

郷土文化伝承体験講座

月	日	曜日	会場	タイトル	講師	参加者
12	23	土	多目的室	正月飾り作り教室	大鹿幸恵・尾崎進・重城弘毅・寺原進	12
2	23	金・祝	市指定文化財「旧安西家住宅」	西上総の味噌作り教室	大鹿幸恵・佐伯信子・沼田静代	23

きさらづ歳時記

月	日	曜日	～	月	日	曜日	会場	タイトル	内容	参加者
4	22	土	～	5	7	日	旧安西家住宅	旧安西家住宅の端午の節句	鯉のぼり飾り付け	164
7	1	土	～	7	9	日	旧安西家住宅	旧安西家住宅の七夕	七夕飾り	181
9	26	火	～	10	1	日	旧安西家住宅	旧安西家住宅の十五夜	お月見	38
2	14	水	～	3	5	火	旧安西家住宅	旧安西家住宅の雛飾り	雛人形の飾り付け	197

夏休み体験講座

月	日	曜日	会場	タイトル	講師	参加者
8	26	土	多目的室	勾玉作り教室	博物館実習生	10

歴史講座

月	日	曜日	会場	タイトル	講師	参加者
6	17	土	多目的室	金鈴塚古墳を学ぶ 講義	金鈴塚古墳出土副葬品 装飾付大刀① 安藤	31
7	15	土	多目的室	金鈴塚古墳を学ぶ 講義	金鈴塚古墳出土副葬品 装飾付大刀② 安藤	26
8	19	土	多目的室	金鈴塚古墳を学ぶ 講義	金鈴塚古墳出土副葬品 装飾付大刀③ 安藤	26
9	16	土	多目的室	金鈴塚古墳を学ぶ 講義	金鈴塚古墳出土副葬品 装飾付大刀④ 安藤	26
10	21	土	多目的室	金鈴塚古墳を学ぶ 講義	金鈴塚古墳出土副葬品 装飾付大刀⑤ 安藤	29

地域学講座木更津風土記

月	日	曜日	会場	タイトル	内容	テーマ	講師	参加者
7	30	日	多目的室	木更津風土記	講義	「比べてみよう！シカ・イノシシ」	樋泉岳二	25
1	6	土	多目的室	木更津風土記	講義	「古典のなかの「東国」-伊勢物語から源氏物語へ-」	高橋麻織	35
1	14	日	多目的室	木更津風土記	講義	「古典のなかの「東国」」上映会	—	7

講師派遣

月	日	曜日	会場	タイトル等	参加者
5	20	土	岩根公民館地域	「てくてく木更津わくわく散歩」江戸道と岩根のお堂巡り	17
6	22	木	中郷小学校	出前授業 夢をかなえる場所はどこ？	30
7	6	木	畑沢小学校	出前授業 考古学者を目指した経緯や夢が実現するまでの体験等について	108
9	20	水	岩根小学校	出前授業 考古学者を目指した経緯や夢が実現するまでの体験等について	49
11	23	木	千葉市生涯学習センター	令和5年度加曽利塚博物館・市原歴史博物館連携講座 お祈りの系譜	23
2	29	木	西清川公民館	長須賀古墳群と金鈴塚古墳について	13

動画鑑賞

月	日	曜日	会場	タイトル	内容	テーマ	講師	参加者
9	24	日	多目的室	動画鑑賞	動画上映	「卑弥呼の見た星空をみよう」	館長	17

移動教室

月	日	曜日	会場	行き先	参加者
3	9	土	南房総から木更津をみる～彫刻師の繋がり～	日本寺、船越鉦切神社・海南鉦切神社・鶴岡八幡宮	30

古文書講座

月	日	曜日	会場	テーマ		講師	参加者
7	22	土	多目的室	古文書講座 入門編	實形裕介(県文書館嘱託)	市史編集委員	11
8	19	土	多目的室	古文書講座 入門編	實形裕介(県文書館嘱託)	市史編集委員	10
9	16	土	多目的室	古文書講座 初級編	實形裕介(県文書館嘱託)	市史編集委員	17
10	7	土	多目的室	古文書講座 初級編	實形裕介(県文書館嘱託)	市史編集委員	16
11	4	土	多目的室	古文書講座 初級編	實形裕介(県文書館嘱託)	市史編集委員	14
12	16	土	多目的室	古文書講座 中級編	實形裕介(県文書館嘱託)	市史編集委員	8
1	20	土	多目的室	古文書講座 中級編	實形裕介(県文書館嘱託)	市史編集委員	6
2	17	土	多目的室	古文書講座 中級編	實形裕介(県文書館嘱託)	市史編集委員	6

館長講座

月	日	曜日	会場	テーマ	講師	参加者
11	18	土	多目的室	地域における博物館の役割	館長	11
12	10	日	多目的室	博物館における学芸員のお仕事	館長	7
2	4	日	多目的室	「中近世の交通マナー」	近江俊秀	38

ミュージアムサポーターの活動記録

月	日	曜日	会場	テーマ	担当	参加者
7	29	土	多目的室	養成講座「ミュージアムサポーターの役割 1」	館長・稲木	8
8	12	土	多目的室	個別指導・勉強会	館長	4
8	27	日	多目的室	養成講座「ミュージアムサポーターの役割 2」	館長	5
9	16	土	多目的室	個別指導・勉強会	館長	3
9	24	日	多目的室	個別指導・勉強会	館長	4
9	30	土	多目的室	特別展チラシ発送準備	館長	1
10	1	日	多目的室	特別展チラシ発送準備	館長	2
10	15	日	多目的室	展示の手伝い・補助	館長	2
10	21	土	多目的室	歴史講座の受付	館長	3
11	3	金	多目的室	動画撮影	館長	5
11	5	日	多目的室	動画撮影	館長	1
11	12	日	多目的室	展示資料の整理・確認	館長・稲木	1
11	18	土	多目的室	館長講座の受付	館長	4
11	25	土	多目的室	特別展記念講演の受付	稲木	1
11	26	日	多目的室	個別指導・勉強会	館長	3
12	10	日	多目的室	館長講座の受付	館長	4
1	6	土	多目的室	3/17発表会準備、講演会受付	館長	5
1	13	土	多目的室	勉強会	館長	3
2	18	火	多目的室	勉強会	館長	2
2	25	日	多目的室	勉強会	館長	2
3	3	日	多目的室	勉強会	館長	1
3	17	日	多目的室	ミュージアムサポーター発表会	館長	24

○ 令和6年度(12月末まで)

郷土文化伝承体験講座

月	日	曜日	会場	タイトル	講師	参加者
12	21	土	多目的室	正月飾り作り教室	尾崎進・重城弘毅	15

夏休み体験講座

月	日	曜日	会場	タイトル	講師	参加者
8	24	土	多目的室	勾玉作り教室	博物館実習生	7

きさらづ歳時記

月	日	曜日	～	月	日	曜日	会場	タイトル	内容	参加者
4	26	金	～	5	6	月・振	旧安西家住宅	旧安西家住宅の端午の節句	鯉のぼり飾り付け	253
7	2	火	～	7	7	日	旧安西家住宅	旧安西家住宅の七夕	七夕飾り	48
9	10	火	～	9	16	月・祝	旧安西家住宅	旧安西家住宅の十五夜	お月見	113

地域学講座木更津風土記

月	日	曜日	会場	タイトル	内容	テーマ	講師	参加者
11	30	土	多目的室	木更津風土記	講義	「平安時代」とはどのような時代か ー物語・仮名日記はなぜ書かれたのか？ー	東館紹見	35

講師派遣

月	日	曜日	会場	タイトル等	参加者
9	17	火	岩根公民館	「江戸幕府の終焉と木更津」	22
12	11	水	千葉県立木更津高等学校	スーパーサイエンスハイスクール(SSH)連携講座「木更津開拓ラポ」学芸員の業務紹介	13

古文書講座

月	日	曜日	会場	タイトル	講師	参加者
7	21	日	多目的室	古文書講座 入門編	鈴木凜 千葉経済大学地域経済博物館学芸員	20
8	18	日	多目的室	古文書講座 入門編	鈴木凜 千葉経済大学地域経済博物館学芸員	19
9	16	月・祝	多目的室	古文書講座 初級編	鈴木凜 千葉経済大学地域経済博物館学芸員	24
10	20	日	多目的室	古文書講座 初級編	鈴木凜 千葉経済大学地域経済博物館学芸員	24
11	24	日	多目的室	古文書講座 中級編	鈴木凜 千葉経済大学地域経済博物館学芸員	17
12	15	日	多目的室	古文書講座 中級編	鈴木凜 千葉経済大学地域経済博物館学芸員	17

ミュージアムサポーターの活動記録

月	日	曜日	会場	テーマ	担当	参加者
5	19	日	多目的室	協議「ミュージアムサポーターの今後の活動について」	館長・副館長・依田	5
9	12	木	倉庫ほか	写真パネルの整理	館長	1
10	11	金	倉庫ほか	写真パネルの整理	副館長・依田	1
10	25	金	倉庫ほか	写真パネルの整理	依田	1
11	3	日	鳥居崎海浜公園	オーガニックシティフェスティバル出展補助	副館長・依田	2
11	17	日	多目的室	友の会サークル展の見学・補助	館長・副館長	4
11	30	土	多目的室	講演会開催協力	館長	1

青少年指導関係

1. 活動方針

家庭、地域、学校、警察署や内房地区少年センター、南房総教育事務所生徒指導班、児童相談所等の関係機関との連携を密に、青少年の非行を防止し、健全育成を図る。

2. 業務内容

(1) 相談活動

①来所相談、電話相談、メール相談等の充実に努める。

相談受理件数（令和6年12月31日現在）

来所相談	電話相談	メール相談	合計
11件	52件	21件	84件

②関係諸機関との連携を密に、効果的な支援に努める。

(2) 街頭指導

①計画指導 青色灯装着車による街頭パトロールを週1回以上実施する。

②地区指導 青少年補導員による街頭指導を中学校区毎に実施する。

③特別指導 関係諸機関・諸団体と連携し、駅周辺指導及び花火大会終了後のパトロール等、特別街頭指導を実施する。

実施状況 (令和6年12月31日現在)	実施回数(回)	延従事者(名)	指導少年数(名)
計画指導	15	30	0
地区指導	112	301	0
特別指導(花火・駅周辺)	2	33	0
合 計	129	364	0

(3) 安心して安全にインターネット環境を利用するため

①インターネットリテラシーの向上を目指した啓発活動等の実施。

②県の実施するネットパトロールと連携し、適切な指導・支援を行う。

(4) 関係機関・団体との連携

①学校、警察、児童相談所等との協力体制の推進強化を図る。

②各種連絡会議との連携を図る。

(5) 啓発活動

①青少年健全育成のための広報紙等を定期的に発行する。

②未成年による飲酒・喫煙、薬物乱用等の防止に関する啓発活動を行う。

(6) 青少年指導関係運営協議会

青少年の健全な育成及び非行の防止を支援するために、関係行政・教育機関及び団体の代表で構成される青少年指導関係運営協議会を設置している。

委員は市長が委嘱し、任期2年、定数15名以内と定められている。(現員数14名)

(7) 青少年補導員

青少年補導員は、地域における非行状況の情報連絡をするとともに、自主的組織の青少年補導員連絡協議会を組織し、地区活動を中心に主たる業務である街頭補導に従事するほか、地域環境浄化活動にも積極的に従事している。

青少年補導員は、市長が委嘱し、任期2年、定数100名以内と定められている。

(現員数68名 令和7年1月1日現在)

7. 資 料

歴代教育委員及び教育長

年度	教 育 委 員			
	委 員 長	委 員 長 職務代理者	委 員	教 育 長
S 27	大日方惟信	浜名 儀三	加藤 儀助 ・ 梶 良一 ・ 加藤 議祐	斉藤 善治 (助役事務取扱)
28	浜名 儀三	梶 良一	加藤 儀助 ・ 大日方惟信 ・ 伊藤 誠	東條 繁樹
29	浜名 儀三	梶 良一	加藤 儀助 ・ 大日方惟信 ・ 伊藤 誠 平野千之助	東條 繁樹
30	梶 良一	加藤 儀助	浜名 儀三 ・ 大日方惟信 ・ 伊藤 誠 平野千之助 ・ 伊藤 正雄 ・ 渡辺 庄司	東條 繁樹
31	末吉 弥吉	加藤 儀助	内藤 津多 ・ 渡辺 庄司	小山 義雄
32	末吉 弥吉	加藤 儀助	内藤 津多 ・ 鳩飼 茂	小山 義雄
33	末吉 弥吉	加藤 儀助	内藤 津多 ・ 鳩飼 茂	小山 義雄
34	末吉 弥吉	鳩飼 茂	内藤 津多 ・ 堀切 友雄	小山 義雄
35	鳩飼 茂	堀切 友雄	内藤 津多 ・ 末吉 弥吉	小山 義雄
36	堀切 友雄	内藤 津多	安西 忠蔵 ・ 末吉 弥吉	小山 義雄
37	堀切 友雄	安西 忠蔵	内藤 津多 ・ 末吉 弥吉 ・ 大日方雄三	小山 義雄
38	堀切 友雄	安西 忠蔵	内藤 津多 ・ 大日方雄三	小山 義雄
39	堀切 友雄	安西 忠蔵	内藤 津多 ・ 大日方雄三	小山 義雄
40	堀切 友雄	内藤 津多	市川 舜蔵 ・ 大日方雄三	小山 義雄
41	堀切 友雄	内藤 津多	市川 舜蔵 ・ 大日方雄三	小山 義雄
42	堀切 友雄	内藤 津多	市川 舜蔵 ・ 大日方雄三	小山 義雄
43	堀切 友雄	内藤 津多	市川 舜蔵 ・ 大日方雄三	小山 義雄
44	堀切 友雄	内藤 津多	市川 舜蔵 ・ 大日方雄三 ・ 榎本 武雄	小山 義雄
45	堀切 友雄	内藤 津多	市川 舜蔵 ・ 榎本 武雄	小山 義雄
46	堀切 友雄	内藤 津多	市川 舜蔵 ・ 榎本 武雄	小山 義雄
47	堀切 友雄	内藤 津多	市川 舜蔵 ・ 榎本 武雄	小山 義雄
48	堀切 友雄	内藤 津多	市川 舜蔵 ・ 榎本 武雄 ・ 中村 武雄	小山 義雄
49	堀切 友雄	内藤 津多 榎本 武雄	中村 武雄 ・ 高橋 裕吉	小山 義雄
50	堀切 友雄 榎本 武雄	佐久間重男	中村 武雄 ・ 高橋 裕吉	小山 義雄
51	榎本 武雄	佐久間重男	中村 武雄 ・ 高橋 裕吉	小山 義雄
52	榎本 武雄	佐久間重男	中村 武雄 ・ 高橋 裕吉	小山 義雄

年度	教 育 委 員			
	委 員 長	委 員 長 職務代理者	委 員	教 育 長
S 53	榎本 武雄	佐久間重男	中村 武雄 ・ 高橋 裕吉	小山 義雄
54	榎本 武雄	佐久間重男	中村 武雄 ・ 高橋 裕吉	小山 義雄
55	榎本 武雄 佐久間重男	佐久間重男 高橋 裕吉	高橋 裕吉 ・ 中村 武雄 ・ 鈴木 達也	小山 義雄 原 保
56	佐久間重男	高橋 裕吉	中村 武雄 ・ 鈴木 達也 ・ 鹿間 敏夫	原 保
57	佐久間重男	高橋 裕吉	鈴木 達也 ・ 鹿間 敏夫	原 保
58	佐久間重男	高橋 裕吉	鈴木 達也 ・ 鹿間 敏夫	原 保
59	佐久間重男	高橋 裕吉	鈴木 達也 ・ 鹿間 敏夫	原 保 栗林 信夫
60	佐久間重男	高橋 裕吉	鈴木 達也 ・ 鹿間 敏夫	栗林 信夫
61	佐久間重男	高橋 裕吉	鈴木 達也 ・ 鹿間 敏夫	栗林 信夫
62	佐久間重男 高橋 裕吉	高橋 裕吉 鈴木 達也	鈴木 達也 ・ 鹿間 敏夫 ・ 高橋 せい	栗林 信夫
63	高橋 裕吉	鈴木 達也 鹿間 敏夫	鹿間 敏夫 ・ 高橋 せい ・ 白石 英夫	栗林 信夫
H 1	高橋 裕吉	鹿間 敏夫	高橋 せい ・ 白石 英夫	栗林 信夫
2	高橋 裕吉 高橋 せい	鹿間 敏夫	高橋 せい ・ 白石 英夫 ・ 山本 恭雄	栗林 信夫
3	高橋 せい	鹿間 敏夫	白石 英夫 ・ 山本 恭雄	栗林 信夫
4	高橋 せい	鹿間 敏夫	白石 英夫 ・ 山本 恭雄	栗林 信夫
5	高橋 せい 鹿間 敏夫	鹿間 敏夫 白石 英夫	高橋 せい ・ 山本 恭雄	栗林 信夫
6	鹿間 敏夫	白石 英夫	高橋 せい ・ 山本 恭雄	栗林 信夫
7	鹿間 敏夫	白石 英夫	高橋 せい ・ 山本 恭雄 ・ 石川 茂子	栗林 信夫
8	鹿間 敏夫	白石 英夫 石川 茂子	杉井 和夫 ・ 橘田 昭雄	栗林 信夫 西村 堯
9	鹿間 敏夫 杉井 和夫	杉井 和夫 橘田 昭雄	橘田 昭雄 ・ 石川 茂子 ・ 石井 利枝	西村 堯
10	杉井 和夫	橘田 昭雄	大日方惟忠 ・ 石井 利枝	西村 堯
11	杉井 和夫	橘田 昭雄	大日方惟忠 ・ 石井 利枝 ・ 井原 一恵	西村 堯
12	杉井 和夫 橘田 昭雄	橘田 昭雄 大日方惟忠	大日方惟忠 ・ 井原 一恵 ・ 青木 和義	西村 堯
13	橘田 昭雄	大日方惟忠	井原 一恵 ・ 青木 和義	西村 堯
14	橘田 昭雄	大日方惟忠	井原 一恵 ・ 青木 和義	西村 堯
15	橘田 昭雄	大日方惟忠	井原 一恵 ・ 青木 和義 ・ 清崎 光恵	西村 堯
16	橘田 昭雄 青木 和義	大日方惟忠	青木 和義 ・ 清崎 光恵 ・ 石井 英美	西村 堯 初谷 幹夫

年度	教 育 委 員			
	委 員 長	委 員 長 職務代理者	委 員	教 育 長
H 17	青木 和義	大日方惟忠	清崎 光恵 ・ 石井 英美	初谷 幹夫
18	青木 和義	大日方惟忠	清崎 光恵 ・ 石井 英美	初谷 幹夫
19	青木 和義	大日方惟忠	清崎 光恵 ・ 石井 英美	初谷 幹夫
20	青木 和義 石井 英美	大日方惟忠 清崎 光恵	清崎 光恵 ・ 石井 英美 大日方惟忠 ・ 青木 和義	初谷 幹夫
21	石井 英美	清崎 光恵	大日方惟忠 ・ 青木 和義 ・ 武井 紀夫	初谷 幹夫
22	石井 英美	清崎 光恵	青木 和義 ・ 武井 紀夫 ・ 長谷部理絵	初谷 幹夫
23	石井 英美	清崎 光恵 長谷部理絵	武井 紀夫 ・ 長谷部理絵 ・ 吉田 一雄	初谷 幹夫
24	石井 英美	長谷部理絵	武井 紀夫 ・ 吉田 一雄	初谷 幹夫
25	石井 英美	長谷部理絵	武井 紀夫 ・ 吉田 一雄	初谷 幹夫
26	石井 英美	長谷部理絵	武井 紀夫 ・ 吉田 一雄	初谷 幹夫
27	—	石井 英美	武井 紀夫 ・ 吉田 一雄 ・ 長谷部理絵	高澤 茂夫
28	—	武井 紀夫	吉田 一雄 ・ 長谷部理絵 ・ 渡部 佳子	高澤 茂夫
29	—	武井 紀夫	吉田 一雄 ・ 長谷部理絵 ・ 渡部 佳子	高澤 茂夫
30	—	武井 紀夫	吉田 一雄 ・ 渡部 佳子 ・ 豊田 雅之	高澤 茂夫
31 (R1)	—	武井 紀夫	渡部 佳子 ・ 豊田 雅之 ・ 井上 美鈴	高澤 茂夫
R2	—	武井 紀夫	渡部 佳子 ・ 豊田 雅之 ・ 井上 美鈴	高澤 茂夫
R3	—	武井 紀夫 渡部 佳子	豊田 雅之 ・ 井上 美鈴 ・ 小寺孝治郎	廣部 昌弘
R4	—	渡部 佳子	豊田 雅之 ・ 小寺孝治郎 ・ 加藤 緑	廣部 昌弘
R5	—	渡部 佳子	豊田 雅之 ・ 小寺孝治郎 ・ 中島 緑	廣部 昌弘
R6	—	渡部 佳子	豊田 雅之 ・ 小寺孝治郎 ・ 中島 緑	廣部 昌弘

教育功勞被表彰者一覽

年度	氏 名（団 体 名）
S 28	山崎 直 ・ 榎本 武治 ・ 時田 新蔵 ・ 中村 平吉 ・ 石渡健三郎 ・ 堀切 友雄 ・ 君塚 嘉夫 ・ 佐久間重男 ・ 栗原 金司
29	石井 幹夫 ・ 小熊 君子 ・ 三枝 重蔵 ・ 市川 清茂 ・ 高橋 卓一 ・ 河田 陽 ・ 藤倉 信雄
30	近藤 音松 ・ 松本菊治郎 ・ 鈴木 和子 ・ 安田 静一 ・ 小野 秀三 ・ 藤倉 信雄 ・ 望月 湊 ・ 嶋田 廣吉
31	浅井 泰治 ・ 内海 茂 ・ 飯塚 しづ ・ 浪久 丈雄 ・ 榎本 武雄 ・ 細井子之助 ・ 林 好雄
32	宮本 寿吉 ・ 古屋 昇 ・ 篠崎 弘 ・ 服部 てい ・ 藤倉 かね ・ 山田 金吾 ・ 若鍋千代吉 ・ 山崎 ふさ
33	北見 日吉 ・ 大日方雄三 ・ 竹内 隆 ・ 白木 光郎 ・ 内藤百合子
34	杉山 聞多 ・ 平野 要 ・ 鈴木 康夫 ・ 鈴木利三郎 ・ 神子 仁明 ・ 飯塚 信明
35	鈴木 保 ・ 山田 千鶴 ・ 佐藤 富士 ・ 石渡 真一 ・ 黒田 清 ・ 鈴木 一平 ・ 松 美佐雄 ・ 植松 仁子 ・ 泉水 潔 ・ （点字奉仕会）
36	花崎農夫寿 ・ 古藤田茂雄 ・ 内木 みち ・ 山田精五郎 ・ 三沢 英夫 ・ 北見 定吉 ・ 鈴木 静夫 ・ （西上総文化会木更津支部）
37	大日方惟信 ・ 藤代善次郎 ・ 唯野 寿雄 ・ 北村つめよ ・ 多田 一夫 ・ 神頭 千代 ・ 根本 安代 ・ 石川 寛 ・ 伊藤 俊栄
38	竹内正太郎 ・ 高橋 まつ ・ 青柳 三郎 ・ 鳥海ゆき江 ・ 高橋 せい ・ 細野 鹿蔵 ・ 在原 定雄 ・ 柴崎 みつ
39	畑野 敏 ・ 三枝 正夫 ・ 細井 美和 ・ 山口 祐正 ・ 伊草 光次 ・ 桐谷 清 ・ 林 英樹
40	栗原 正美 ・ 関口 清二 ・ 斉藤 新蔵 ・ 磯辺 快子 ・ 桑田 馨二 ・ 梶川 環 ・ 山本 恭雄
41	田村 きよ ・ 小倉 重成 ・ 青木 秀 ・ 内藤賀寿夫 ・ 関口 義雄 ・ 小島 寿子 ・ （武道連盟）
42	田村 芳美 ・ 岩瀬 すみ ・ 落合 均 ・ 杉浦 和平 ・ 安田 智堂 ・ 高橋 省己 ・ 千代倉 胖
43	竹内金兵衛 ・ 渡辺 達雄 ・ 本多 光子 ・ 斉藤 藤江 ・ 森 美代子 ・ 本吉 雄吉 ・ 高木 茂男
44	吉川 金一 ・ 根本 隆之 ・ 鶴岡 清子 ・ 高崎 繁雄 ・ 秋楽 幸子 ・ 嶋野 一雄 ・ 鈴木 安雄
45	積田 博 ・ 佐藤美代子 ・ 重田 まさ ・ 榎本 功 ・ 鈴木 文子 ・ 鈴木 重雄 ・ 赤川 徹男
46	若林 隆 ・ 安西 輝子 ・ 小梶 和子 ・ 八剣 澄子 ・ 村上 香 ・ 田村きみ江 ・ 山口 健一
47	原 保 ・ 和田 裕之 ・ 武長 瑾英 ・ 刈込 淑子 ・ 相沢 雪 ・ 飯田 哲夫 ・ 石井 堅一 ・ 宇野 六夫 ・ 守 智雄 ・ 勝呂 国利 ・ 羽瀬 玲子
48	石橋 郁夫 ・ 分目 茂 ・ 石井 富子 ・ 大久保 進 ・ 小林 きく ・ 渡辺 和彦 ・ 横須賀 孝
49	前田 弘次 ・ 近藤 禮治 ・ 磯貝 ツヤ ・ 森本 俊 ・ 小林 いつ ・ 国分 貞子 ・ 西山 六郎
50	大河原三夫 ・ 平野 勉 ・ 平戸 襄 ・ 立石智恵子 ・ 高橋 巴子 ・ 鳥飼 誠 ・ 手島 宏晴 ・ 小原 三郎 ・ 楠田伝次郎
51	石川 俊夫 ・ 榎沢 竹夫 ・ 磯崎 愛子 ・ 水野 章男 ・ 下室 高治 ・ 安達 武夫 ・ 大岩 徳 ・ 川名寿美恵 ・ 曾根 和男
52	柳瀬 秀雄 ・ 白石 三郎 ・ 筑紫 栄徳 ・ 荒居善次郎 ・ 鶴岡 つね ・ 池田 幹男 ・ 庄司 邦夫 ・ 鈴木 健之 ・ 佐久間さく
53	天羽 隆雄 ・ 浅井 昭 ・ 相川 良二 ・ 三枝 園子 ・ 山口 敏子 ・ 鈴木 恒子 ・ 小籠 定長 ・ 鈴木 音彌 ・ 花輪 正好

年度	氏 名 (団 体 名)
S 54	齋藤武次郎 ・ 田浦壽太郎 ・ 藤里 玲子 ・ 景山喜久子 ・ 斉藤 誠 ・ 山口 栄治 ・ 吉川智恵子 ・ 福島 健次 ・ 鳥飼明二郎
55	片山 好實 ・ 鈴木 騎兵 ・ 安田 敬 ・ 林 秀雄 ・ 牛島登志子 ・ 土屋 清子 ・ 石川 明 ・ 庄司 肇
56	重田 吉彦 ・ 渡辺 敏夫 ・ 中島 京 ・ 桑田 芳枝 ・ 萱野 敏彦 ・ 井上 亮三 ・ 辻田 昇 ・ 八剣 昭雄
57	谷萩 武雄 ・ 青柳 文夫 ・ 榎本しづえ ・ 早田 芳子 ・ 瀬戸 正嗣 ・ 森山 弘大 ・ 渡辺 弘己 ・ 稲垣 新清 ・ 大溝 晴史 ・ 重城 良造
58	増田 治男 ・ 刈込 仁 ・ 嶋田伊富子 ・ 鈴木 恵子 ・ 松本 祐子 ・ 東 秀和 ・ 館脇 きよ ・ 山田 弘 ・ 富澤 一枝
59	山口 清次 ・ 竹内 秀夫 ・ 安田 祿彌 ・ 小林 セツ ・ 和地 妙子 ・ 市東 良子 ・ 安藤 小平 ・ 伊藤 満
60	大沢 雅一 ・ 星野 享永 ・ 渡辺 博 ・ 尾棹 正夫 ・ 鈴木 郁夫 ・ 曾根美代子 ・ 藤寄百合子 ・ 山本 茂子 ・ 白石 博 裕
61	鈴木 隆 ・ 萩原 一郎 ・ 三枝 公一 ・ 高橋 君子 ・ 八剣 茂 ・ 富澤 義夫 ・ 渡辺 朱美 ・ 山本 良治 ・ 吉田 明
62	石渡 三郎 ・ 山田 重昭 ・ 藤里 公一 ・ 細谷 竹松 ・ 和地 恵實 ・ 山口 かの ・ 安藤 はま ・ 篠辺 正和 ・ 塩塚 重雄 ・ 大野 進
63	郷津 信賢 ・ 鈴木 泰明 ・ 山口 満夫 ・ 花澤 重男 ・ 山口 義雄 ・ 鈴木 昇 ・ 小川 弘子 ・ 古宮 玲子 ・ 川口 純 ・ 関 正輪
H 1	重田 勲 ・ 米澤 安夫 ・ 曾根 英範 ・ 岡田 良平 ・ 岸 守 ・ 松永 和夫 ・ 鈴木 久子 ・ 地曳 岩夫 ・ 高木 厚行 ・ 壇谷 洋
2	榎本 秀夫 ・ 須藤 英夫 ・ 藤寄 啓好 ・ 林 務 ・ 鈴木 和郎 ・ 鈴木 敏男 ・ 箱守 和子 ・ 川本 勉 ・ 飯田厚三郎 ・ 大日方 洋 ・ 高橋 竹乃 ・ 石井美佐子 ・ 磯辺 明 ・ 和泉 禮明 ・ 飯島 咲子
3	竹内 哲也 ・ 前田 昇 ・ 牛島 新治 ・ 小川 郁夫 ・ 石渡 重彦 ・ 山田 文子 ・ 池田 昭 ・ 荻野 敬次 ・ 鳥海 郁二
4	東條 章夫 ・ 鶴野 光雄 ・ 鈴木 勝江 ・ 茂田 政睦 ・ 宇渡 明巳 ・ 高浦早智子 ・ 藤倉 貞子 ・ 武井 重雄 ・ 仲田 一 ・ 磯貝 良 ・ 影山 乾一 ・ 篠田 一恵
5	石井 恭雄 ・ 川名 伸夫 ・ 和田 公喜 ・ 宮森 文郎 ・ 柴崎 明子 ・ 能星みち子 ・ 菅野恵美子 ・ 勝呂 至孝 ・ 鈴木 寛 ・ 桑田きみ子 ・ 宮崎 祐致 ・ 石井 久喜 ・ 鳥飼 政枝
6	関口 敏夫 ・ 中山 寿弘 ・ 中村 督民 ・ 平野 勲 ・ 古谷 鉄男 ・ 羽山 豊春 ・ 谷澤那美江 ・ 庄司安兵衛 ・ 大野 英二 ・ 本吉 松博 ・ 平瀬雄二郎
7	野口 芳宏 ・ 石川仁一郎 ・ 小川 昇 ・ 鈴木 貞雄 ・ 松江 俊昭 ・ 渡辺美智子 ・ 岡庭カツ子 ・ 大塚 淳 ・ 村山 康太 ・ 伊草 文代 ・ 桐谷 新三 ・ 杉井 和夫 ・ 芳野 眞任
8	茂田 才治 ・ 福本 清治 ・ 錦織 正道 ・ 金子 馨 ・ 景山 正之 ・ 吉田 重夫 ・ 鈴木 良彰 ・ 三木美代子 ・ 磯貝 昇 ・ 今井 香樹 ・ 萱野 文雄 ・ 馬場 昭夫
9	鈴木 義明 ・ 木村 智行 ・ 能星 晃 ・ 長谷川久治 ・ 柳川 秀雄 ・ 酒井 正雄 ・ 前田 宏 ・ 鈴木 房子 ・ 小磯 利夫 ・ 赤川 宣子 ・ 岡田 正剛 ・ 高橋 一美 ・ 安部トシ子 ・ (木更津市美術連盟)
10	木田 繁 ・ 青柳 敬子 ・ 伊藤 淑江 ・ 小池 和夫 ・ 君塚 桂子 ・ 板倉美代子 ・ 安藤 智子 ・ 江野沢眞弓 ・ 鹿間 敏夫 ・ 小泉ヨシ子 ・ 石井 芳夫 ・ 瀬能 正一 ・ 榛沢 敦子 ・ (こあらの会)
11	齋藤 福一 ・ 福原 功 ・ 高橋 恵子 ・ 吉田 恵子 ・ 廣部 尚子 ・ 伊藤 三子 ・ 山田 勝巳 ・ 安達 弦太 ・ 藤井 一夫 ・ 山口 延善 ・ 石井 久子 ・ 田村 幸雄 ・ 吉野 郁子 ・ 加藤 房江 ・ 永島 貞二
12	押野見邦彦 ・ 三上 勝彦 ・ 浦部紘一郎 ・ 石呂祐一郎 ・ 平野紀美子 ・ 勝又 節子 ・ 平野 弘子 ・ 佐久間道子 ・ 安積美智子 ・ 藤井 昭夫 ・ 市川 昇 ・ 鈴木 芳則 ・ 青木 和義 ・ 網中 和子 ・ (木更津ばやし保存会)
13	飯島 公一 ・ 村松 和久 ・ 安藤 昭之 ・ 御園 信弘 ・ 須貝 和子 ・ 川名 好枝 ・ 中村 和成 ・ 大日方惟忠 ・ 佐藤 敏彦 ・ 細井系太郎 ・ 齊藤 昭平 ・ 山田 節義 ・ (木更津市子ども会育成連絡協議会)

年度	氏 名 (団 体 名)
H 14	鈴木 克彦 ・ 根本榮治郎 ・ 山口 正明 ・ 奈良輪 索 ・ 柳生 直宣 ・ 園田 陽子 ・ 松沢 廣子 ・ 宮本 紀子 ・ 鳥海 照代 ・ 鳥海ひろみ ・ 齊藤 英子 ・ 水野 信義 ・ 飛澤 彰 ・ 筑紫 敏夫
15	鴻池 敦 ・ 鵜田 憲司 ・ 横内 規明 ・ 磐井美千代 ・ 吉元 玲子 ・ 横内きよ子 ・ 石渡 宏 ・ 吉田 敬 ・ 小竹 和己 ・ 櫻井 満 ・ 吉田 光代 ・ 鈴木 克己 ・ 蘇我 芳章 ・ (木更津市体育協会) ・ (木更津市文化協会)
16	藤沢きよ子 ・ 平野 寛 ・ 勝畑 利光 ・ 磯貝 修一 ・ 大塚 典夫 ・ 川名眞木子 ・ 功刀 和子 ・ 八角 泰男 ・ 勝呂 文恵 ・ 磯貝 節子 ・ 地曳 貞二 ・ 原 初恵 ・ 廣部 一 ・ (千葉県自転車軽自動車商協同組合木更津支部)
17	林 俊之 ・ 實形勢津子 ・ 関口 一眞 ・ 高橋 博光 ・ 渡邊 啓子 ・ 露寄 信子 ・ 村野はるみ ・ 鈴木 俊子 ・ 門田 秀夫 ・ 磯貝 隆久 ・ 鈴木 敏子 ・ (岩根西地区青少年健全育成振興会) ・ (木更津新能の会)
18	長島 眞 ・ 齋藤 勇 ・ 磯崎 正利 ・ 川名 和夫 ・ 長谷川貢一 ・ 武田 敏子 ・ 上田 光代 ・ 松清 央 ・ 小関 洋男 ・ 石村 元章 ・ 島田登美夫 ・ 桑田 光正
19	磯貝 章 ・ 鈴木 健治 ・ 田村 博 ・ 平野えい子 ・ 宇野 裕子 ・ 中山 立子 ・ 長尾 幸子 ・ 綾野美登里 ・ 上田 誠治 ・ 橋爪 洋平 ・ 市東 良子 ・ 山口 一郎 ・ 鵜田 隆一 ・ 武藤 義彦
20	鈴木 順一 ・ 鎌田 実 ・ 藤森けい子 ・ 鈴木 節子 ・ 今井 裕文 ・ 古泉美根子 ・ 石井 禎一 ・ 相沢枝里子 ・ 飯田 勉 ・ 吉崎 治美 ・ 溝口五百子 ・ 筑紫 敏夫
21	小原 俊郎 ・ 内藤 健一 ・ 塩田 耕司 ・ 鈴木 正美 ・ 永嶋 博文 ・ 高橋 純子 ・ 嶋田 敏恵 ・ 山田ゆり子 ・ 鈴木喜代江 ・ 杉山 公夫 ・ 鈴木 勝也 ・ 渡辺 和彦
22	高村 直道 ・ 土井 淳治 ・ 多田 元樹 ・ 石井 春久 ・ 古閑 晃一 ・ 玉川 剛 ・ 鈴木 雄子 ・ 内海 晃 ・ 齋藤眞理子 ・ 平山 政彦 ・ 山下 博 ・ 佐々木幸生 ・ 李 程英
23	林 正巳 ・ 明石 知幸 ・ 白石 修一 ・ 多田 芳明 ・ 石井 吉明 ・ 宮城三津子 ・ 内藤 成人 ・ 柳澤 裕子 ・ 森 孝子 ・ 鈴木 克己 ・ 水野 幸子
24	栗原 正志 ・ 桐谷 和美 ・ 古泉 忠之 ・ 小尾 哲郎 ・ 齋藤 幸子 ・ 大岩 静江 ・ 長谷川文子 ・ 平野 洋子 ・ 八代 時江 ・ 宮崎 恵子 ・ (木更津市婦人会連絡協議会)
25	田口 哲郎 ・ 渡辺 正悟 ・ 高澤 茂夫 ・ 池田 武 ・ 神子 由之 ・ 堤 千枝子 ・ 鹿島 都子 ・ 佐久間 薫 ・ 久我 京子 ・ 泉水 桂子
26	小高己喜男 ・ 篠原 和行 ・ 伊東 晶一 ・ 安川 公子 ・ 荒井 幸江 ・ 加藤 則子 ・ 山本 泉 ・ 仲野 憲治 ・ 杉本 正美 ・ 山口 治彦 ・ 石井 典子 ・ 佐久間ひさい ・ 志保沢博央 ・ 山田 治子
27	石井 章 ・ 関口 明 ・ 小川 善彦 ・ 大胡 利一 ・ 萱野 弘之 ・ 伊藤 俊樹 ・ 渡邊 義明 ・ 原田 智子 ・ 岩崎 淳
28	加藤 高明 ・ 竹内 淑子 ・ 江田 欣弘 ・ 積田 一重 ・ 永嶋 偉子 ・ 上田 順次 ・ 中村 吉朗 ・ 関 和一 ・ 竹重 厚志 ・ 若海 和広 ・ 大久保尚子
29	山本 卓人 ・ 藤平 慶子 ・ 鈴木 修一 ・ 額賀 敏行 ・ 平野千津子 ・ 武田 重雄 ・ 横田由起子 ・ 宮下 育夫 ・ 小宮 邦夫 ・ 齋藤 裕子
30	米澤 雅史 ・ 積田 等 ・ 安田 正幸 ・ 佐々木洋子 ・ 桑田 清行 ・ 縄谷 尚志 ・ 宮崎 眞司 ・ 伊藤結実子 ・ 小尾みどり ・ 高品 律子 ・ 吉田 裕子 ・ 地曳 昭裕 ・ 青木美津子
31 (R1)	廣部 昌弘 ・ 佐藤 千明 ・ 田村 淳也 ・ 矢野 直明 ・ 北川 久雄 ・ 越川 茂夫 ・ 伊藤 裕美 ・ 星野志げ子 ・ 鈴木 一枝 ・ 緒形由美子 ・ 鶴岡 宗一 ・ 中澤 恵 ・ 松本 衣江 ・ (木更津ユネスコ協会)
R 2	河野 勝 ・ 前田 達哉 ・ 齊藤 毅人 ・ 藤寄 保 ・ 市原 浩 ・ 平 一晶 ・ 小峯 清茂 ・ 矢田 博幸 ・ 白石 雅子 ・ 大庭 俊哉 ・ 高梨 朋子 ・ 丸山 隆子 ・ 中村 哲 ・ 荻野 敬次 ・ (かずさジュニアオーケストラ)
3	高野 芳一 ・ 大木 昌代 ・ 小倉 敏幸 ・ 増田 一秀 ・ 大木 栄子 ・ 鵜田友美子 ・ 橘田 和子 ・ 山口 正美 ・ 水田佐恵子 ・ 藤平紀代美 ・ 内田慎一郎 ・ 石村比呂美 ・ 宮崎 敏江 ・ 大日方幸子 ・ (中島区文化財保存会)
4	篠田 薫 ・ 齋藤 雄一 ・ 西 克夫 ・ 吉沢 信之 ・ 臼井 弘子 ・ 唐鎌 勲 ・ 故窪田 宏一 ・ 根本 勝也 ・ 宮下 英子 ・ 額賀美代子 ・ 藤寄 啓子 ・ 鳥飼 栄一 ・ 石渡 恵理 ・ 入野すみ江 ・ 吉澤 隆子 ・ 藤浪 孝 ・ 天野 早苗

年度	氏 名 （ 団 体 名 ）
R 5	座間 良彦 ・ 泉澤 由和 ・ 佐藤 雅之 ・ 佐々木伸司 ・ 木村 孝雄 ・ 村田 貴史 ・ 伊東千都世 ・ 佐藤 晴美 ・ 武田 正次
6	根本 修身 ・ 福中 義宏 ・ 北岡 由佳 ・ 今井 克彦 ・ 眞戸原美津子 ・ 田中 美幸 ・ 竹内 真理 ・ 市原 靖子 ・ 江田由香利 ・ 伊東 朱美 ・ 西原 和子 ・ 渡邊由美子 ・ 西村 堯 ・ 上田 和子

市内指定等文化財一覧

令和7年1月1日現在

番号	種別	名称	現所在地	所有者	指定年月日	員数	備考
国指定	1	重要文化財 (考古資料)	千葉県金鈴塚古墳出土品	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	S34. 6. 27 R 2. 9. 30	一括 追加
	2	重要有形民俗文化財 (生産、生業に用いられるもの)	上総掘りの用具	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	S35. 6. 9 H 7. 12. 26	258点 追加
国選択	1	記録選択 (無形民俗文化財)	木更津市中島の梵天立て	中島 (神事会場は金田漁業協同組合裏の水神宮付近の海)	中島区文化財保存会	H 4. 2. 25	
国登録	1	登録文化財 (建造物)	選擇寺本堂	中央1-5-6	選擇寺	H12. 2. 15	1棟
	2	登録文化財 (建造物)	下郡郵便局旧局舎	下郡	個人所有	H16. 7. 23	1棟
	3	登録文化財 (建造物)	ヤマニ綱島商店店舗	中央2-5-9	個人所有	H23. 7. 25	1棟
県指定	1	記念物 (史跡)	金鈴塚古墳	長須賀430-1	木更津市	S25. 11. 3	251㎡
	2	有形文化財 (彫刻)	銅造阿弥陀如来立像	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木野根沢区	S29. 3. 31	1軀 寄託
	3	有形文化財 (彫刻)	木造薬師如来立像	桜井1450	東光院	S30. 12. 15	1軀
	4	有形文化財 (彫刻)	木造薬師如来坐像	請西	法人所有	S35. 6. 3	1軀
	5	有形文化財 (工芸品)	金銅孔雀文磬	請西	法人所有	S35. 6. 3	1面
	6	有形文化財 (工芸品)	金銅五鈎鈴	請西	個人所有	S35. 6. 3	1点
	7	民俗文化財 (無形民俗文化財)	木更津ばやし	中央 (旧仲片町)	木更津ばやし保存会	S38. 5. 4	
	8	有形文化財 (工芸品)	梵鐘 (長禄三年在銘)	真里谷1760	妙泉寺	S39. 4. 28	1口
	9	有形文化財 (古文書)	制札	請西	法人所有	S39. 4. 28	1枚
	10	有形文化財 (考古資料)	黄瀬戸灰釉木の葉文瓶 附 常滑不識壺	永井作1-4-66	善光寺	S40. 4. 27	各1口
	11	有形文化財 (建造物)	須賀神社本殿	祇園524	須賀神社	S54. 3. 21	1棟
	12	民俗文化財 (有形民俗文化財)	東京湾のり生産用具	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	S54. 3. 2	一括
	13	有形文化財 (古文書)	天正検地帳 (上総国望陀郡菅生庄請西之郷御縄打水帳)	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	S57. 4. 6	16冊
	14	有形文化財 (絵画)	板絵著色富士の巻狩図絵馬	長須賀2444	日枝神社	H 5. 2. 26	1面
	15	有形文化財 (考古資料)	上総大寺廃寺露盤	大寺1029	熊野神社	H13. 3. 30	1点
	16	有形文化財 (歴史資料)	至徳堂関係資料	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	H14. 3. 29 H20. 3. 18	220点 追加
	17	有形文化財 (考古資料)	高部30号墳・32号墳出土品	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	R 2. 3. 10	27点
市指定	1	記念物 (史跡)	斎藤昌麿の墓	小浜	個人所有	S39. 3. 25	1基
	2	記念物 (史跡)	鳥海酔車の墓	長須賀1668 福寿寺内	個人所有	S39. 3. 25	1基
	3	記念物 (史跡)	鋳匠大野五郎右衛門遺跡	矢那	個人所有	S40. 2. 20	30㎡
	4	有形文化財 (書跡)	橘守部遺墨	小浜	個人所有	S40. 2. 20	23点
	5	有形文化財 (古文書)	鈴木三郎家蔵古文書	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	S40. 6. 17	一括
	6	有形文化財 (工芸品)	徳川家より下賜された獅子頭	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	中央 (旧北片町)	S40. 9. 6	1体
	7	有形文化財 (古文書)	木更津船之由緒書	中央	個人所有	S40. 9. 6	1点
	8	有形文化財 (彫刻)	長楽寺の五輪塔	請西	法人所有	S41. 4. 22	1基
	9	記念物 (史跡)	真武根陣屋遺址	請西1139-33	木更津市	S41. 4. 22	39㎡
	10	記念物 (史跡)	貝渕木更津県史蹟	貝渕3-439-11	木更津市	S41. 4. 22	960.53㎡
	12	有形文化財 (彫刻)	嶺田楓江寿碑	富士見1-6-4	八剱八幡神社	S44. 7. 1	1基
	13	有形文化財 (彫刻)	加藤家の板碑・五輪塔	矢那	個人所有	S45. 6. 11	4基
	14	有形文化財 (絵画)	江戸期の風俗図屏風六曲一隻	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	S51. 2. 17	1隻

市指定	15	有形文化財 (古文書)	小倉家文書	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	個人所有	S51. 2. 17	2点	寄託
	16	有形文化財 (書跡)	寛平御時后宮歌合断簡「春」	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	S51. 2. 17	1幅	
	18	有形文化財 (彫刻)	木造聖観音立像	万石176	金勝寺	S52. 6. 6	1軀	
	19	記念物 (天然記念物)	安西家のキササギ (キササゲ)	草敷	個人所有	S56. 4. 23	1樹	
	20	有形文化財 (建造物)	旧安西家住宅	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	S56. 4. 23	1棟	
	21	有形文化財 (歴史資料)	五大力船絵馬	富士見1-6-4	八剱八幡神社	S59. 2. 23	1面	
	22	記念物 (天然記念物)	松本家のグミ	大稲	個人所有	S60. 12. 12	1樹	
	23	有形文化財 (絵画)	八剱八幡神社の格天井装飾画	富士見1-6-4	八剱八幡神社	S61. 9. 12	162面	
	24	記念物 (天然記念物)	根本家の椎	真里谷	個人所有	S63. 1. 20	1樹	
	26	有形文化財 (歴史資料)	上総鋳物師大野家関係資料	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	個人所有	H14. 1. 4	一括	寄託
	28	記念物 (天然記念物)	「鎌足桜」祖株	矢那1245 高蔵寺内	木更津市	H17. 2. 25	1株	
	29	有形文化財 (彫刻)	木造釈迦如来坐像	曾根96	釋蔵寺	H19. 2. 5	1軀	
	30	民俗文化財 (無形民俗文化財)	桜井の獅子舞	桜井	桜井獅子舞 保存会	H22. 6. 2		
	31	有形文化財 (彫刻)	富士見厳島神社の社殿彫刻	富士見1-7-10	厳島神社	H23. 6. 29	3点	
	32	有形文化財 (歴史資料)	銅造聖観世音菩薩立像	茅野683-1	善雄寺	H25. 8. 20	1軀	
	33	有形文化財 (考古資料)	灰釉双耳壺	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	H27. 4. 24	1口	
	34	有形文化財 (考古資料)	庚申塚 9号墳出土方頭大刀	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	R2. 10. 20	1振	
	35	有形文化財 (考古資料)	宮脇遺跡出土奈良三彩小壺 附伴出土師器	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	R2. 10. 20	1点	
	36	有形文化財 (考古資料)	中越遺跡出土小銅鐸 附石製舌	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	R4. 8. 9	1点	
	37	有形文化財 (考古資料)	マミヤク遺跡出土子持勾玉	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	R6. 9. 24	1点	

(1) 番号：市の指定文化財については指定書の番号を用いているが、その他の指定等文化財については木更津市において次の文化財指定等区分ごとに通し番号を付した。

文化財指定等区分

国指定＝国の重要文化財 県指定＝千葉県が指定した文化財 市指定＝木更津市が指定した文化財

国選択＝「記録選択制度」によって記録を残すべく選択された文化財（指定文化財とは異なる）

国登録＝「文化財登録制度」によって文部科学大臣が文化財登録原簿に登録する文化財（指定文化財とは異なる）

(2) 指定年月日：国選択および国登録に区分された文化財については、選択年月日および登録年月日にそれぞれ読み替えるものとする。

(3) 欠番：市指定11号「板絵著色富士の巻狩図絵馬」、同25号「至徳堂関係資料」、同27号「高部30号墳・32号墳出土資料」は、県指定文化財へ移行のため欠番とした。市指定17号「高蔵寺本堂・山門・鐘楼」は、指定解除により欠番とした。

(4) 追加指定：国指定2の「上総掘りの用具」と県指定16の「至徳堂関係資料」については、当初指定後に追加指定があった物件であるため、追加指定年月日を下段に併記した。

(5) 国指定1の「千葉県金鈴塚古墳出土品」は追加指定に伴い、「上総木更津金鈴塚古墳出土品」から名称を変更した。

学 校 施 設 等

○ 小 学 校

令和6年5月1日現在

No.	学校名	創 立 年 月 日	校 舎 m ²				普通 教室	特 別 教 室														校 地 m ²					屋 内 運 動 場
			鉄筋	鉄骨 ブ ロ ッ ク	木造	計		理 科	生 活	音 楽	図 画 工 作	(美術)	(技術)	家 庭	外国 語	視 聴 覚	コン ピ ュ ー タ	図 書 室	特別 活動	教育 相談	(進路資料・ 指導)	計	建 敷 物 地	運動場 敷 地	その他	計	
1	第 一 小	M 6.	5,811			5,811	18	1		1	1			1		1	0	2	5	2		14	7,082	5,062	1,090	13,234	1042
2	第 二 小	M 6. 2.	4,783	12	33	4,828	16	1		1	1			1				1	5	1		11	9,318	10,520		19,838	831
3	東 清 小	M20. 5. 20	2,509	152	33	2,694	8	1		1	1			1				1	1	1		7	7,980	8,081	4,467	20,528	1,024
4	西 清 小	M 6. 5. 4	3,107		19	3,126	14	1		1	1			1				1	2	1		8	4,736	2,757	940	8,433	1,118
5	南 清 小	M 6. 4.	4,977	348	46	5,371	17	1		1	1			1	1			1	1	1		8	7,178	10,276	3,952	21,406	954
6	岩 根 小	M 6.	5,394	19	20	5,433	16	1	1	1	1			1				1	8	1		15	9,807	8,851	482	19,140	950
7	波 岡 小	M41. 4.	3,686	62		3,748	11	1		1	1			1				1	1			6	5,379	7,037	4,447	16,863	703
8	鎌 足 小	M 6. 7.	2,233	32		2,265	8	1		1				1				1	2			6	6,875	6,520	2,285	15,680	600
9	金 田 小	M26. 8.	2,545	1,211	42	3,798	18	1		1				1				1	1	1		6	10,011	11,893		21,904	658
10	中 郷 小	M 6.	33	22	1,429	1,484	8	1		1				1				1		0		4	5,907	4,807	104	10,818	624
11	清見台小	S45. 4. 6	5,880	102	53	6,035	24	1		1	1			1	2			2	6	1		15	8,283	6,381	7,616	22,280	1,201
12	高 柳 小	S46. 4. 5	5,983	132	67	6,182	17	1		1	1			1			0	1	9	1		15	13,812	13,359		27,171	808
13	富来田小	M 5. 8. 1	2,413	508	58	2,979	9	1		1	1			1				1	1	1		7	8,869	3,727		12,596	603
14	祇 園 小	S49. 4. 5	6,691	132		6,823	24	2	1	2	1			1				2	6	1		16	12,362	7,625	2,289	22,276	1,273
15	畑 沢 小	S53. 4. 5	5,881	207	33	6,121	22	1		1	1			1				1	8	1		14	10,515	10,425	5,768	26,708	900
16	請 西 小	S54. 4. 3	4,901	1,023		5,924	23	1		1	1			1	1			1	6	1		13	10,354	7,438		17,792	900
17	八幡台小	S56. 4. 3	3,873	1,720		5,593	27	1		1	1			1				1	5	1		11	26,444	6,696		33,140	900
18	真 舟 小	H26. 4. 1		8,120		8,120	33	1		1	1			1	1			1	3	1		10	20,237	15,548		35,785	1,110
計			70,700	13,802	1,833	86,335	313	19	2	19	15	0	0	18	5	1	0	21	70	16	0	186	185,149	147,003	33,440	365,592	16,199

○ 中 学 校

令和6年5月1日現在

No.	学校名	創 立 年月日	校 舎 m ²				普通教室	特 別 教 室														校 地 m ²				屋 内 運動場	
			鉄筋	鉄骨 ブロック	木造	計		理 科	(生活)	音 楽	(図画 工作)	美 術	技 術	家 庭	外国語	視 聴 覚	コン ピ ュ ー タ	図 書 室	特別活動	教育相談	進路資料・ 指導	計	建 敷 地	運動場 敷 地	その他		計
1	第 一 中	S22. 4. 22	4,157		41	4,198	12	2		1		1	1	1			0	1	1	3	4	15	10,956	11,404		22,360	1,065
2	第 二 中	S22. 5. 10	4,206	98		4,304	17	2		1		1	1	2			1	1	3	2		14	7,702	9,327	1,268	18,297	1,051
3	第 三 中	S22. 4. 1	181	4,978		5,159	12	2		1		1	1	2			0	1	4	1	1	14	6,746	8,404		15,150	1,029
4	岩 根 中	S22. 4. 30	4,382	54	36	4,472	8	2		2		1	1	1			0	1	7	2	0	17	11,335	17,811		29,146	1,067
5	鎌 足 中	S22. 5. 10	1,866		76	1,942	5	1		1		1	1	1				1	2	1		9	8,727	13,272	935	22,934	875
6	金 田 中	S22. 5. 10	1,672	340	92	2,104	5	1		1		1	1	1			0	1	4	1		11	5,950	10,443		16,393	967
7	富来田中	S22. 5. 10	3,220	23	100	3,343	5	1		1		1	1	1	1		1	1	6	1		15	7,607	25,086		32,693	843
8	太 田 中	S52. 4. 5	4,537	1,348	26	5,911	24	3		2		2	1	1				1	2	1		13	14,095	13,459	4,109	31,663	997
9	畑 沢 中	S55. 4. 5	3,679	243	76	3,998	13	1		1		1	1	1			0	1	3	3	1	13	13,949	18,971		32,920	1,018
10	岩根西中	S57. 4. 1	3,871	246	66	4,183	8	1		1		1	1	1			0	1	6	1		13	10,392	12,659	2,352	25,403	1,000
11	波 岡 中	S58. 4. 1	4,564		76	4,640	14	1		1		1	1	1			0	1	1	0		7	8,430	17,322	2,512	28,264	1,040
12	清 川 中	S60. 4. 1	3,751		43	3,794	11	1		1		1	1	1			0	1	4	2		12	10,884	11,208	721	22,813	990
計			40,086	7,330	632	48,048	134	18	0	14	0	13	12	14	1	0	2	12	43	18	6	153	116,773	169,366	11,897	298,036	11,942
小中学校 合計			110,786	21,132	2,465	134,383	447	37	2	33	15	13	12	32	6	1	2	33	113	34	6	339	301,922	316,369	45,337	663,628	28,141

○ 木更津市学校給食センター

令和7年1月1日現在

開設年月日	所在地	構造階層	敷地面積	延床面積
平成21年4月1日	潮見二丁目13番地1	鉄骨造2階建	5,474.93m ²	2,524.08m ²

○ 木更津市まなび支援センター

令和7年1月1日現在

開設年月日	所在地	構造階層	敷地面積	延床面積
昭和55年4月1日	朝日一丁目8番17号	鉄筋コンクリート造2階建て	2,314.45m ²	778.61m ²

社会教育施設

施設名	設置年月日	所在地	構造階層	部屋名	敷地面積 ㎡	建築延面積 ㎡	備考
中央公民館	S38. 4. 1	富士見1-2-1	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下2階・地上9階建て（一部3階建て）	スパークルシティ木更津6階/第1～7会議室 アクア木更津B館3階/多目的ホール	972.89 376.00	972.89 376.00	移転新築 S51. 2. 1 移転（賃借）H30. 7. 1 青年の家廃止H30. 6. 30
富来田公民館	S42. 4. 1	真里谷110	鉄筋コンクリート造 一部木造2階建て	展示ホール、多目的ホール、ラウンジ、図書室、保育室、体育室、和室、茶室、調理実習室、工芸実習室、会議室、研修室第1・2、学習相談室、グループ交流スペース、更衣室、印刷室	6,082.60	2,318.90	改築 H14. 1. 1
岩根公民館	S32.10. 1	高柳3-2-1	鉄筋コンクリート造2階建て	学習室1・2・3・4、集会室、休養室、保育室	582.21	564.08	改築 S51. 4. 1
鎌足公民館	S32.10. 1	矢那899-1	鉄筋コンクリート造2階建て	研修室、学習室、調理実習室、和室、工作室、図書室	4,108.36	514.17	改築 S55. 4. 1
中郷公民館	S32.10. 1	井尻789-1	鉄筋コンクリート造2階建て	児童図書室、和室、視聴覚室、研修室1・2、調理実習室	1,260.62	563.56	改築 S55.10. 1
富岡公民館	S42. 4. 1	下郡1770-1	鉄筋コンクリート造平屋建て	集会室2、会議室、研修室、和室、資料室	1,090.89	265.23	一部改築 S62. 3. 31
文京公民館	S55.10. 1	文京2-6-54	鉄筋コンクリート造2階建て	集会室、学習室、休養室、保育室、オーディオ室	1,388.88	549.92	
八幡台公民館	S55.12. 1	八幡台4-2-1	鉄骨造平屋建て	図書室、和室1・2、実習室、学習室1・2、集会室	6,002.48	635.24	
東清公民館	S57. 4. 1	笹子469-1	鉄筋コンクリート造2階建て 一部木造平屋建て	研修室1・2・3、調理実習室、図書室	1,861.35	572.14	
清見台公民館	S58. 4. 1	清見台南5-1-29	鉄筋コンクリート造2階建て	集会室、図書ホール、和室、研修室1・2、調理実習室	3,307.71	748.63	
清見台コミュニティー センター附属体育館	S58. 8. 1	清見台南5-1-29	鉄骨造2階建て	アリーナ、ミーティング室2、更衣室2	1,870.06	1,402.74	
畑沢公民館	S59. 4. 1	畑沢1,053-12	鉄筋コンクリート造2階建て	集会室、保育室、休養室、学習室1・2、調理実習室	2,871.49	658.51	
岩根西公民館	S61. 4. 1	江川934-1	鉄筋コンクリート造2階建て	集会室、保育室、休養室、学習室1・2・3、調理実習室	2,392.60	663.62	
西清川公民館	H 2. 4. 1	永井作2-11-12	鉄筋コンクリート造2階建て	集会室、保育室、休養室、学習室1・2・3、調理実習室	2,207.47	733.58	
波岡公民館	H 5. 4. 1	大久保5-7-1	鉄筋コンクリート造2階建て	集会室、学習室1・2・3、調理実習室、図書室、休養室	3,192.81	773.134	
桜井公民館	H14. 4. 1	桜井新町4-2	鉄筋コンクリート造2階建て	集会室、保育室、休養室、学習室1・2、学習室3、調理実習室	2,997.60	1,045.49	
図書館	S 4. 3.25	文京2-6-51	鉄筋コンクリート造2階建て	貸出室（一般・児童）、会議室、和室、郷土資料室、参考調査室、書庫1・2、館長室、事務作業室、別棟恵春庵	5,071.53	1,994.11	移転新築 S49. 7. 31
郷土博物館 すず	H20. 4. 1	太田2-16-2	鉄筋コンクリート造3階建て ほか	本館（展示室9、収蔵庫2）、新収蔵庫、旧安西家住宅、保管庫（旧金鈴塚遺物保存館）	2,638.92	2603.11	旧 県立 上総博物館
少年自然の家 キャンプ場	S60. 4. 1	真里谷5343-8	プレハブ平屋建て （管理棟）	管理棟、キャビン6（※）、テントベース7、炊事場2（カマド20基）、便所2（※）、屋根付広場、自由広場、シャワー室 （※うち北キャンプ場のキャビン3棟、便所1箇所については閉鎖中）	114,809 共用30,000	875.82	

令和 6 年度 木更津市の教育

発 行 日 令和 7 年 3 月
編集・発行 木更津市教育委員会
教育部 教育総務課

〒292-8501 木更津市朝日三丁目 10 番 19 号

電 話 0438 (23) 5243

F A X 0438 (25) 3991

E-mail kyo-soumu@city.kisarazu.lg.jp

HP ｱﾄﾞﾚｽ <https://www.city.kisarazu.lg.jp/>